

# JVC

統合監視ソフトウェア

レコーダービューワー

---

型名 **TZ-TS2000** セットアップマニュアル

**TZ-TS200**

# はじめに

統合監視ソフトウェア TZ-TS2000 / レコーダービューワー TZ-TS200 (以下、本ソフトウェア) をご利用いただき、ありがとうございます。

本ソフトウェアは、サーバーアプリケーションである「TZ-TS2X Server」(以下、サーバー) と、ビューワーアプリケーションである「TZ-TS2000 Viewer」「TZ-TS200 Viewer」(以下、ビューワー)、設定ツールである「TZ-TS2000 Setup」「TZ-TS200 Setup」(以下、設定ツール)、マップ作成ツールである「TZ-TS2X MapEditor」(以下、マップ作成ツール) (TZ-TS2000 のみ)、接続先登録ツールである「TZ-TS2X Remote」(TZ-TS2000 のみ) で構成されています。

このセットアップマニュアルでは、本ソフトウェアのインストール方法と、設定ツール、マップ作成ツール、接続先登録ツールの操作方法について説明しています。

ビューワーの操作方法については、「ユーザースガイド」をご参照ください。

## 設定ツールの主な機能

- レコーダー、カメラ、ビュー、シーケンシャルの設定
- デコーダー、センサー、マップの設定 (TZ-TS2000 のみ)
- ビューワーアプリケーションの表示設定 (画面レイアウト設定など)
- イベント連動動作の設定 (イベント検出時のビューワーアプリケーションの動作など) (TZ-TS2000 のみ)
- ビューワーアプリケーションを使用するユーザーの設定

## マップ作成ツール (TZ-TS2000 のみ) の主な機能

- マップの作成、編集

## 接続先登録ツール (TZ-TS2000 のみ) の主な機能

- 接続先設定の作成、編集

※メモ TZ-TS200 は TZ-TS2000 をベースに一部の機能を制限しています。  
それ以外の機能は同等です。

## ご注意

- 本ソフトウェアの仕様は、改善のため予告なく変更することがあります。
- 本ソフトウェアで表示またはエクスポートした映像 (音声) には個人を特定できる情報が含まれている可能性があります。映像 (音声) のインターネットなどでの公開は第三者のプライバシー権や肖像権の侵害や、個人情報保護法へ抵触する場合がありますので、取り扱いには十分ご注意ください。また、不正なアクセスやデータ持ち出しを防ぐためにも、必要に応じて本ソフトウェア設置エリアへの入退出管理を行うなどの対策をご検討ください。
- 本ソフトウェアは、電気通信事業者 (移动通信会社、固定通信会社、インターネットプロバイダー等) の通信回線 (公衆無線 LAN を含む) に直接接続することができません。JVC ブランドのセキュリティシステムをインターネットに接続する場合は、必ずルーター等を経由し接続してください。また遠隔監視を行う場合は、映像を含む通信データの漏洩を防ぐために、VPN 環境で使用する等を推奨します。
- 本ソフトウェアはマルウェア対策として、Windows に標準搭載されている Microsoft Defender の下で、動作確認をしています。
- OS がスリープ状態から復帰した時にカメラ映像が途切れる場合があります。スリープ設定を無効にして使用してください。(Windows スタートメニュー > 設定 > システム > 電源とスリープ から、スリープの設定を「なし」に設定)
- カメラのアラーム出力端子、接点入出力装置 (ADAM-6050/6060) の出力端子は、報知器、表示器、ライト、ブザーなどの報知装置と接続するよう設計しています。報知装置以外には接続しないでください。
- VN-H557 制御は、パン動作できない範囲があります。クリックオンセンターのモードでパン動作できな

い範囲をクリックしても、クリックオンセンターは動作しません。

● VN-H68/H268R/H268VPR/H168WPR/U78/U178WPR 使用時の注意事項

- VN-H68/H268R/H268VPR/H168WPR/U78/U178WPR のマルチチャンネル配信と、切り出し映像のパン・チルト操作に対応しています。

※メモ マルチチャンネル配信は、NVR が VR-X5100/VR-X7100/VR-X8100 の場合のみです。

※メモ カメラコントローラーの白黒モード切り替えは使用できません。

※メモ 切り出し映像をポジション登録する場合、表示している画角から僅かにずれてポジション登録されます。VN-H68/H268R/H268VPR/H168WPR 及び VN-U78/U178WPR 接続時のシステム仕様になります。

- VN-H68/H268R/H268VPR/H168WPR/U78/U178WPR の動き検出をイベント連動で使用する場合は、以下のマルチチャンネル表示とマルチレゾリューション表示の CH No.に合わせてイベントを設定する必要があります。(設定方法は「3. ソフトウェアの設定」>「カメラのイベント発生」の項目に記載されている内容を参照してください。)

動き検出の情報表示は、設定した各 CH No. の映像画面上に表示されます。

※メモ アラーム入力や動き検出と連動させる場合、VN-H68/H268R/H268VPR/H168WPR/U78/U178WPR は他のカメラとは異なり、1 秒毎に継続して同一のイベントが出力されます。

- VN-H68/H268R/H268VPR/H168WPR/U78/U178WPR の OSD 表示を ON にしたカメラ映像を分割表示すると、文字が欠けたり潰れたりすることがありますので、カメラの OSD 表示を OFF にして使用することをお勧めします。
- カメラへの音声送信は、「G.711  $\mu$ -law」のみに対応しています。音声を送信する場合は、カメラ側の音声設定を「G.711  $\mu$ -law」(サンプリングレート：8000Hz)にしてください。
- 本ソフトウェア上で正常に動作させるために、カメラの設定を以下の内容に合わせる必要があります。

■ VN-H68/H268R/H268VPR/H168WPR の場合

カメラのエンコーダーNo. 本ソフトウェア登録時の CH No.	解像度	表示映像
1	FullHD	全画角
2	FullHD 未満	切り出し (パン・チルト操作可能)
3	FullHD 未満	切り出し (パン・チルト操作可能)
4	360P	全画角

- CH4 が分割画面でライブ表示されている時に映像ダブルクリックで単画面選択された場合、CH1 の映像が表示可能であれば、CH1 の映像に切り替えて表示します。
- マルチチャンネル表示を行う場合、全体映像に CH1、切り出し拡大映像に CH2, CH3 を登録します。CH2, CH3 はパン・チルト操作可能となります。

■ VN-U78/U178WPR で 4K 映像を表示しない場合

カメラのエンコーダーNo. 本ソフトウェア登録時の CH No.	解像度	表示映像
(1)	4K	全画角
2	FullHD	全画角
3	FullHD 未満	切り出し (パン・チルト操作可能)
4	360P	全画角

※メモ エンコーダーNo.1 は、カメラ側の設定は必要ですが、本ソフトウェアでは使用不可となります。

- CH4 が分割画面でライブ表示されている時に映像ダブルクリックで単画面選択された場合、CH2 の映像が表示可能であれば、CH2 の映像に切り替えて表示します。
- マルチチャンネル表示を行う場合、全体映像に CH2、切り出し拡大映像に CH3 を登録します。CH3 はパン・チルト操作可能となります。

■VN-U78/U178WPR で 4K 映像を表示する場合

カメラのエンコーダーNo. 本ソフトウェア登録時の CH No.	解像度	表示映像
1	4K	全画角
2	FullHD 未満	切り出し (パン・チルト操作可能)
3	FullHD 未満	切り出し (パン・チルト操作可能)
4	360P	全画角

- ※メモ 4K 映像の表示は、ご使用の環境により、なめらかな映像にならないことがあります。なお、VR-X7100 は 4K 映像に対応していません。
- ※メモ 4K モニターを使用する場合は、Windows のディスプレイ設定 (デスクトップで右クリックして「ディスプレイ設定」を選択) で「テキスト、アプリ、その他の項目のサイズを変更する」を「150%」にしてください。
- ※メモ 4K 映像 (CH1) の AVI 形式での動画出力 (AVI エクスポート) には対応していません。データベース形式 (データベースエクスポート) をご使用ください。
- CH4 が分割画面でライブ表示されている時に映像ダブルクリックで単画面選択された場合、CH1 の映像が表示可能であれば、CH1 の映像に切り替えて表示します。
  - マルチチャンネル表示を行う場合、全体映像に CH1、切り出し拡大映像に CH2、CH3 を登録します。CH2、CH3 はパン・チルト操作可能となります。
- AXIS 製全方位カメラ M3067-P、M3068-P 使用時の注意事項
    - CH1~12 まで登録可能です。
    - CH1 では全方位映像を表示し、映像画面上でのマウス操作でデワープ機能が使用できます。
    - CH5~8 では全方位映像からの切出し映像が表示され、カメラコントローラーによる PTZ 制御が可能です。プリセットポジションは最大 256 ポジション登録可能 (Home を含む) ですが、カメラ側に登録されるポジションとの同期は 20 ポジションまでです。
  - AXIS 製 PTZ ドームカメラ P5655-E 使用時の注意事項
    - オートパトロール、オートパン、オートトレースには対応していません。
    - 白黒モード設定には対応していません。
    - プリセットポジションは最大 256 ポジション登録可能 (Home を含む) ですが、カメラ側に登録されるポジションとの同期は 200 ポジションまでです。
  - ミカミ製カメラ PTC-113-HDIP 使用時の注意事項
    - オートパンは、予めカメラ側の WEB 設定で、OSD Menu から「AUTO」を「PAN」とし、開始位置/戻り位置/待機時間/スピードを設定してください。
    - オートパトロールは、予めカメラ側の WEB 設定の Tour から、Tour List1~3 を設定してください。
    - オートトレースには対応していません。
    - 白黒モード設定には対応していません。
    - プリセットポジションは最大 256 ポジション登録可能 (Home を含む) ですが、カメラ側に登録されるポジションとの同期は 200 ポジションまでです。
  - VN-H678WPR / VN-H678WPRS / VN-H678WPC 使用時の注意事項
    - VN-H678WPR のファームウェアは、1.02.002 以降のバージョンをご使用ください。
    - プリセットポジションは最大 256 ポジション登録可能 (Home を含む) ですが、カメラ側に登録されるポジションとの同期は 200 ポジションまでです。
    - 詳細設定「出力端子、ワイパー、照明、デフロスターの制御ボタンを点灯させる」を有効にしても、点灯状態と実際の制御状態に差異が生じることがあります。
    - IR-LED はカメラのオートのみを使用し、本ソフトウェアからの制御はできません。
    - カメラの音声は、「G.711  $\mu$ -law」のみに対応しています。音声を送信する場合は、カメラ側の音声設定を「G.711  $\mu$ -law」(サンプリングレート：8000Hz)にしてください。
    - VN-H678WPRS は VN-H678WPR として登録されます。
      - ※メモ カメラ検索においても、VN-H678WPRS は VN-H678WPR として検出されます。

- IDIS 製 PTZ カメラ DC-S3283FX/WHX/FX-A/WHX-A 使用時の注意事項

- IDIS DC-S3283FX/WHX のファームウェアは、2.2.0 以降のバージョンをご使用ください。
- 30fps を超えたフレームレートには対応していません。カメラ側の設定でフレームレートを 30fps 以下にしてください。
- カメラの音声は、「G.711  $\mu$ -law」のみに対応しています。音声を送信する場合は、カメラ側の音声設定を「G.711  $\mu$ -law」にしてください。なお、DC-S3283FX-A/WHX-A には音声機能はありません。
- オートパンは、予めカメラ側の設定から「スキャン」を選択し、スキャン No.1 を設定してください。
- オートパトロールは、予めカメラ側の設定から「ツアー」を選択し、ツアーNo.1~3 を設定してください。
- オートトレースは、予めカメラ側の設定から「パターン」を選択し、パターン No.1 を設定してください。
- プリセットポジションは最大 256 ポジション登録可能（Home を含む）ですが、カメラ側に登録されるポジションとの同期は 200 ポジションまでです。

#### 本製品で使用しているソフトウェアライセンスについて

- 本ソフトウェアには、System.Data.SQLite、MIP SDK が含まれております。
- System.Data.SQLite を本ソフトウェアはパブリックドメインの範囲で使用しています。
- MIP SDK は別途記載するライセンス「Milestone End-user License Agreement.txt」に従って供給され、「3rd\_party\_software\_terms\_and\_conditions.txt」に記載されたソフトウェアを使用しています。

# ●ソフトウェア使用許諾契約書

本ソフトウェアをインストールする前に、必ずお読みください。

## [ ソフトウェア使用許諾契約書 ]

株式会社JVCケンウッド・公共産業システム(以下、「ライセンサー」)が提供する「統合監視ソフトウェアTZ-TS2000」および「レコーダービューワーTZ-TS200」(以下、「許諾ソフトウェア」)はライセンサーが著作権を有するか、又は再使用許諾をする権利を有し、本契約はこの「許諾ソフトウェア」に関するお客様のご使用条件を定めたものです。

お客様は本件使用許諾契約書の内容にご同意のうえ、この「許諾ソフトウェア」をご使用いただくものと致します。お客様(以下、「使用者」)が「許諾ソフトウェア」を搭載した本製品をご使用された時点で本契約が成立したものと見なされます。

なお、許諾ソフトウェアにはライセンサーが第三者より直接的に又は間接的に使用の許諾を受けたソフトウェアが含まれている場合があります。その場合には一部の第三者は本ソフトウェア使用許諾契約書とは別にお客様に対して使用条件を定めております。かかるソフトウェアについては本契約書は適用されませんので別途提示させていただきます「本製品で使用しているソフトウェアライセンスについて」を必ずご覧ください。

### 第1条 (総則)

ライセンサーは、許諾ソフトウェアの国内における非独占的かつ譲渡不能な使用权(第3条第1項に定める例外を除く)を使用者に許諾します。

### 第2条 (使用权)

1. 本契約によって生ずる使用权とは、許諾ソフトウェアを本製品で使用する権利をいいます。
2. 使用者は許諾ソフトウェア及び関連書類の一部若しくは全部を複製、複写、修正、追加、翻訳等の改変、若しくは貸与することができません。
3. 許諾ソフトウェアの使用は私的範囲に限定されるものとし、許諾ソフトウェアは営利目的と否とに関わらずいかなる目的でも頒布、ライセンス、若しくはサブライセンスをすることができません。
4. 使用者は、許諾ソフトウェアを取扱説明書又はヘルプファイルに記載の使用方法に沿って使用するものとし、許諾ソフトウェアの全部又は一部を用いて著作権法等の法規に違反するデータの使用、複製を行ってはならないものとします。

### 第3条 (許諾条件)

1. 使用者は、本製品を譲渡する場合、内在する許諾ソフトウェア(その関連資料、アップデート版、アップグレード版を含む)の使用权については、自らの手元にオリジナル及び一切の複製物、関連資料を残さない事、又譲受人を本ソフトウェア使用許諾契約に従わせる事を条件に、移転できるものとします。
2. 使用者は許諾ソフトウェアに関し、リバースエンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイル等のコード解析作業を行ってはならないものとします。

### 第4条 (許諾ソフトウェアの権利)

許諾ソフトウェア及びその関連書類に関する著作権等一切の権利は、ライセンサー又はライセンサーに許諾ソフトウェアの使用权と再許諾権を許諾した原権利者(以下、原権利者)に帰属するものとし、使用者は許諾ソフトウェア及びその関連書類に関して本契約に基づき許諾された使用权以外の権利を有しないものとします。

### 第5条 (ライセンサーの免責)

1. ライセンサー及び原権利者は、使用者が本契約に基づき許諾された使用権を行使することにより生じた使用者若しくは第三者の損害に関していかなる責任も負わないものとします。但し、これを制限する別途法律の定めがある場合はこの限りではありません。
2. ライセンサーは「許諾ソフトウェア」について商品性、互換性及び特定目的に合致していることを保証致しません。

#### 第6条 (第三者に対する責任)

使用者が許諾ソフトウェアを使用することにより、第三者との間で著作権、特許権その他の知的財産権の侵害を理由として紛争が生じたときは、使用者自身が自らの費用で解決するものとし、ライセンサー及び原権利者に一切の迷惑をかけないものとします。

#### 第7条 (秘密保持)

使用者は、本契約により提供される許諾ソフトウェア、その関連書類等の情報及び本契約の内容のうち公然と知られていないものについて秘密を保持するものとし、ライセンサーの承諾を得ることなく第三者に開示又は漏洩しないものとします。

#### 第8条 (契約の解除)

ライセンサーは、使用者において次の各号の一に該当する事由があるときは、直ちに本契約を解除し、又はそれによって蒙った損害の賠償を使用者に対し請求できるものとします。

- (1) 本契約に定める条項に違反したとき
- (2) 差押、仮差押、仮処分その他強制執行の申立を受けたとき

#### 第9条 (許諾ソフトウェアの廃棄)

前条の規定により本契約が解除された場合、使用者は、契約が解除された日から2週間以内に許諾ソフトウェア、関連書類及びその複製物を廃棄するものとします。

#### 第10条 (著作権保護)

1. 許諾ソフトウェアに関する著作権及びその他一切の知的財産権は、ライセンサー及び原権利者に帰属するものでありいかなる権利も使用者が有するものではありません。
2. 使用者は許諾ソフトウェアの使用に際し、著作権及び知的財産権に関連する法律に従うものとします。

#### 第11条 (輸出規制)

1. 許諾ソフトウェア及び関連書類等を日本国外に輸出すること(インターネット等を利用した国外送信を含みます)はできないものといたします。
2. 使用者は、許諾ソフトウェアが日本国及びアメリカ合衆国の輸出に関する規制の対象となることを了承するものとします。
3. 使用者は、本ソフトウェアに適用される一切の国際法及び国内法(アメリカ合衆国の輸出管理規則、アメリカ合衆国、日本国及びその他の政府機関が定めるエンドユーザー、エンドユーザーによる使用及び輸出対象国に関する規制を含みます)に従うことに同意するものとします。

#### 第12条 (その他)

1. 本契約の一部が法律によって無効となった場合でも、当該条項以外は有効に存続するものとします。
2. 本契約に定めなき条項若しくは本契約の解釈に疑義を生じた場合には、ライセンサー、使用者は誠意をもって協議し、解決するものとします。
3. ライセンサー及び使用者は、本契約が日本国の法律に準拠し、本契約から生ずる権利義務に関する紛争については、東京地方裁判所をもって第一審の専属管轄裁判所とする事に合意するものとします。

## 目次

<b>1. ソフトウェアのインストール</b> .....	<b>10</b>
1.1. 準備.....	10
1.2. 必要コンポーネントのインストール.....	10
1.3. インストール.....	10
1.4. アンインストール.....	12
1.5. TZ-TS200からTZ-TS2000にアップグレードする手順.....	13
1.6. TZ-TS2000からTZ-TS200にダウングレードする手順.....	13
<b>2. 事前の準備</b> .....	<b>14</b>
2.1. 使用する機器の設置・設定.....	14
<b>3. ソフトウェアの設定</b> .....	<b>14</b>
3.1. 接続先登録ツールの起動と終了 (TZ-TS2000のみ).....	14
3.1.1. 接続先の登録.....	15
3.2. 設定ツールの起動と終了.....	17
3.3. 設定ツールのメイン画面.....	19
3.4. 全般.....	20
3.4.1. システム設定.....	20
3.4.2. 詳細設定.....	22
3.4.3. データベースのメンテナンス設定.....	24
3.4.4. 音声ファイル(ビューワー用)の登録.....	24
3.4.5. 音声認識設定.....	26
3.5. 機器の登録.....	29
3.5.1. レコーダーの登録.....	29
3.5.2. カメラの設定.....	36
3.5.3. デコーダーの登録 (TZ-TS2000のみ).....	42
3.5.4. センサーの登録 (TZ-TS2000のみ).....	45
3.6. 表示の設定.....	51
3.6.1. ビューグループの登録.....	51
3.6.2. ビューの登録.....	53
3.6.3. シーケンシャルの登録.....	56
3.6.4. マップの登録 (TZ-TS2000のみ).....	58
3.6.5. 画像ファイルの登録.....	60
3.7. 連動動作の設定 (TZ-TS2000のみ).....	61
3.7.1. イベントグループの登録.....	62
3.7.2. イベント連動動作の登録.....	63
3.7.3. ジェネリックイベントの登録.....	78
3.7.4. SNMP Trapの登録.....	80
3.7.5. 音声ファイル(イベント通知用)の登録.....	82
3.7.6. 音声ファイル(イベント送信用)の登録.....	83
3.8. 通信の設定 (TZ-TS2000のみ).....	84
3.8.1. ジェネリック出力の登録.....	85
3.8.2. WebAPI出力の登録.....	87
3.9. ユーザーの設定.....	89
3.9.1. ユーザーグループの設定.....	89
3.9.2. ユーザーの登録.....	91
3.10. マップ作成ツール (TZ-TS2000のみ).....	93
3.10.1. ツールバー.....	93
3.10.2. 背景の設定.....	95
3.10.3. 各タイプのオブジェクトをマップ上に配置する手順.....	96
3.10.4. プロパティ画面.....	97



3.10.5. アイコン設定画面.....	98
3.10.6. オブジェクトを重複して配置した場合のご注意.....	99
3.10.7. センサー端子の追加設定.....	100
3.10.8. その他の機能の設定.....	101
3.10.9. 複数オブジェクトの一括配置.....	102
3.10.10. オブジェクトの編集（選択）.....	103
3.10.11. オブジェクトの編集（移動）.....	103
3.10.12. オブジェクトの編集（拡大・縮小）.....	103
3.10.13. オブジェクトの編集（前面・背面へ移動／整列）.....	103
3.10.14. オブジェクトの削除.....	105
3.10.15. 複数オブジェクトの一括設定.....	105
3.10.16. 複数オブジェクトのID一括設定.....	105
3.10.17. オブジェクト一覧表示.....	106
3.10.18. 多角形オブジェクトの頂点設定.....	107
3.11. カメラのイベント設定（TZ-TS2000のみ）.....	108
3.11.1. イベント一覧.....	108
3.11.2. イベント設定.....	109
3.11.3. 通知先設定.....	110
3.12. アイホン製インターホンの設定（TZ-TS2000のみ）.....	111
3.12.1. AIPHONE IX-MV【親機】の設定.....	111
3.12.2. AIPHONE IX-BX【子機】の設定.....	111
3.13. デンソー製レーザーセンサーZD-LS100シリーズのイベント発生（TZ-TS2000のみ）.....	113
<b>4. 本ソフトウェアにおける最大値（登録上限）一覧.....</b>	<b>115</b>
<b>5. ビューワーのカスタマイズ（TZ-TS2000のみ）.....</b>	<b>116</b>

<商標について>

- Microsoft、Windows は、米国Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標または商標です。
- その他、記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。このマニュアルでは、登録商標・商標・著作権を表示するマークは記載していません。

## 1. ソフトウェアのインストール

### 1.1. 準備

- Windowsの管理者権限のあるユーザーでログオンします。
- 新しいバージョンをインストールする場合は、現バージョンをアンインストールした後でインストールしてください。
- 本ソフトウェアを再インストールする場合は、本ソフトウェアをアンインストールしてから、再度インストールしてください。

※メモ Milestone Smart Clientと併用することはできません。  
Smart Clientがインストールされている場合は、Smart Clientをアンインストールしてから、インストールしてください。

### 1.2. 必要コンポーネントのインストール

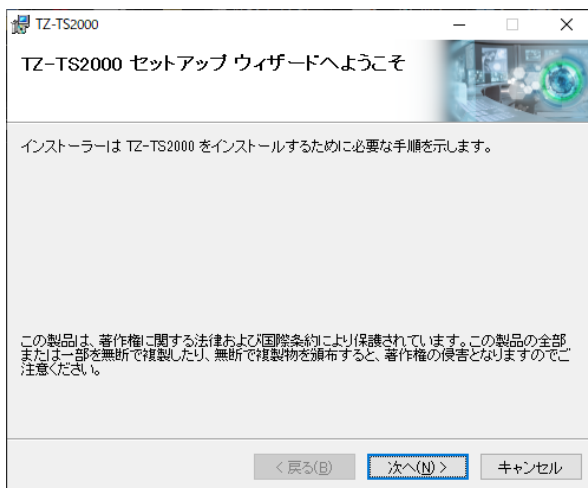
- 初回インストール時は、以下のコンポーネントをインストールする必要があります。

Microsoft Visual C++ 2019 再頒布可能パッケージ  
(VC2019)VC\_redist.x64.exe を実行し、画面の指示に従ってインストールしてください。

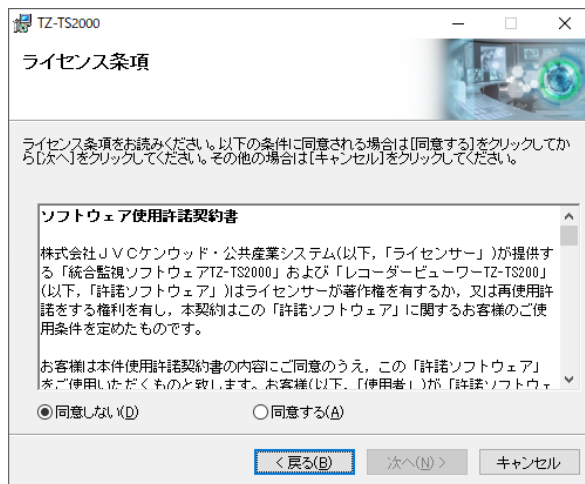
### 1.3. インストール

※メモ 本章の説明図はTZ-TS2000のもので、  
TZ-TS200では少し異なりますがインストールの手順は同じです。

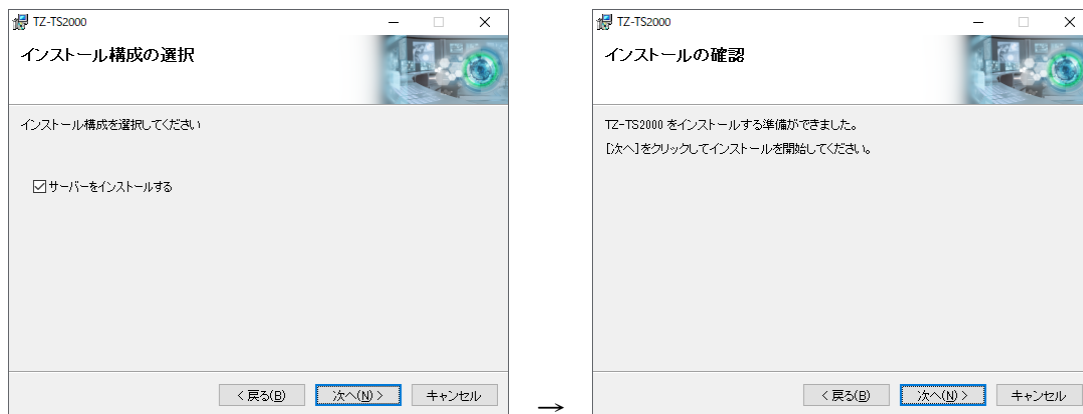
- (1) TZ-TS2000\_Installer.msi (または TZ-TS200\_Installer.msi) を実行してください。  
[次へ] をクリックします。



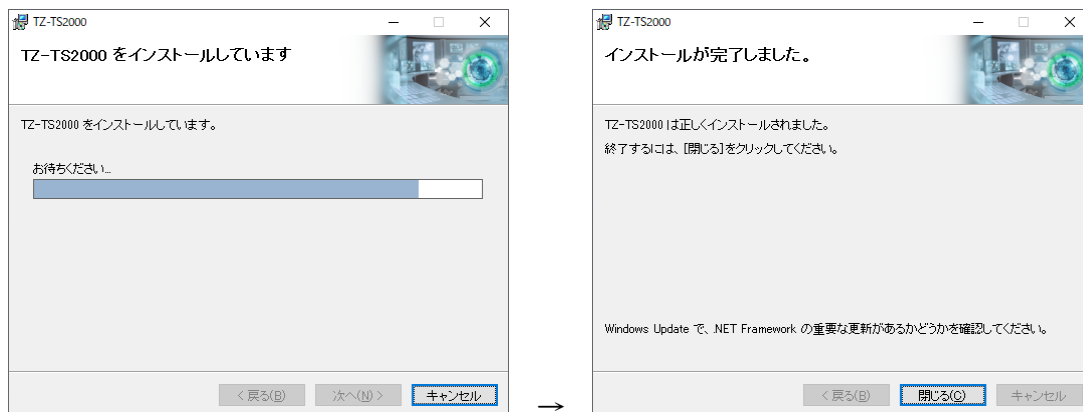
- (2) ライセンス条項の同意を求める画面が表示されます。  
ライセンス条項を読み、同意する場合は「同意する」を選択し「次へ」ボタンをクリックします。  
ライセンス条項に同意されない場合、本ソフトウェアを使用することはできません。



- (3) 画面の指示に従ってインストールを進めてください。  
「インストール構成の選択」では「サーバーをインストールする」を選択した状態で「次へ」をクリックしてください。



- (4) インストールが正常に終了すると、インストールの確認画面が表示されます。  
[閉じる]をクリックして、ウィザードを終了してください。



TZ-TS2000(または TZ-TS200 )のインストールが完了しました。

デスクトップに

- TZ-TS2000 Viewer (または TZ-TS200 Viewer )
  - TZ-TS2000(または TZ-TS200 )関連フォルダ
- のショートカットが作成されます。また、スタートメニューに
- TZ-TS2X MapEditor (TZ-TS2000 のみ)
  - TZ-TS2X Remote (TZ-TS2000 のみ)
  - TZ-TS2000 Setup(または TZ-TS200 Setup )
  - TZ-TS2000 Viewer(または TZ-TS200 Viewer )
- のショートカットが作成されます。

※メモ ご注意

TZ-TS2000(または TZ-TS200 )関連フォルダ内の Setting フォルダには、本ソフトウェアの設定情報及びログ情報が保存されています。

フォルダ内のファイルを操作した場合、システムが正しく動作しなくなる可能性があります。カスタマイズ設定のため、指定されたファイルを修正する以外は、フォルダ内の構成変更や、フォルダ内のファイルを操作しないようご注意ください。

TZ-TS2000(または TZ-TS200 )関連フォルダ内の UserData フォルダにある Image フォルダには、標準設定で静止画、動画保存を行った場合の各ファイルが保存されます。

ビューワー起動中に、フォルダ内のファイルを操作した場合、システムが正しく動作しなくなる可能性があります。

TZ-TS2000(または TZ-TS200 )関連フォルダ内の UserData フォルダにある Setup フォルダには、設定ツールで保存を行った場合の設定データが保存されます。

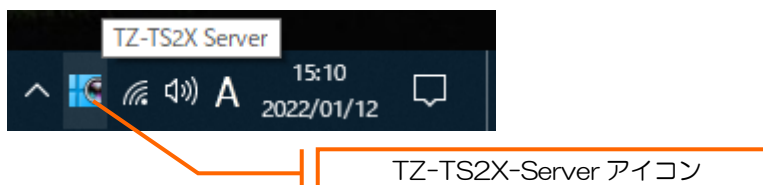
設定ツール起動中に、フォルダ内のファイルを操作した場合、システムが正しく動作しなくなる可能性があります。

バージョンアップを行った場合、設定の変更がない場合でも、設定情報を新しいバージョンに更新する必要があります。

設定ツールからサーバーにログイン後、設定を保存し、TZ-TS2000 (または TZ-TS200 ) に設定を反映させてください。

#### 1.4. アンインストール

- (1) タスクバーに表示されている「TZ-TS2X-Server」のアイコンを右クリックし、[終了] をクリックしてください。



- (2) コントロールパネルの [プログラムと機能] または [プログラムのアンインストール] から、「TZ-TS2000(または TZ-TS200 )」をアンインストールしてください。

## 1.5. TZ-TS200 から TZ-TS2000 にアップグレードする手順

下記の手順で行います。

- (1) サーバーを終了させてください。
- (2) TZ-TS200をアンインストールしてください。
- (3) TZ-TS2000をインストールしてください。
- (4) セットアップツールでログインして設定を更新してください。  
※メモ ユーザーグループ設定においてマップ表示、イベント表示、イベント保存がOFF設定となっているので設定を変更してください。

## 1.6. TZ-TS2000 から TZ-TS200 にダウングレードする手順

下記の手順で行います。

- (1) サーバーを終了させてください。
- (2) デスクトップのショートカットアイコン「TZ-TS2000」をダブルクリックしてフォルダ” (パブリックのドキュメント) ¥TZ-TS2X” を開いてください。
- (3) “ (パブリックのドキュメント) ¥TZ-TS2X¥Setting¥Database “ にある設定ファイル(Config.xml)、DBファイル(EventDB.db)を削除してください。
- (4) TZ-TS2000をアンインストールしてください。
- (5) TZ-TS200をインストールしてください。
- (6) セットアップでログインして設定を新規作成してください。  
※メモ TZ-TS200は、TZ-TS2000で作成した設定データを読み込むことはできません。  
設定データを新規作成してください。

## 2. 事前の準備

### 2.1. 使用する機器の設置・設定

- 使用する機器（レコーダー、カメラ、デコーダー、センサーなど）の設置・設定を事前に行なってください。

※メモ 本ソフトウェアは、NVRからの再配信映像を表示するため、NVRに設定されているカメラ情報を元にカメラの登録を行います。

- (1) 事前にNVRでカメラを登録する必要があります。
- (2) NVRに登録されたカメラ情報を、後述の「3.5.1.4 レコーダーの記録カメラ設定」で読み出し登録する必要があります。
- (3) NVRに登録されていないカメラは登録できません。

※メモ 使用する機器が接続されていない場合、「機器の検索」や「カメラのプリセットポジション設定」等、機器との通信が必要な機能は利用できません。ただし、「マップ作成」や「レコーダー登録」等の基本的な設定は可能です。

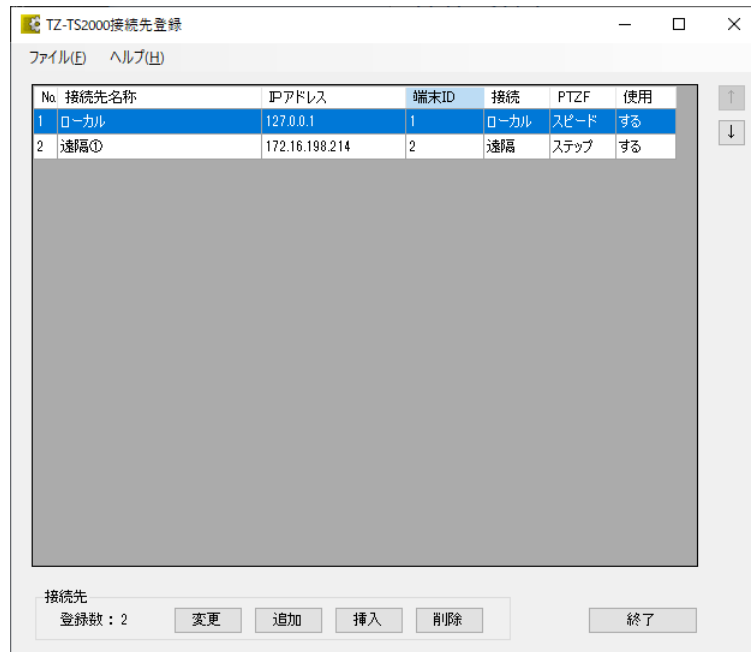
※メモ リモコン（RM-P3000）を使用する場合は、TZ-TS1000に対応したバージョンのリモコンを使用してください。

## 3. ソフトウェアの設定

※メモ 本章の説明図はTZ-TS2000のもので、  
(TZ-TS200 は TZ-TS2000 をベースに一部の機能を制限しています。  
それ以外の機能は同等です。)

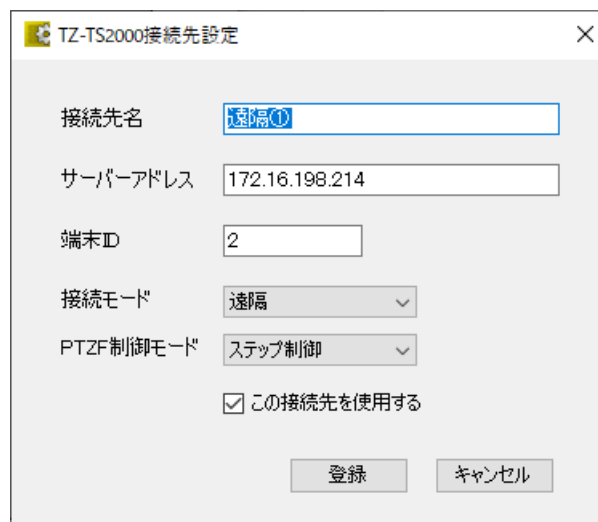
### 3.1. 接続先登録ツールの起動と終了（TZ-TS2000 のみ）

- [スタート] – [すべてのプログラム] – [TZ-TS2000] – [TZ-TS2X Remote] をクリックします。
- ツールが起動すると、一覧画面が表示されます。



- (1) 追加
  - 作成する新規接続先データが最終行に追加されます。
- (2) 挿入
  - 作成する新規接続先データが選択行の前に挿入追加されます。
- (3) 変更
  - 選択行の接続先情報を変更します。
- (4) 削除
  - 選択行の接続先情報を削除します。
- (5) 終了
  - 確認メッセージ「設定データを保存しますか？」が表示されます。
    - 「はい」 → 設定を保存して終了します。
    - 「いいえ」 → 設定を保存せずに終了します。
    - 「キャンセル」 → 終了をキャンセルします。

### 3.1.1. 接続先の登録



- (1) 接続先名
  - 「接続先名」を設定します。
  - ※メモ 「接続先名」は設定ツールやビューワーのログイン先として表示されます。
- (2) サーバーアドレス
  - 接続先のサーバーのIPアドレスを設定します。
- (3) 端末ID
  - ビューワーがサーバーに接続する際の端末ID番号を設定します。
- (4) 接続モード
  - ローカル／遠隔
    - ※メモ 「遠隔」を指定すると、レコーダーの設定のIPアドレス2が設定されていれば、そのアドレスを使用してレコーダーからの再配信映像を表示するようになります。
- (5) PTZF制御
  - スピード制御／ステップ制御
    - ※メモ スピード制御が指定されている場合、ボタンを押下している間、動作します。
    - ステップ制御が指定されている場合、ボタンを押下すると一定量動作します。
- (6) この接続先を使用する
  - 接続先を使用する際は選択してください。
  - 選択を外すと、接続先は使用できなくなります。



## 3.2. 設定ツールの起動と終了

- [スタート] – [すべてのプログラム] – [TZ-TS2000(またはTZ-TS200)] – [TZ-TS2000 Setup(またはTZ-TS200 Setup)]をクリックします。
- 設定ツールが起動すると、ログイン画面が表示されます。

ログイン画面（通常）

ログイン画面（接続先情報有）

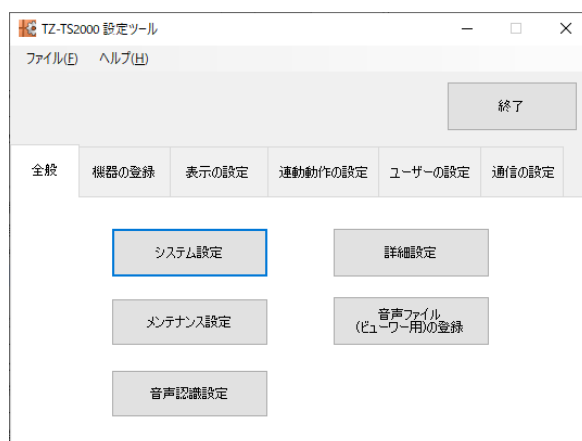
- 設定ツールには2つの操作モードがあります。
  - （1）通信モード：サーバーにログインして、設定情報を取得・更新するモード
  - （2）非通信モード：設定ファイルを作成・更新するモード

### （1）通信モード

- [サーバーIP]、[ユーザー名]、[パスワード] を入力して [ログイン] をクリック
  - ✧ サーバーが設定ツールと同じPCで動作している場合は、[サーバーIP] に「127.0.0.1」を入力してください。
  - ✧ サーバーが別のPCで動作している場合は、[サーバーIP] に正しいIPアドレスを入力してください。
  - ✧ 初回起動時には、「ユーザー名：admin」、「パスワード：(空欄)」を入力してください。管理者用パスワードの登録画面が表示されます。半角英字・数字の混在した8文字以上のパスワードを登録してください。

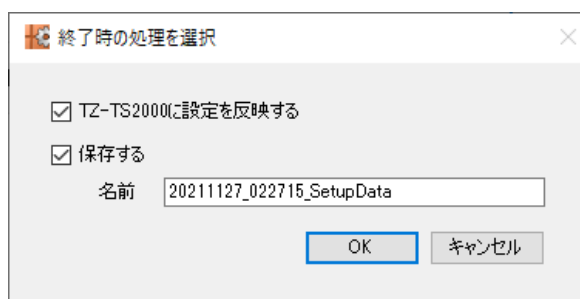
- ※メモ 接続先登録設定ツールによって作成された設定ファイル“TZ-TS2X-Remote\_Setting.xml”に有効な接続先情報がある場合はコンボボックスで接続先の指定が選択可能となります。
- ※メモ 「admin」はあらかじめ用意されている管理者ユーザーです。管理者（admin）用パスワードは「3.4. 全般」で変更可能です。
- ※メモ 「システム設定」の権限があるユーザーでログインすることもできます。（「3.8.2.1. ユーザーの登録/設定」 - 「（3）システム設定」参照）
- ※メモ 「データを初期化してログインする」は通常使用しません。システム復旧などの場合に使用します。

- ログインに成功すると、メイン画面が表示されます。



メイン画面

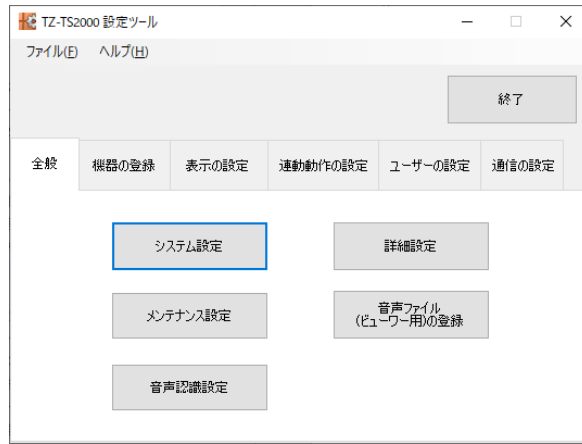
- 設定変更後、[終了] をクリック  
終了時の処理を選択する画面が表示されます。  
[TZ-TS2000(またはTZ-TS200)に設定を反映する] を選択するとサーバーに設定内容が反映されます。  
[保存する] を選択すると、設定データを以下のフォルダに作成します。  
(パブリックのドキュメント) ¥TZ-TS2X¥UserData¥Setup



終了時の処理を選択する画面

## (2) 非通信モード

- [新規]、または [編集] をクリック  
新規作成時は、管理者用パスワードの登録画面が表示されます。半角英字・数字の混在した8文字以上のパスワードを登録してください。
- 設定を開く場合は、既存の設定ファイル（拡張子：xml）を選択します。
- メイン画面が表示されます。



メイン画面

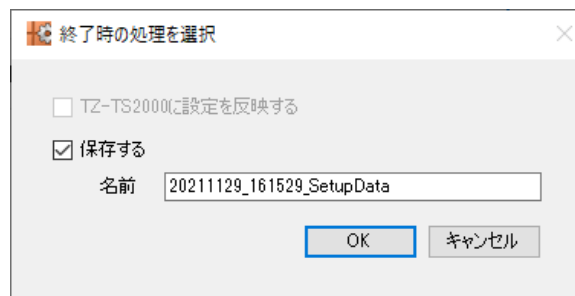
設定変更後、[終了] をクリック

終了時の処理を選択する画面が表示されます。

[TZ-TS2000(またはTZ-TS200)に設定を反映する] は選択できません。

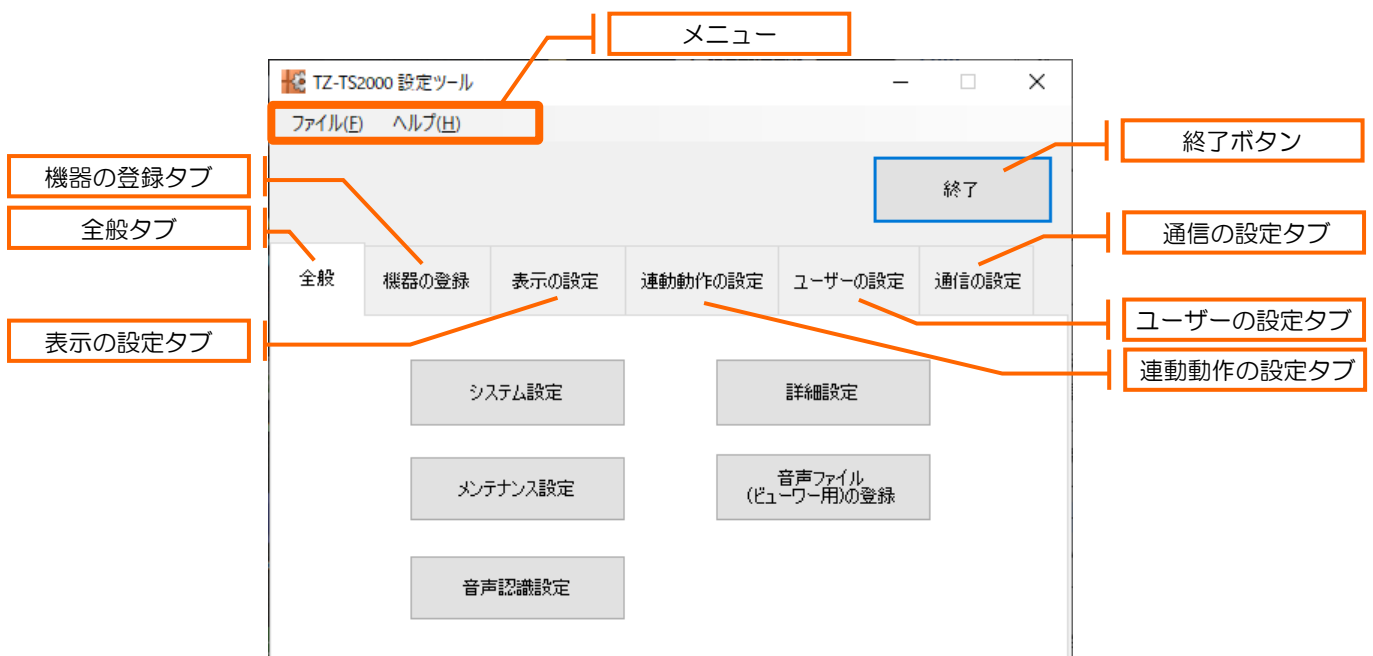
[保存する] を選択すると、設定データを以下のフォルダに作成します。

(パブリックのドキュメント) ¥TZ-TS2X¥UserData¥Setup



終了時の処理を選択する画面

### 3.3. 設定ツールのメイン画面



設定ツールのメイン画面

[ファイル(F)] には以下の項目があります。

(1) [新規作成(N)]

- 現在の設定内容をクリアし、初期状態から設定を行います。  
新規作成時は、管理者用パスワードの登録画面が表示されます。半角英字・数字の混在した8文字以上のパスワードを登録してください。

(2) [開く(O) ]

- 既存の設定ファイルを開きます。

(3) [名前を付けて保存(A) ]

- 現在の設定内容を、新しい設定ファイルに保存します。  
(保存先 : (パブリックのドキュメント) ¥TZ-TS2X¥UserData¥Setup)

(4) [終了(X) ]

- 設定ツールを終了します。

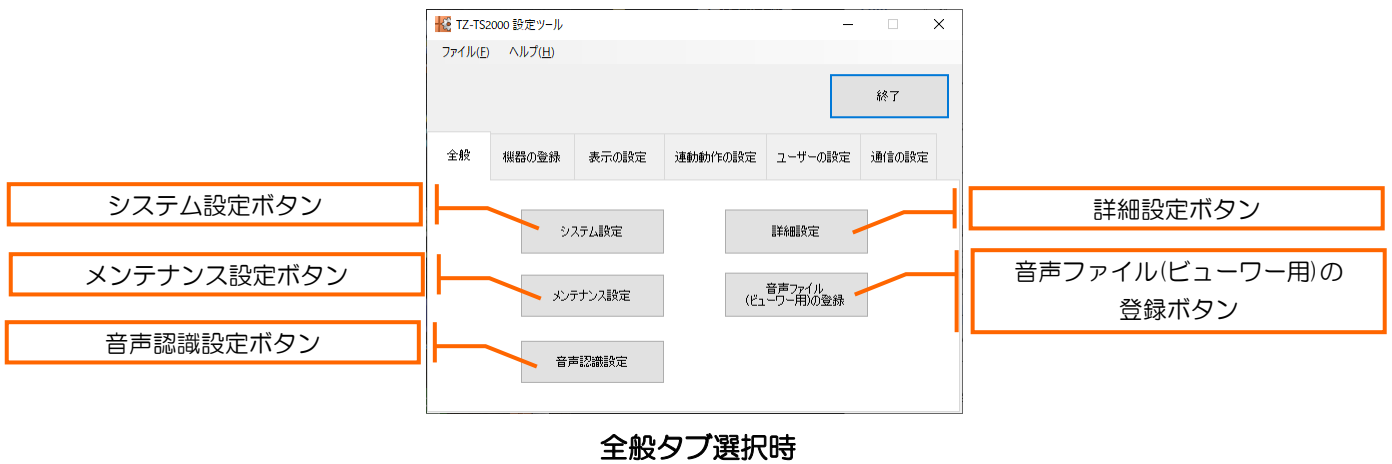
[ヘルプ(H)] には以下の項目があります。

- [バージョン情報(A)]  
設定ツールのバージョン情報を表示します。

### 3.4. 全般

システムの共通設定を行います。

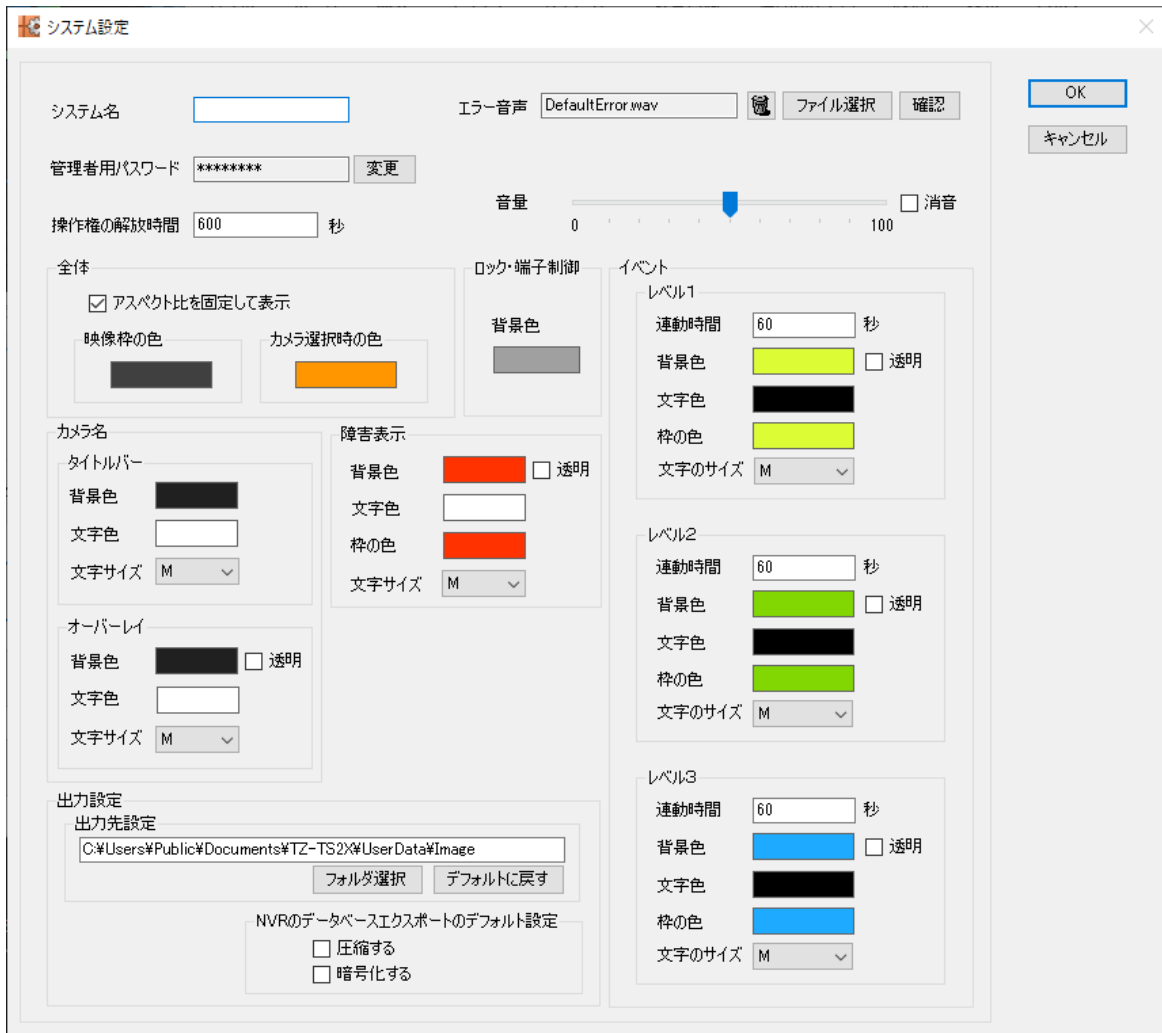
- [全般] タブを選択します。



#### 3.4.1. システム設定

システムの共通設定を行います。

- [システム設定] ボタンをクリックします。
- システム設定画面が表示されます。



システム設定画面

- (1) システム名  
「システム名」を設定します。  
※メモ 「システム名」はビューワーのタイトルバーに表示されます。
- (2) 管理者用パスワード  
管理者 (admin) のパスワードを設定します。  
変更する際は [変更] ボタンをクリックして、半角英字・数字の混在した8文字以上の新しいパスワードを入力してください。  
※メモ 管理者用パスワードを忘れてしまった場合は、システム設定権限のあるユーザーでログインをして、管理者用パスワードを変更してください。完全にログインできない場合は、巻末のカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。有償での対応となります。
- (3) 操作権の解放時間  
本ソフトウェアにて制御する機器 (カメラ、デコーダーなど) の操作権または専有権を解放するまでの時間を設定します。
- (4) エラー音声  
エラーレベルの障害が発生したときに再生する音声ファイル (Wavファイル) を設定します。  
※メモ Broadcast Wave Format (BWF) 形式のWavファイルは再生できません。
- (5) 音量、消音  
ビューワー起動時の音量 (ボリューム)、消音 (ミュート) を設定します。
- (6) アスペクト比を固定して表示  
映像ウィンドウに画像を表示する際、アスペクト比を固定して表示するか、映像ウィンドウに合わせて表示するかを設定します。
- (7) 映像枠の色

映像ウィンドウの外側に表示する枠の色を設定します。

(8) カメラ選択時の色

映像ウィンドウに表示する、カメラ選択時の枠の色を設定します。

(9) タイトルバー

映像ウィンドウにタイトルバーを表示する際の「背景色」「文字色」「文字サイズ」を設定します。

(10) オーバーレイ

映像ウィンドウにカメラ名をオーバーレイ表示する際の「背景色（「透明」時は縁取りの色）」「文字色」「文字サイズ」を設定します。

(11) 障害表示

映像ウィンドウに障害情報をオーバーレイ表示する際の「背景色（「透明」時は縁取りの色）」「文字色」「文字サイズ」を設定します。

(12) ロック・端子制御（TZ-TS2000のみ）

センサーがロック状態または端子制御【ON】となった際における、マップ上のオブジェクトの「背景色」を設定します。

(13) 出力設定

「出力先設定」「NVRのデータベースエクスポートのデフォルト設定」を設定します。

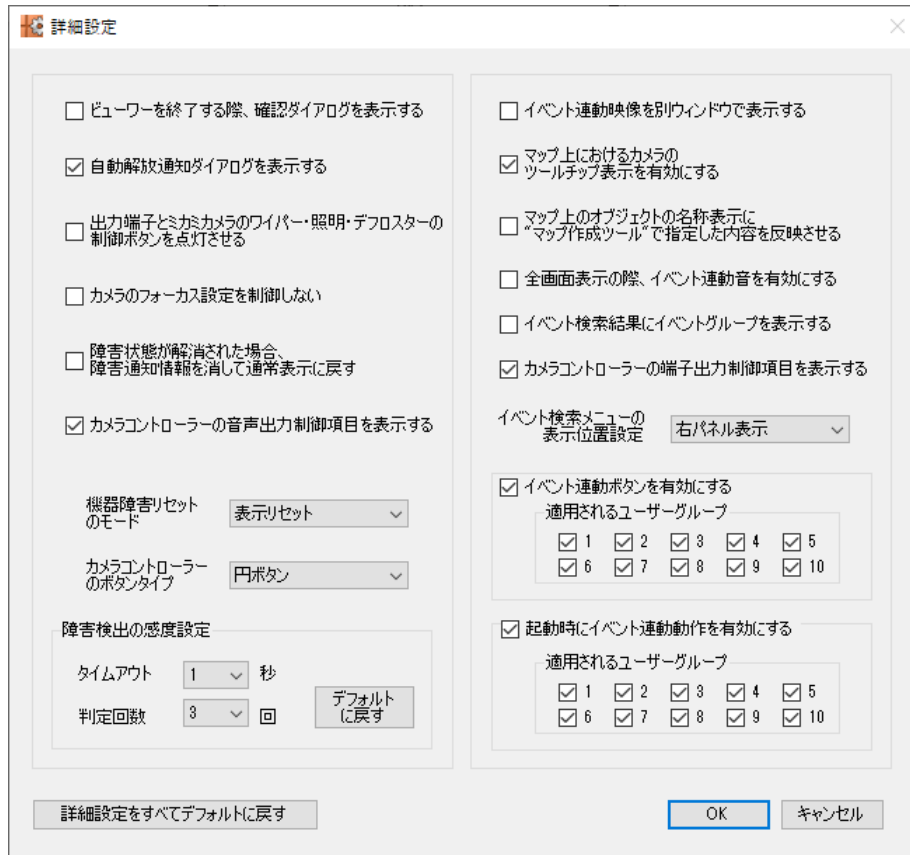
(14) イベント（TZ-TS2000のみ）

イベント検出時のイベント連動処理継続時間、表示メッセージの「背景色」「文字色」「文字サイズ」を設定します。イベントレベルごとに3つまで設定できます。

- 設定が終了したら [OK] ボタンをクリックして、システム設定画面を閉じてください。
- [キャンセル] ボタンをクリックすると、システム設定画面の変更内容を破棄します。

### 3.4.2. 詳細設定

- [詳細設定] ボタンをクリックすると、設定画面が表示されます。
- ビューワーにおける初期設定や機能の ON/OFF 設定を行います。
- [詳細設定をすべてデフォルトに戻す] ボタンをクリックし、確認画面で [はい(Y)] を選択すると設定項目をすべてデフォルト状態に戻します。



詳細設定画面

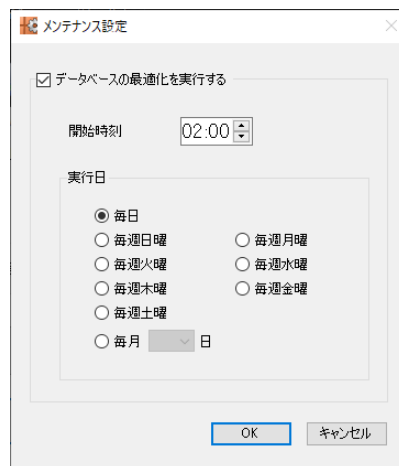
- (1) ビューワーを終了する際、確認ダイアログを表示する (ON/OFF 初期設定：OFF)
- (2) 自動解放通知ダイアログを表示する (ON/OFF 初期設定：ON)  
※メモ ONの場合、取得した専有権が操作権の解放時間の経過によって自動的に解放されると通知ダイアログが表示されます。
- (3) 出力端子とミカミカメラのワイパー・照明・デフロスターの制御ボタンを点灯させる (ON/OFF 初期設定：OFF)  
※メモ ONの場合、端末 ID が "1" のビューワーで機能が有効になり、他の端末からは操作不可となります。
- (4) カメラのフォーカス設定を制御しない (ON/OFF 初期設定：OFF)  
※メモ ONの場合、マニュアル機能しかない機種を除いて、フォーカス設定項目が無効となり、フォーカス制御を行わなくなります。  
リモコン (RM-P3000) を使用する場合は OFF に設定して下さい。
- (5) 障害状態が解消された場合、障害通知情報を消して通常表示に戻す (ON/OFF 初期設定：OFF)
- (6) カメラコントローラーの音声出力制御項目を表示する (ON/OFF 初期設定：ON)
- (7) 機器障害リセットのモード  
障害状態表示ダイアログ表示後にマップ上の障害情報をリセットするモード (表示リセット) と、障害表示を継続するモード (継続表示) のどちらかを指定します。(初期設定：表示リセット)  
※メモ 「障害状態が解消された場合、障害通知情報を消して通常表示に戻す」が ON の場合は使用できません。
- (8) カメラコントローラーのボタンタイプ  
パン・チルト操作を行うボタンのタイプ (円ボタン/8方向ボタン) を指定します。  
(初期設定：円ボタン)  
※メモ ステップ制御が設定された接続先の場合、この設定にかかわらずボタンのタイプは 8方向ボタンとなります。
- (9) 障害検出の感度設定  
タイムアウト (1~60 秒 初期設定：1 秒)、障害判定回数 (1~60 回 初期設定：3 回) を指定します。  
[デフォルトに戻す] ボタンをクリックすると、タイムアウト、障害判定回数をデフォルト状態に

戻します。

- (10) イベント連動映像を別ウィンドウで表示する (ON/OFF 初期設定: OFF)  
(TZ-TS2000 のみ)  
※メモ ON の場合、イベント連動開始時に最大4映像までの指定された映像を別ウィンドウ表示 (ポップアップ表示) させます。  
※メモ OFF の場合、イベント連動開始時に指定された映像 (ビュー、カメラ、シーケンシャル) を表示します。
- (11) マップ上におけるカメラのツールチップ表示を有効にする (ON/OFF 初期設定: ON)  
(TZ-TS2000 のみ)
- (12) マップ上のオブジェクトの名称表示に“マップ作成ツール”で指定した内容を反映させる  
(ON/OFF 初期設定: OFF) (TZ-TS2000 のみ)
- (13) 全画面表示の際、イベント連動音を有効にする (ON/OFF 初期設定: OFF)  
(TZ-TS2000 のみ)
- (14) イベント検索結果にイベントグループを表示する (ON/OFF 初期設定: OFF)  
(TZ-TS2000 のみ)
- (15) カメラコントローラーの端子出力制御項目を表示する (ON/OFF 初期設定: ON)  
(TZ-TS2000 のみ)
- (16) イベント検索メニューの表示位置設定 (TZ-TS2000 のみ)  
イベント検索メニューの表示位置 (右パネル表示/下部表示 初期設定: 右パネル表示) を指定します。
- (17) イベント連動ボタンを有効にする (ON/OFF 初期設定: ON) (TZ-TS2000 のみ)  
ON の場合、適用されるユーザーグループが選択できます。
- (18) 起動時にイベント連動動作を有効にする (ON/OFF 初期設定: ON) (TZ-TS2000 のみ)  
ON の場合、適用されるユーザーグループが選択できます。

### 3.4.3. データベースのメンテナンス設定

- [メンテナンス設定] ボタンをクリックすると、設定画面が表示されます。



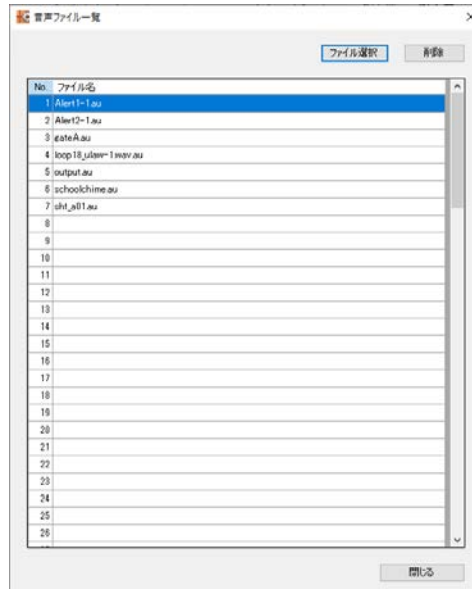
データベースのメンテナンス設定画面

- サーバーが管理しているデータベースの最適化処理の有効/無効、実行スケジュールなどの設定を行います。

### 3.4.4. 音声ファイル(ビューワー用)の登録

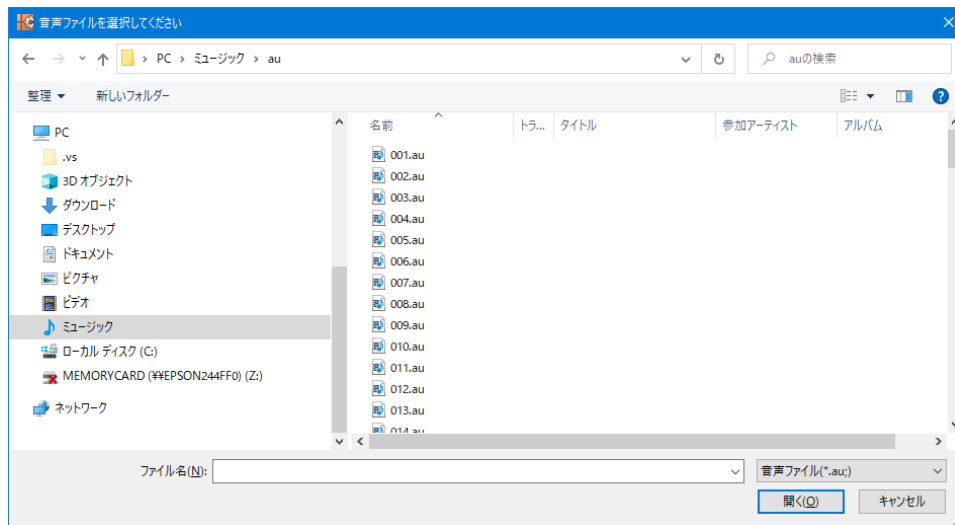
- [音声ファイル(ビューワー用)の登録] ボタンをクリックすると、音声ファイル一覧画面が表示されます。
- 音声ファイルは 100 個まで登録できます。





音声ファイル一覧画面

- [ファイル選択] ボタンをクリックすると、音声ファイルを選択するダイアログが表示されます。

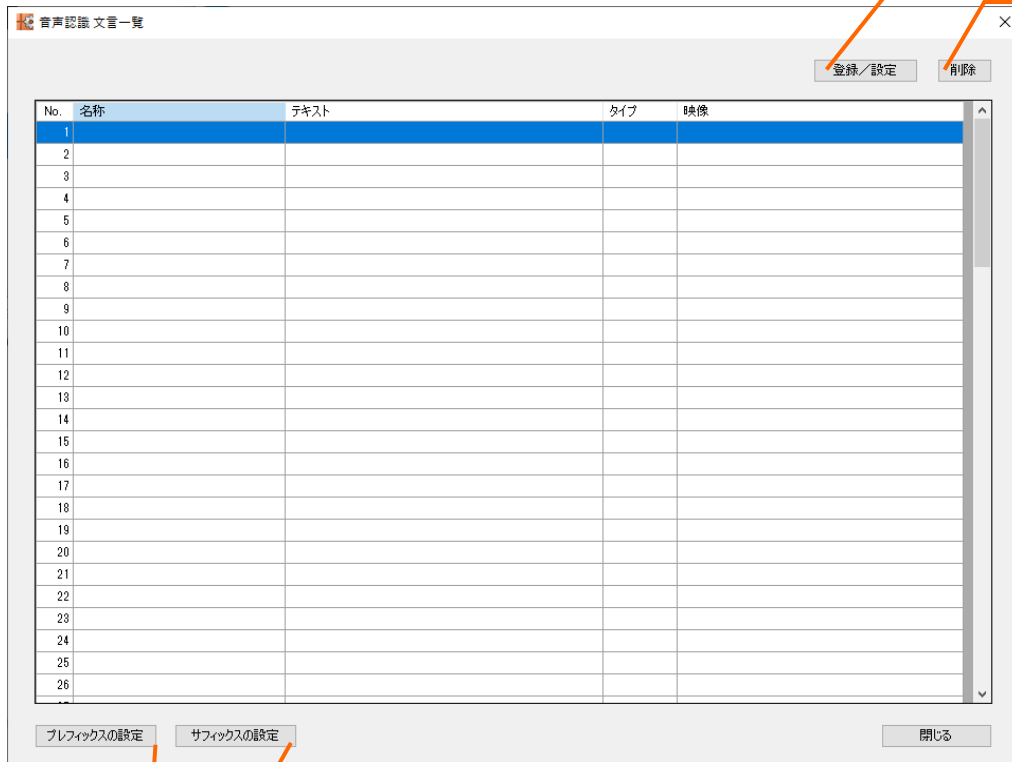


音声ファイルの選択ダイアログ画面

- 拡張子が”au”の音声ファイルを選択して、[開く]ボタンをクリックするとファイルが登録されます。
- 登録した音声ファイルを削除する場合には、削除したい音声ファイルをリストから選択して [削除] ボタンをクリックしてください。

### 3.4.5. 音声認識設定

- [音声認識設定] ボタンをクリックすると、音声認識 文言一覧画面が表示されます。
- 文言は 100 個まで登録できます。
- プレフィックス(音声認識させる文言の前に呼びかけるコマンド)、サフィックス(音声認識させる文言の後に呼びかけるコマンド)も登録できます。



登録/設定ボタン

削除ボタン

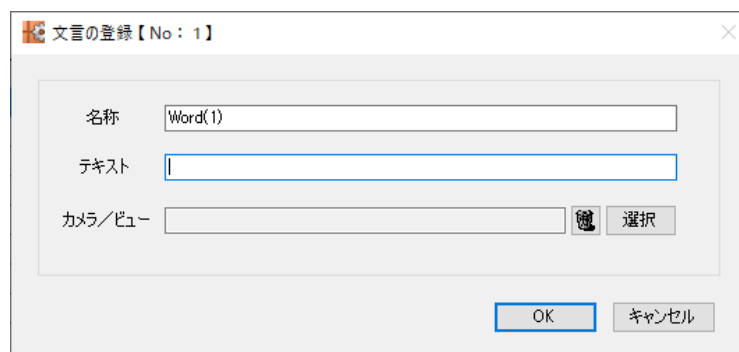
プレフィックスの設定ボタン

サフィックスの設定ボタン

音声認識 文言一覧

#### 3.4.5.1. 登録/設定ボタン

- 新しい文言を登録するときは、未登録の行を選択し、[登録/設定] ボタンをクリックするか、未登録の行をダブルクリックします。
- 登録した文言の設定を変更する場合には、変登したい文言の行を選択し、[登録/設定] ボタンをクリックするか、変登したい文言の行をダブルクリックします。
- 文言の登録/設定画面が表示されます。



文言の設定

- (1) 名称
  - 文言の登録名称を設定します。(最大 35 文字)
- (2) テキスト
  - 音声認識させる文言を設定します。(ひらがなで最大35文字)
- (3) カメラ/ビュー
  - 音声認識の文言に連動して表示させるカメラまたはビューを設定します。

※メモ

文言のテキストを「かめらいち」として、カメラ/ビューで連動して表示するカメラ1を設定している場合に、プレフィックスとサフィックスのテキストの登録内容との組み合わせで、音声認識に呼びかける言葉が変わります。

それぞれ、プレフィックスに「ていーえすにせん」と登録、または（登録なし）に、サフィックスを「きりかえて」と登録、または（登録なし）にした場合には以下ようになります。

	プレフィックスのテキスト	文言のテキスト	サフィックスのテキスト	カメラ1を表示するために、音声認識に呼びかける言葉
1	(登録なし)	かめらいち	(登録なし)	かめらいち
2	ていーえすにせん	かめらいち	(登録なし)	ていーえすにせん かめらいち
3	(登録なし)	かめらいち	きりかえて	かめらいち きりかえて
4	ていーえすにせん	かめらいち	きりかえて	ていーえすにせん かめらいち きりかえて

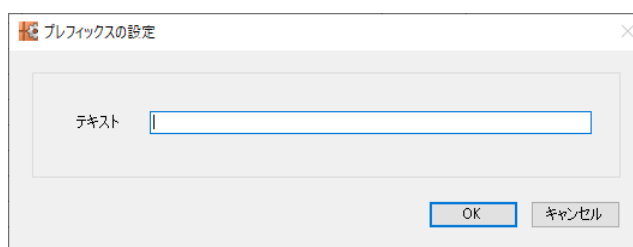
### 3.4.5.2. 削除ボタン

文言を削除します。

- 登録されている行を選択し、[削除] ボタンをクリックすると、選択した文言を削除します。

### 3.4.5.3. プレフィックスの設定

- [プレフィックスの設定] ボタンをクリックします。  
プレフィックスの設定画面が表示されます。

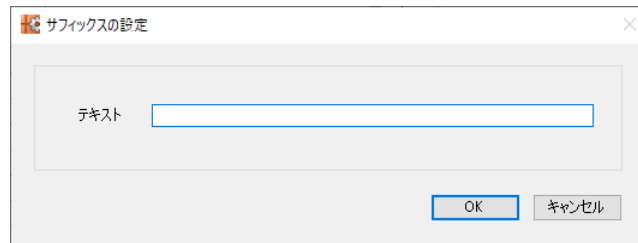


#### (1) テキスト

- 音声認識させる文言の前に呼びかけるコマンドを設定します。(ひらがなで最大 35 文字)

### 3.4.5.4. サフィックスの設定

- [サフィックスの設定] ボタンをクリックします。  
サフィックスの設定画面が表示されます。



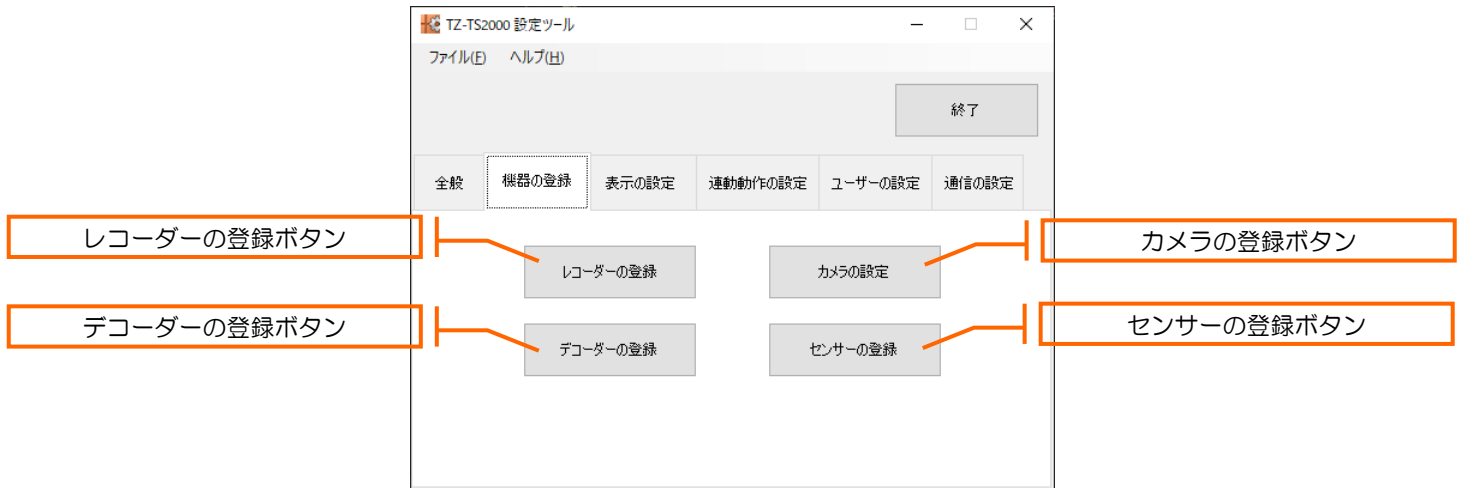
## (2) テキスト

- 音声認識させる文言の後に呼びかけるコマンドを設定します。(ひらがなで最大35文字)

### 3.5. 機器の登録

本ソフトウェアで使用する機器を登録します。

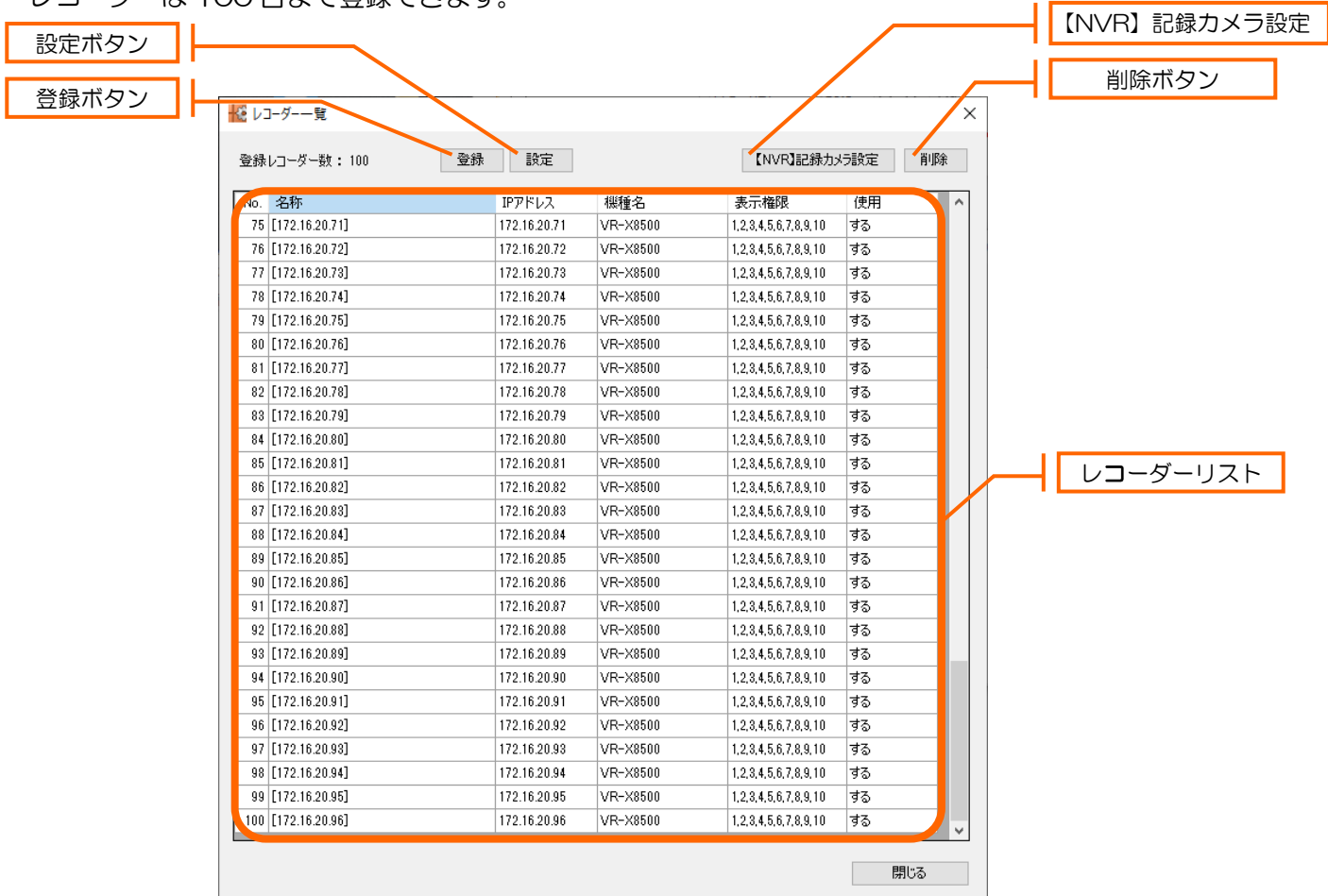
- ・ [機器の登録] タブを選択します。



機器の登録タブ選択時

#### 3.5.1. レコーダーの登録

- ・ [レコーダーの登録] ボタンをクリックすると、レコーダー一覧画面が表示されます。
- ・ レコーダーは 100 台まで登録できます。



レコーダーの一覧画面

- レコーダーリストには、登録済みのレコーダーが表示されます。
- 新しくレコーダーを登録するときは [登録] ボタンをクリックします。
- レコーダーの登録画面が表示されます。

レコーダーIPアドレス指定登録

レコーダーの登録画面

- レコーダーの登録方法は、以下の通りです。
  - レコーダーIPアドレス指定登録  
[IPアドレス] を入力し、[機種名] を選択して [登録] ボタンをクリックします。

※メモ 登録可能なレコーダーは VR-X8500/X8100/X7100/X5100、XProtect です。  
「XProtect」で動作確認したバージョンは XProtect Corporate 2020 R3 のみです。

### 3.5.1.1. レコーダーの設定

- 登録したレコーダーの設定を変更する場合には、変更したいレコーダーをレコーダーリストから選択して [設定] ボタンをクリックします。
- レコーダーの設定画面が表示されます。

※メモ レコーダーリスト上で変更したいレコーダーをダブルクリックしても設定画面が表示されます。

レコーダーの設定画面

- IPアドレス1  
レコーダー本体のIPアドレスを表示します。  
IPアドレスを変更する際は、レコーダーを一旦削除し、新しく登録し直してください。
- ポート1  
レコーダー本体と通信するためのポート番号を設定します。
- IPアドレス2  
レコーダー本体の第2IPアドレスを設定します。  
遠隔モードで使用する際、IPアドレス2が設定されていれば、こちらが使用されます。
- ポート2  
レコーダー本体と通信するための第2ポート番号を設定します。  
遠隔モードで使用する際、IPアドレス2が設定されていれば、こちらが使用されます。
- 機種名

- レコーダー本体の機種名を表示します。
- (6) 名称  
表示する名称を設定します。(最大35文字)
  - (7) ユーザー名  
レコーダー本体と通信するためのユーザー名を設定します。
  - (8) パスワード  
レコーダー本体と通信するためのパスワードを設定します。
  - (9) ユーザーグループの表示権限  
選択されているユーザーグループのみ、このレコーダーを表示できます。
  - (10) このレコーダーを使用する  
このレコーダーを使用する際は選択してください。  
選択を外すと、このレコーダーは使用できなくなります。

### 3.5.1.2. XPEレコーダー本体の設定 (VR-X8100、VR-X7100、VR-X5100の場合)

本ソフトウェアでVR-X8100/X7100/X5100の記録映像を再生するためには、以下の設定が必要になります。

- ・登録するレコーダーにはカメラを登録しておいてください。
- ・サーバーのアクセス数の変更 (VR-X7100のみ)

※メモ レコーダーがMaster/Slave構成になっている場合、本ソフトウェアでは映像が正しく表示できないことがあります。

レコーダーはMaster/Slave構成にしないでください。

また、既にMaster/Slave構成になっている場合は解除してください。

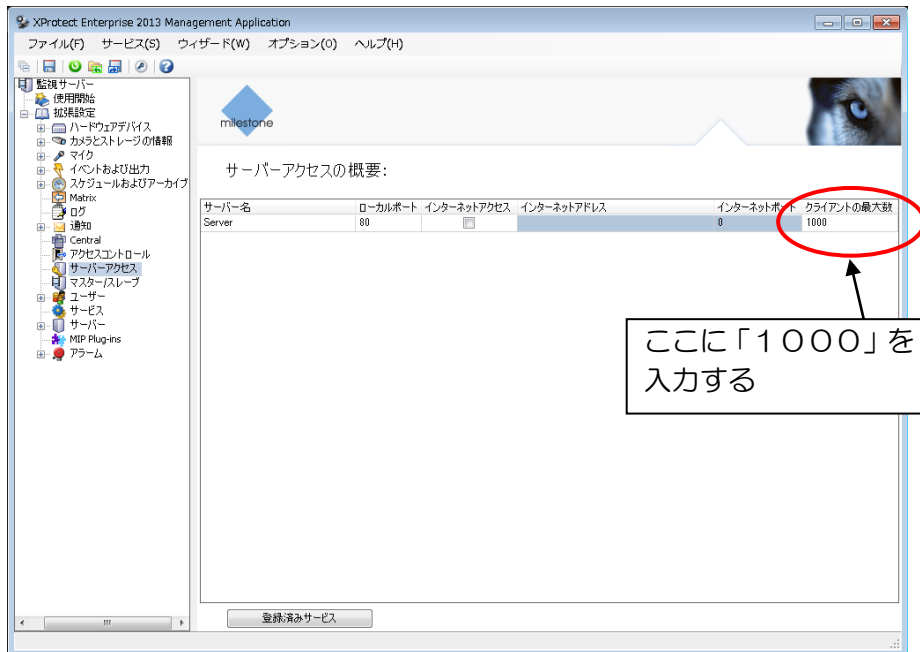
※メモ カメラ名とマイク名は異なる名称に設定してください。同じ名称の場合、動画保存のデータベースエクスポートが正しく動作しないことがあります。

#### (1) アプリケーションの起動

Management Applicationを起動してください。

#### (2) サーバーのアクセス数の変更 (VR-X7100のみ)

- ・左のリストメニューからサーバーアクセスを選択します。サーバーアクセスの概要画面が表示されます。
- ・クライアントの最大数に「1000」を設定してください。

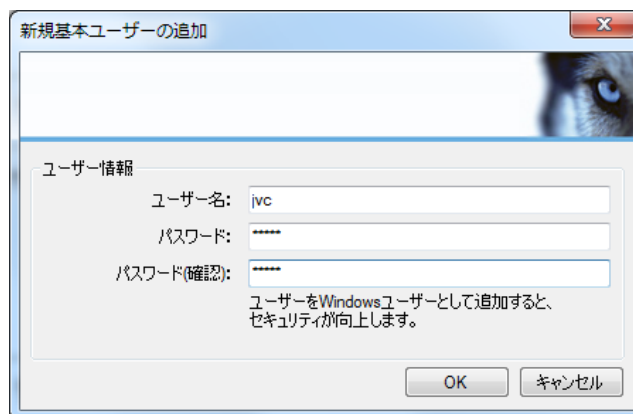


サーバーアクセスの概要

### (3) ユーザーの登録

ユーザーが登録されていない場合は、ユーザーを登録します。

- ・ 左のリストからユーザーを選択し、右クリックで新規基本ユーザーの追加を選択します。
- ・ 新規基本ユーザーの追加画面が表示されます。
- ・ 新規基本ユーザーの追加画面で、ユーザー名とパスワードを入力してください。
- ・



新規基本ユーザーの追加

### (4) アプリケーションの終了

アプリケーションを終了させるとサービスを再起動するかどうか聞いてきますので、「変更の保存 - サービスの再起動」を選択して「OK」ボタンを押してください。

#### 3.5.1.3. XPCレコーダー本体の設定 (VR-X8500、Xprotectの場合)

本ソフトウェアで VR-X8500/Xprotect の記録映像を再生するためには、以下の設定が必要になります。

- ・ 登録するレコーダーにはカメラを登録しておいてください。



※メモ カメラ名とマイク名は異なる名称に設定してください。同じ名称の場合、動画保存のデータベースエクスポートが正しく動作しないことがあります。

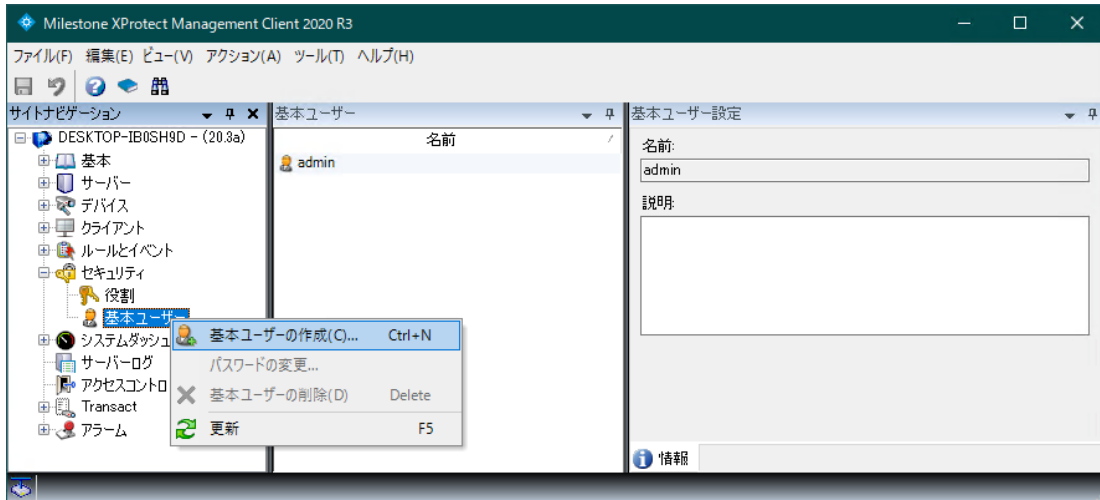
(1) アプリケーションの起動

Management Clientを起動してください。

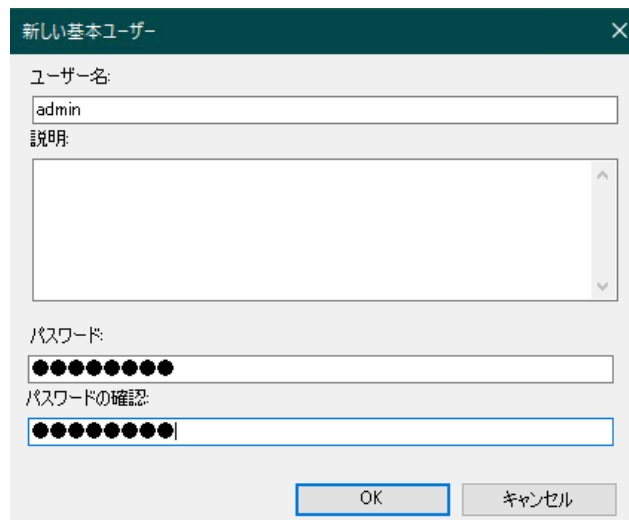
(2) ユーザーの登録

ユーザーが登録されていない場合は、ユーザーを登録します。

- 左のリストから[セキュリティ]-[基本ユーザー]を選択し、右クリックで基本ユーザーの作成を選択します。



- 新しい基本ユーザーの作成画面が表示されます。
- 新しい基本ユーザーの作成画面で、ユーザー名とパスワードを入力してください。



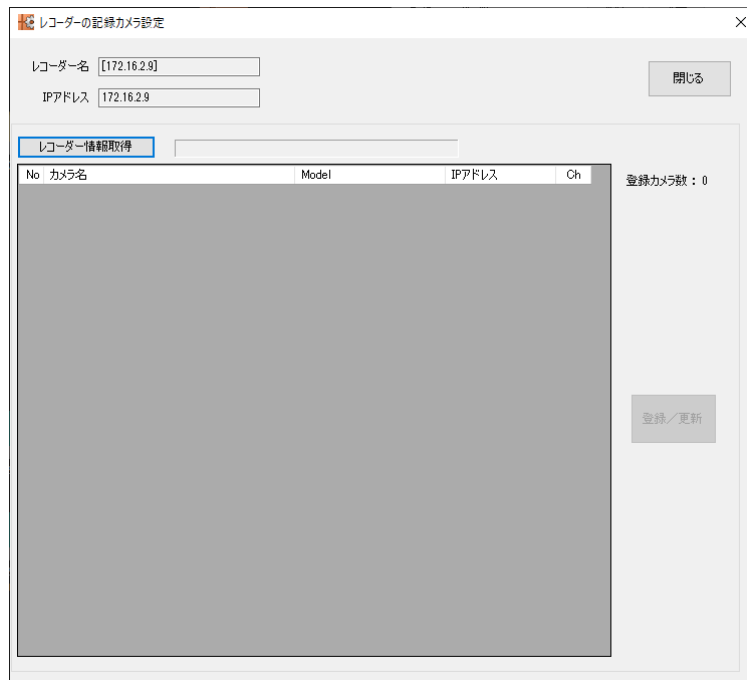
新しい基本ユーザーの作成

(3) アプリケーションの終了

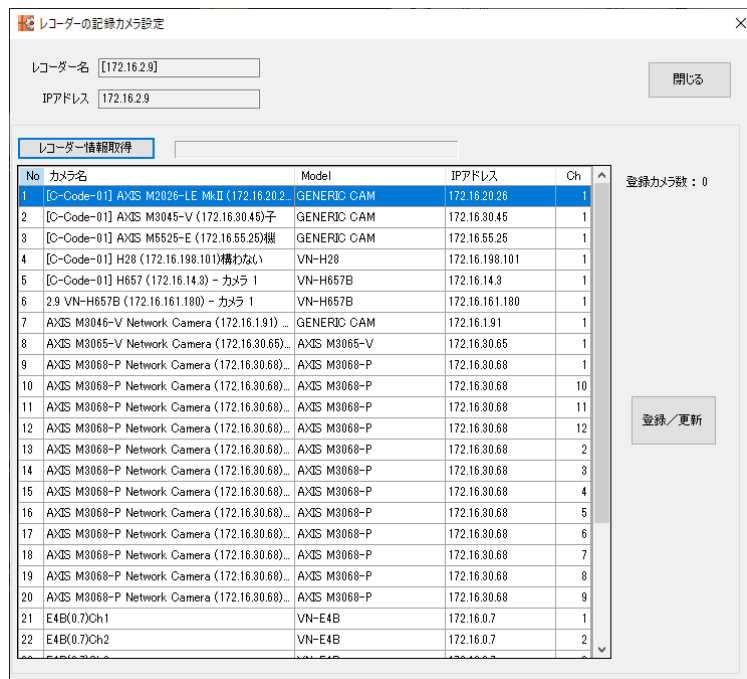
アプリケーションを終了させてください。

### 3.5.1.4. レコーダーの記録カメラ設定

- レコーダーに登録されているカメラを登録/更新する場合には、設定したいレコーダーをレコーダーリストから選択して【【NVR】記録カメラ設定】ボタンをクリックします。
- レコーダーの記録カメラ設定画面が表示されます。



レコーダーの記録カメラ設定画面



レコーダーの記録カメラ設定画面 (レコーダー情報取得後)

- 【レコーダー情報取得】ボタンをクリックすると、選択中のレコーダーに登録されているカメラ情報を取得し、リストに表示します。
- カメラの登録/更新を行うには、リストでカメラを選択し、【登録/更新】ボタンをクリックしてください。

### 3.5.1.5. レコーダーの削除

- 登録したレコーダーを削除する場合には、削除したいレコーダーをレコーダーリストから選択して、[削除] ボタンをクリックしてください。

### 3.5.2. カメラの設定

- [カメラの設定] ボタンをクリックすると、カメラ一覧画面が表示されます。
- カメラは1600台まで登録できます。

The screenshot shows a window titled 'カメラ一覧' (Camera List) with a table of camera details. Callouts point to the '設定' (Settings) button, the 'プリセットポジションボタン' (Preset Position Button), and the 'ビューのプリセットポジション' (View Preset Position) button.

No.	カメラ名	表示名	IPアドレス	機種名	表示権限	使用権限	使用	Pos
1	[C-Code-01] H28 (172.16.198.101)構...	H28(198.101)	172.16.198.101	VN-H28	1.2.3.4.5.6.7.8.9.10	1.2.3.4.5.6.7.8.9.10	する	<input type="checkbox"/>
2	108機	H257VP(12.108)	172.16.12.108	VN-H257VP	1.2.3.4.5.6.7.8.9.10	1.2.3.4.5.6.7.8.9.10	する	<input type="checkbox"/>
3	58.1(H58)		172.16.58.1	VN-H58	1.2.3.4.5.6.7.8.9.10	1.2.3.4.5.6.7.8.9.10	する	<input type="checkbox"/>
4	19.5(H328)		172.16.19.5	VN-H57	1.2.3.4.5.6.7.8.9.10	1.2.3.4.5.6.7.8.9.10	する	<input type="checkbox"/>
5	19.4(H228)		172.16.19.4	GENERIC CAM	1.2.3.4.5.6.7.8.9.10	1.2.3.4.5.6.7.8.9.10	する	<input type="checkbox"/>
6	X81_58.2(H158WPR)		172.16.58.2	VN-H158WPR	1.2.3.4.5.6.7.8.9.10	1.2.3.4.5.6.7.8.9.10	する	<input type="checkbox"/>
7	JVC VN-H258R (172.16.58.3) - カメラ...		172.16.58.3	VN-H258R	1.2.3.4.5.6.7.8.9.10	1.2.3.4.5.6.7.8.9.10	する	<input type="checkbox"/>
8	AXIS M3066-V Network Camera (17...		172.16.30.66	AXIS M3066-V	1.2.3.4.5.6.7.8.9.10	1.2.3.4.5.6.7.8.9.10	する	<input type="checkbox"/>
9	109		172.16.12.109	VN-H157WP	1.2.3.4.5.6.7.8.9.10	1.2.3.4.5.6.7.8.9.10	する	<input type="checkbox"/>
10	21.4-1(VN-H268R)子.		172.16.21.4	VN-H268R CH1	1.2.3.4.5.6.7.8.9.10	1.2.3.4.5.6.7.8.9.10	する	<input type="checkbox"/>
11	VR-X8100 18.2(H557)機.		172.16.18.2	VN-H557	1.2.3.4.5.6.7.8.9.10	1.2.3.4.5.6.7.8.9.10	する	<input checked="" type="checkbox"/>
12	X81_56.56(P5655)		172.16.56.56	AXIS P5655-E	1.2.3.4.5.6.7.8.9.10	1.2.3.4.5.6.7.8.9.10	する	<input checked="" type="checkbox"/>
13	X81_32.84(DC-S3283WHX-A)		172.16.32.84	IDIS DC-S3283WHX-A	1.2.3.4.5.6.7.8.9.10	1.2.3.4.5.6.7.8.9.10	する	<input checked="" type="checkbox"/>
14	21.1(U178WPR)2		172.16.21.1	VN-U178WPR CH2	1.2.3.4.5.6.7.8.9.10	1.2.3.4.5.6.7.8.9.10	する	<input type="checkbox"/>
15	14.2(H657WP)		172.16.14.2	VN-H657WP	1.2.3.4.5.6.7.8.9.10	1.2.3.4.5.6.7.8.9.10	する	<input checked="" type="checkbox"/>
16	VR-X8100 32.83(IDIS S3283FX)		172.16.32.83	IDIS DC-S3283FX	1.2.3.4.5.6.7.8.9.10	1.2.3.4.5.6.7.8.9.10	する	<input checked="" type="checkbox"/>
17	14.3(H657B)		172.16.14.3	VN-H657B	1.2.3.4.5.6.7.8.9.10	1.2.3.4.5.6.7.8.9.10	する	<input checked="" type="checkbox"/>
18	20.2(H68)Ch1		172.16.20.2	VN-H68 CH1	1.2.3.4.5.6.7.8.9.10	1.2.3.4.5.6.7.8.9.10	する	<input type="checkbox"/>
19	20.1(U78)2ホ.		172.16.20.1	VN-U78 CH2	1.2.3.4.5.6.7.8.9.10	1.2.3.4.5.6.7.8.9.10	する	<input type="checkbox"/>
20	21.2-1(VN-H168WPR)		172.16.21.2	VN-H168WPR CH1	1.2.3.4.5.6.7.8.9.10	1.2.3.4.5.6.7.8.9.10	する	<input type="checkbox"/>
21	20.1(U78)1		172.16.20.1	VN-U78 CH1	1.2.3.4.5.6.7.8.9.10	1.2.3.4.5.6.7.8.9.10	する	<input type="checkbox"/>
22	21.1(U178WPR)1		172.16.21.1	VN-U178WPR CH1	1.2.3.4.5.6.7.8.9.10	1.2.3.4.5.6.7.8.9.10	する	<input type="checkbox"/>
23	67.8(H678WPR)		172.16.67.8	VN-H678WPR	1.2.3.4.5.6.7.8.9.10	1.2.3.4.5.6.7.8.9.10	する	<input checked="" type="checkbox"/>
24	AXIS M3046-V Network Camera (17...		172.16.1.91	GENERIC CAM	1.2.3.4.5.6.7.8.9.10	1.2.3.4.5.6.7.8.9.10	する	<input type="checkbox"/>
25	[C-Code-01] AXIS M3045-V (172.16...		172.16.30.45	GENERIC CAM	1.2.3.4.5.6.7.8.9.10	1.2.3.4.5.6.7.8.9.10	する	<input type="checkbox"/>
26	E4B(0.7)Ch1		172.16.0.7	VN-E4B CH1	1.2.3.4.5.6.7.8.9.10	1.2.3.4.5.6.7.8.9.10	する	<input type="checkbox"/>
27	E4B(0.7)Ch2		172.16.0.7	VN-E4B CH2	1.2.3.4.5.6.7.8.9.10	1.2.3.4.5.6.7.8.9.10	する	<input type="checkbox"/>

- カメラリストには、登録済みのカメラが表示されます。
- ドラッグアンドドロップにて、カメラの表示順序を変更できます。

#### 3.5.2.1. カメラの設定

- 登録されたカメラの設定を変更する場合には、変更したいカメラをカメラリストから選択して [設定] ボタンをクリックします。
- カメラの設定画面が表示されます。

※メモ カメラリスト上で変更したいカメラをダブルクリックしても設定画面が表示されます。

カメラの設定画面

- (1) IPアドレス  
カメラ本体のIPアドレスを表示します。  
IPアドレスを変更する際は、カメラを一旦削除し、新しく登録し直してください。
- (2) 本体設定  
ブラウザを起動して、カメラ本体の設定用Webページを表示します。  
※メモ 遠隔モードの場合は、本体設定ボタンが無効となります。
- (3) 機種名  
カメラ本体の機種名を表示します。  
機種名にチェックを入れると、機種の変更が可能となります。
- (4) グループ名  
カメラをツリー表示する際に、まとめて表示するためのグループ名を設定します。
- (5) カメラ名  
レコーダーから取得した名称を表示します。
- (6) 表示用カメラ名  
表示する名称を設定します。設定された場合ビューワーにおいてはこちらの名称が表示されます。  
(最大35文字)
- (7) ユーザー名  
カメラ本体と通信するためのユーザー名を設定します。
- (8) パスワード  
カメラ本体と通信するためのパスワードを設定します。
- (9) チャンネル  
チャンネル番号を表示します。  
複数チャンネルのカメラの場合、Chにチェックを入れると、チャンネルの変更が可能となります。
- (10) 設定ポート  
カメラ本体と通信するためのポート番号を設定します。
- (11) ユーザーグループの表示権限  
選択されているユーザーグループのみ、このカメラを表示できます。
- (12) ユーザーグループの操作権限  
選択されているユーザーグループのみ、このカメラを操作できます。
- (13) レコーダー  
レコーダー情報(名称、IPアドレス、チャンネル、カメラID、マイクID)が表示されます。
- (14) 音声  
音声対応のカメラの場合、受信・送信のチェックボックスをチェックすると音声受信、音声送信機

能を利用できます。送信方法（Unicast/Multicast）、IPアドレス、ポートを設定します。

(15) 外部音声設定

ライブ時に外部音声とする、音声が無効な他のカメラの選択が可能となります。再生時の映像と音声の組み合わせはレコーダー本体で設定します。

(16) 画質設定を制御しない（ON/OFF）

画質設定が可能な機種のみ設定可能です。

※メモ ONの場合、画質設定項目が無効となり、画質制御を行わなくなります。

(17) 照明を使用するユーザーグループ

VN-H678WPCの場合のみ設定可能です。

選択されているユーザーグループのみ、

(白色LED)照明制御項目が表示され操作が可能となります。

<input checked="" type="checkbox"/> 1	<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 3	<input type="checkbox"/> 4	<input type="checkbox"/> 5
<input type="checkbox"/> 6	<input type="checkbox"/> 7	<input type="checkbox"/> 8	<input type="checkbox"/> 9	<input type="checkbox"/> 10

(18) アラーム配信先設定

IDIS DC-S3283FX/WHX/FX-A/WHX-Aの場合のみ設定可能です。

[アラーム配信先設定] ボタンをクリックするとアラーム配信設定画面が表示されます。

カメラの設定

IPアドレス 172.16.32.83 本体設定 **アラーム配信先設定**

IDIS\_JAPANESE DC-S3283WHX-A (172.16.32.84) - カメラ 1 のアラーム配信先

アラームの配信先の登録

TZ-TS2000サーバーのIPアドレス 192.168.3.7

ポート 20000 登録

配信先一覧 削除

No.	IPアドレス	Port
-----	--------	------

閉じる

① アラーム配信先の登録

- [登録]ボタンをクリックすると、IDIS DC-S3283FX/WHX/FX-A/WHX-Aカメラに対してアラーム配信先の登録処理を実行します。

② アラーム配信先の削除

- アラーム配信先を削除する場合には、削除したいアラーム配信先をリストから選択して[削除]ボタンをクリックしてください。

(19) Pos

VN-U78/VN-U178WPRのCH2のみ設定可能です。

切り出し拡大映像によるパン・チルト操作を使用する場合、Posにチェックを入れてください。

カメラの設定

IPアドレス 172.16.20.1 本体設定

機種名 VN-U78  Pos

グループ名

カメラ名 20.1(U78)2番

表示用カメラ名

ユーザー名 admin

パスワード \*\*\*

チャンネル 2

(20) このカメラを使用する

このカメラを使用する際は選択してください。選択を外すと、このカメラは使用できなくなります。

※メモ 複数チャンネルのカメラ（VN-E4B、VN-H68、VN-H268R、VN-H268VPR、

VN-H168WPR、VN-U78、VN-U178WPR、AXIS M3067-P、AXIS M3068-P) の場合、パスワード 及びポートの更新内容は、他のチャンネルのカメラにも自動で反映されます。

※メモ パスワード 及び ポートの更新内容は、センサーで登録されているカメラ端子にも自動で反映されます。

### 3.5.2.2. プリセットポジションの設定

- 登録したPTZカメラにプリセットポジションを設定する場合には、設定したいPTZカメラをカメラリストから選択して [プリセットポジション] ボタンをクリックします。
- プリセットポジション設定画面が表示されます。

※メモ 本ソフトウェアは、ネットワークレコーダーからの再配信映像を表示します。ネットワークレコーダーとの安定した接続を行うために、以下の設定が必要となります。

- 使用するネットワークインターフェースを、一つに限定してください。
- 使用するネットワークインターフェースで、IPv4,IPv6 を共に有効にしてください。
- 使用するネットワークインターフェースで、一つのIPv4 アドレスのみを割り当ててください。

※メモ 新たに登録したカメラに対してプリセットポジションを設定する際は、一度設定ツールを終了し、サーバーに設定を反映させてください。

※メモ グリッド表示をチェックすると、映像上にグリッド線が表示されます。

※メモ 画面アスペクト比が 16:9 の場合、レターボックス表示をチェックすると上下に黒枠が付いた状態で表示されます。

カメラ選択

プリセットポジション一覧

登録/削除操作部

HOME

プリセットポジション名

HOME

登録 削除

PTZ制御

パン/チルト

ズーム

望遠 広角

フォーカス

モード:

遠 近

ワンタッチAF

スピード

パン/チルト ズーム フォーカス

3 3 3

閉じる

カメラのプリセットポジションを取得

開始No. 終了No. 取得

0 ~ 199

カメラ側へのプリセットポジション再登録

グリッド表示

レターボックス表示

画質

白黒モード

プリセットポジション設定画面

PTZ 制御部

画質制御部

- (1) カメラ選択  
プリセットポジションを設定するカメラを選択します。
- (2) プリセットポジション一覧  
登録済みのプリセットポジション名が表示されます。

(3) 登録／削除操作部

登録する際は、登録するプリセットポジション番号（HOME、1、2、3、・・・）を選択し、  
[プリセットポジション名]を入力して[登録]ボタンをクリックします。

削除する際は、削除するプリセットポジションをプリセットポジション一覧で選択し、  
[削除]ボタンをクリックします。

※メモ この際、カメラ側に対してもプリセットポジションの登録／削除を行います。

(4) カメラのプリセットポジションを取得

[取得]ボタンをクリックするとカメラ側に登録されているプリセットポジションを順次表示して、  
プリセットポジションの登録処理を実行します。

処理を中止するには[取得中]ボタンをクリックします。

(5) カメラ側へのプリセットポジション再登録

[カメラ側へのプリセットポジション再登録]ボタンをクリックすると既存の  
プリセットポジションを順次表示して、カメラ側へプリセットポジションの登録処理を  
実行します。

処理を中止するには[プリセットポジション登録中]ボタンをクリックします。

(6) PTZ制御部

パン、チルト、ズーム、フォーカス、フォーカスモードを設定します。

※メモ PTZF 制御でスピード制御が指定されている場合は、ボタンを押下すると動作します。

※メモ PTZF 制御でステップ制御が指定されている場合は、ボタンを押下すると一定量動作します。

(7) 画質制御部

白黒モード(※ VN-H678WPRの場合はデイナイト切替設定)を設定します。

(8) 照明制御部

白色LED照明のモード

(消灯/ズーム連動/固定照射1~4/照明スケジュールON)を  
設定します。(※ VN-H678WPCのみ)





### 3.5.2.3. ビューのプリセットポジションの設定

- ビューのプリセットポジションを設定する場合には、設定したいドームカメラをカメラリストから選択して [ビューのプリセットポジション] ボタンをクリックします。
- ビューのプリセットポジション設定画面が表示されます。

※メモ 本ソフトウェアは、ネットワークレコーダーからの再配信映像を表示します。  
ネットワークレコーダーとの安定した接続を行うために、以下の設定が必要となります。

- 使用するネットワークインターフェースを、一つに限定してください。
- 使用するネットワークインターフェースで、IPv4,IPv6 を共に有効にしてください。
- 使用するネットワークインターフェースで、一つのIPv4 アドレスのみを割り当ててください。

※メモ グリッド表示をチェックすると、映像上にグリッド線が表示されます。

※メモ 画面アスペクト比が 16:9 の場合、レターボックス表示をチェックすると上下に黒枠が付いた状態で表示されます。

ビューのプリセットポジション登録画面

- (1) カメラ選択  
ビューのプリセットポジションを設定するカメラを選択します。
- (2) プリセットポジション一覧  
登録済みのビューのプリセットポジション名が表示されます。
- (3) 登録/削除操作部
  - 登録する際は、コンボボックスで「ビュー + 位置No.」を選択し、「登録」ボタンをクリックします。
  - 「<<(前)」ボタンの選択で一つ前の「ビュー + 位置No.」が選択されます。
  - 「>>(次)」ボタン選択で次の「ビュー + 位置No.」が選択されます。
  - 自動更新がチェックされていると、登録完了時に次の「ビュー + 位置No.」が自動で選択されます。
  - 削除する際は、コンボボックスで「ビュー + 位置No.」を選択し、「削除」ボタンをクリックします。
- (4) PTZ制御部

パン、チルト、ズーム、フォーカス、フォーカスモードを設定します。

※メモ PTZF 制御でスピード制御が指定されている場合は、ボタンを押下すると動作します。

※メモ PTZF 制御でステップ制御が指定されている場合は、ボタンを押下すると一定量動作します。

#### (5) 画質制御部

白黒モード(※ VN-H678WPRの場合はデイナイト切替設定)を設定します。

#### (6) 照明制御部

白色LED照明のモード(消灯/ズーム連動/固定照射1~4/照明スケジュールON)を設定します。

(※ VN-H678WPCのみ)

### 3.5.2.4. カメラの削除

- 登録したカメラを削除する場合には、削除したいカメラをカメラリストから選択して [削除] ボタンをクリックしてください。

### 3.5.3. デコーダーの登録 (TZ-TS2000のみ)

- [デコーダーの登録] ボタンをクリックすると、デコーダー一覧画面が表示されます。
- デコーダーは25台まで登録できます。

登録ボタン

削除ボタン

登録ボタン

登録

設定

削除

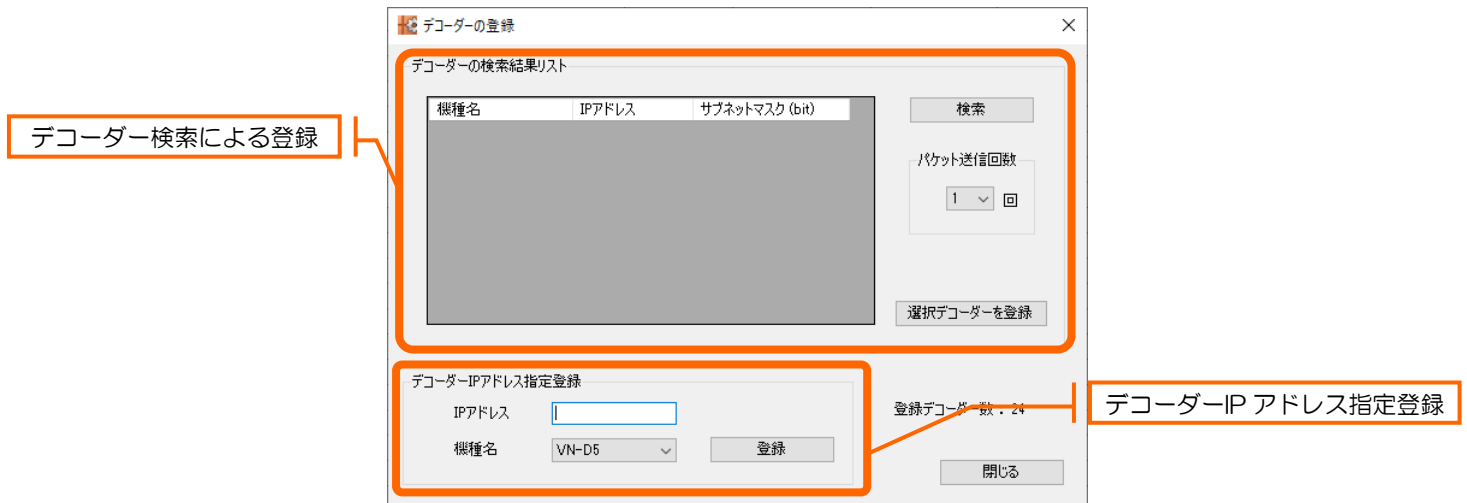
No.	名称	IPアドレス	機種名	表示権限	使用
1	[172.16.181.114]	172.16.181.114	VN-D5	1,2,3,4,5,6,7,8,9,10	する
2	[172.16.3.1]	172.16.3.1	VN-D5	1,2,3,4,5,6,7,8,9,10	する
3	[172.16.3.2]	172.16.3.2	VN-D5	1,2,3,4,5,6,7,8,9,10	する
4	[172.16.3.3]	172.16.3.3	VN-D5	1,2,3,4,5,6,7,8,9,10	する
5	[172.16.3.4]	172.16.3.4	VN-D5	1,2,3,4,5,6,7,8,9,10	する
6	[172.16.3.5]	172.16.3.5	VN-D5	1,2,3,4,5,6,7,8,9,10	する
7	[172.16.3.6]	172.16.3.6	VN-D5	1,2,3,4,5,6,7,8,9,10	する
8	[172.16.3.7]	172.16.3.7	VN-D5	1,2,3,4,5,6,7,8,9,10	する
9	[172.16.3.8]	172.16.3.8	VN-D5	1,2,3,4,5,6,7,8,9,10	する
10	[172.16.3.9]	172.16.3.9	VN-D5	1,2,3,4,5,6,7,8,9,10	する
11	[172.16.3.10]	172.16.3.10	VN-D5	1,2,3,4,5,6,7,8,9,10	する
12	[172.16.3.11]	172.16.3.11	VN-D5	1,2,3,4,5,6,7,8,9,10	する
13	[172.16.3.12]	172.16.3.12	VN-D5	1,2,3,4,5,6,7,8,9,10	する
14	[172.16.3.13]	172.16.3.13	VN-D5	1,2,3,4,5,6,7,8,9,10	する
15	[172.16.3.14]	172.16.3.14	VN-D5	1,2,3,4,5,6,7,8,9,10	する
16	[172.16.3.15]	172.16.3.15	VN-D5	1,2,3,4,5,6,7,8,9,10	する
17	[172.16.3.16]	172.16.3.16	VN-D5	1,2,3,4,5,6,7,8,9,10	する
18	[172.16.3.17]	172.16.3.17	VN-D5	1,2,3,4,5,6,7,8,9,10	する
19	[172.16.3.18]	172.16.3.18	VN-D5	1,2,3,4,5,6,7,8,9,10	する
20	[172.16.3.19]	172.16.3.19	VN-D5	1,2,3,4,5,6,7,8,9,10	する
21	[172.16.3.20]	172.16.3.20	VN-D5	1,2,3,4,5,6,7,8,9,10	する
22	[172.16.3.21]	172.16.3.21	VN-D5	1,2,3,4,5,6,7,8,9,10	する
23	[172.16.3.22]	172.16.3.22	VN-D5	1,2,3,4,5,6,7,8,9,10	する
24	[172.16.3.23]	172.16.3.23	VN-D5	1,2,3,4,5,6,7,8,9,10	する
25	[172.16.3.24]	172.16.3.24	VN-D5	1,2,3,4,5,6,7,8,9,10	する

デコーダーリスト

閉じる

デコーダー一覧画面

- デコーダーリストには、登録済みのデコーダーが表示されます。
- 新しくデコーダーを登録するときは [登録] ボタンをクリックします。
- デコーダーの登録画面が表示されます。



デコーダの登録画面

- デコーダの登録方法は、以下の2通りがあります。
  - デコーダ検索による登録
    - 【パケット送信回数】を指定して【検索】ボタンをクリックすると、検索結果がリストに表示されます。
    - 登録するデコーダを検索結果リストから選択して【選択デコーダを登録】ボタンをクリックします。
    - ※メモ 検索結果リスト上でデコーダをダブルクリックしても登録できます。
  - デコーダIPアドレス指定登録
    - 【IPアドレス】を入力し、【機種名】を選択して【登録】ボタンをクリックします。
    - ※メモ 遠隔モードの場合、検索登録項目が無効となります。

### 3.5.3.1. デコーダの設定

- 登録したデコーダの設定を変更する場合には、変更したいデコーダをデコーダリストから選択して【設定】ボタンをクリックします。
- デコーダの設定画面が表示されます。

※メモ デコーダリスト上で変更したいデコーダをダブルクリックしても設定画面が表示されます。

### デコーダーの設定画面

- (1) IPアドレス  
デコーダー本体のIPアドレスを表示します。  
IPアドレスを変更する際は、デコーダーを一旦削除し、新しく登録し直してください。
- (2) 機種名  
デコーダー本体の機種名を表示します。
- (3) 名称  
表示する名称を設定します。(最大 35 文字)
- (4) ユーザー名  
デコーダー本体と通信するためのユーザー名を設定します。
- (5) パスワード  
デコーダー本体と通信するためのパスワードを設定します。
- (6) ポート  
デコーダー本体と通信するためのポート番号を設定します。
- (7) ユーザーグループの表示権限  
選択されているユーザーグループのみ、このデコーダーを表示できます。
- (8) 設定ファイル  
「取得」ボタンをクリックするとデコーダーの設定ファイルを取得し、ファイル名を表示します。  
※メモ 設定ファイルの取得をしていないと、デコーダー制御が正しく動作しないことがあります。  
※メモ 遠隔モードの場合は、「取得」ボタンが無効となります。
- (9) ボタンの設定  
最大で8個のボタンについて、ボタンの種類とボタン表記を設定できます。  
ボタンの種類を設定すると、機能によって、ボタン表記の下に以下のような追加の設定項目が表示されます。

	ボタンの種類に設定できる機能名	追加の設定項目
1	全デコーダー初期画面	(なし)
2	シーケンシャル停止	(なし)
3	全デコーダーシーケンシャル停止	(なし)
4	ビューワーの表示内容	(なし)
5	デコーダーの表示内容を反映	(なし)
6	ビュー表示	登録ID
7	デフォルトビュー表示	分割パターン、登録ID
8	シーケンシャル表示	登録ID
9	デフォルトシーケンシャル表示	分割パターン

※メモ デコーダーを登録した時は、上の表の1から5の機能が初期設定されています。

※メモ 登録IDはデコーダー側のIDで、分割パターンには1、4 (2×2)、6 (3×2)、9 (3×3)、12 (4×3)、16 (4×4) が設定できます。

### (10) このデコーダーを使用する

このデコーダーを使用する際は選択してください。

選択を外すと、このデコーダーは使用できなくなります。

### 3.5.3.2. デコーダーの削除

- 登録したデコーダーを削除する場合には、削除したいデコーダーをデコーダーリストから選択して [削除] ボタンをクリックしてください。

### 3.5.4. センサーの登録 (TZ-TS2000のみ)

センサーを登録します。

対応しているセンサーはADAM-6060/ADAM-6050、デンソー製レーザーセンサーZD-LS100シリーズ、アイホン製親機・子機、カメラのカメラ端子です。

- [センサーの登録] ボタンをクリックすると、センサー一覧画面が表示されます。
- センサーは8200台まで登録できます。

削除ボタン

設定ボタン

登録ボタン

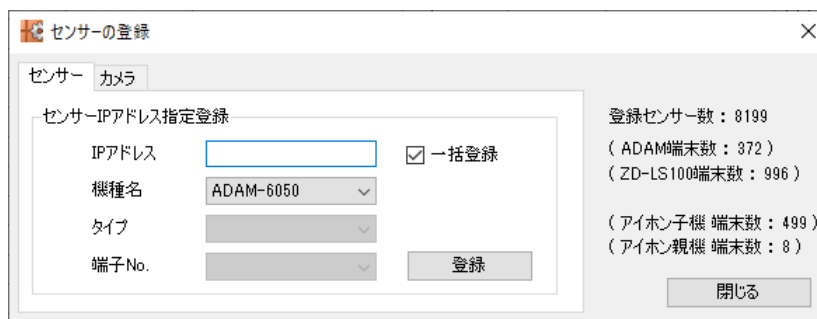
センサーリスト

No.	名称	IPアドレス	機種名	タイプ	端子No.	グループ名	表示範囲	使用
1504	[172.16.45.234](Input-1)	172.16.45.234	ADAM-6050	Input	1		1.2.3.4.5.6.7.8.9.10	する
1505	[172.16.45.234](Input-2)	172.16.45.234	ADAM-6050	Input	2		1.2.3.4.5.6.7.8.9.10	する
1506	[172.16.45.234](Input-3)	172.16.45.234	ADAM-6050	Input	3		1.2.3.4.5.6.7.8.9.10	する
1507	[172.16.45.234](Input-4)	172.16.45.234	ADAM-6050	Input	4		1.2.3.4.5.6.7.8.9.10	する
1508	[172.16.45.234](Input-5)	172.16.45.234	ADAM-6050	Input	5		1.2.3.4.5.6.7.8.9.10	する
1509	[172.16.45.234](Input-6)	172.16.45.234	ADAM-6050	Input	6		1.2.3.4.5.6.7.8.9.10	する
1510	[172.16.45.234](Input-7)	172.16.45.234	ADAM-6050	Input	7		1.2.3.4.5.6.7.8.9.10	する
1511	[172.16.45.234](Input-8)	172.16.45.234	ADAM-6050	Input	8		1.2.3.4.5.6.7.8.9.10	する
1512	[172.16.45.234](Input-9)	172.16.45.234	ADAM-6050	Input	9		1.2.3.4.5.6.7.8.9.10	する
1513	[172.16.45.234](Input-10)	172.16.45.234	ADAM-6050	Input	10		1.2.3.4.5.6.7.8.9.10	する
1514	[172.16.45.234](Input-11)	172.16.45.234	ADAM-6050	Input	11		1.2.3.4.5.6.7.8.9.10	する
1515	[172.16.45.234](Input-12)	172.16.45.234	ADAM-6050	Input	12		1.2.3.4.5.6.7.8.9.10	する
1516	[172.16.45.234](Output-1)	172.16.45.234	ADAM-6050	Output	1		1.2.3.4.5.6.7.8.9.10	する
1517	[172.16.45.234](Output-2)	172.16.45.234	ADAM-6050	Output	2		1.2.3.4.5.6.7.8.9.10	する
1518	[172.16.45.234](Output-3)	172.16.45.234	ADAM-6050	Output	3		1.2.3.4.5.6.7.8.9.10	する
1519	[172.16.45.234](Output-4)	172.16.45.234	ADAM-6050	Output	4		1.2.3.4.5.6.7.8.9.10	する
1520	[172.16.45.234](Output-5)	172.16.45.234	ADAM-6050	Output	5		1.2.3.4.5.6.7.8.9.10	する
1521	[172.16.45.234](Output-6)	172.16.45.234	ADAM-6050	Output	6		1.2.3.4.5.6.7.8.9.10	する
1522	[172.16.45.235](Input-1)	172.16.45.235	ADAM-6050	Input	1		1.2.3.4.5.6.7.8.9.10	する
1523	[172.16.45.235](Input-2)	172.16.45.235	ADAM-6050	Input	2		1.2.3.4.5.6.7.8.9.10	する
1524	[172.16.45.235](Input-3)	172.16.45.235	ADAM-6050	Input	3		1.2.3.4.5.6.7.8.9.10	する
1525	[172.16.45.235](Input-4)	172.16.45.235	ADAM-6050	Input	4		1.2.3.4.5.6.7.8.9.10	する
1526	[172.16.45.235](Input-5)	172.16.45.235	ADAM-6050	Input	5		1.2.3.4.5.6.7.8.9.10	する
1527	[172.16.45.235](Input-6)	172.16.45.235	ADAM-6050	Input	6		1.2.3.4.5.6.7.8.9.10	する
1528	[172.16.45.235](Input-7)	172.16.45.235	ADAM-6050	Input	7		1.2.3.4.5.6.7.8.9.10	する
1529	[172.16.45.235](Input-8)	172.16.45.235	ADAM-6050	Input	8		1.2.3.4.5.6.7.8.9.10	する

## センサーの一覧画面

- センサーリストには、登録済みのセンサーが表示されます。
- 新しくセンサーを登録するときは「登録」ボタンをクリックします。
- センサーの登録画面が表示されます。


### (1) センサーの登録



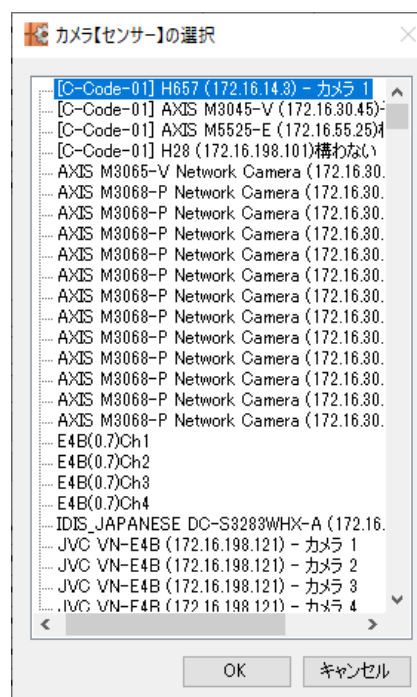
### センサーの登録画面

- センサーの登録方法は、以下の通りです。
  - センサーIPアドレス指定登録  
[IPアドレス]を入力し、[機種名]を選択して「登録」ボタンをクリックします。
  - 「一括登録」をチェックすると、すべての入出力端子が登録されます。
  - 特定の端子のみを登録する場合は「一括登録」のチェックをはずします。
    - ◇ 「タイプ」を選択し、入出力を設定します。
    - ◇ 「端子No」を選択し、登録する端子番号を設定します。

### (2) カメラ端子の登録



### カメラ端子の登録画面



### カメラの選択画面

- カメラ端子の登録方法は、以下の通りです。
  - カメラタブを選択します。

- [選択]ボタンをクリックするとカメラの選択画面が表示されます。
  - ◇ 登録カメラを選択し、[OK]をクリックすると、IPアドレス、機種名が設定されます。
- [登録]ボタンをクリックすると登録します。
- [一括登録]をチェックすると、すべてのタイプの端子が登録されます。
- 特定の端子のみを登録する場合は[一括登録]のチェックをはずします。
  - ◇ 「タイプ」を選択し、入出力を設定します。
  - ◇ 「端子No」を選択し、登録する端子番号を設定します。

※メモ カメラ機能のあるアイホン子機AIPHONE IX-DAはカメラとして登録します。  
そして、カメラ情報を元にセンサー登録を行います。

### 3.5.4.1. センサーの設定

- 登録したセンサーの設定を変更する場合には、変更したいセンサーをセンサーリストから選択して「設定」ボタンをクリックします。
- センサーの設定画面が表示されます。

※メモ センサーリスト上で変更したいセンサーをダブルクリックしても設定画面が表示されます。

入力

出力

AIPHONE IX-BA/IX-DA (子機)

AIPHONE IX-MV (親機)

ZD-LS100

#### センサーの設定画面

##### (1) IPアドレス

センサー本体のIPアドレスを表示します。

IPアドレスを変更する際は、センサーを一旦削除し、新しく登録し直してください。

##### (2) 機種名



センサー本体の機種名を表示します。

- (3) グループ名  
カメラをツリー表示する際に、まとめて表示するためのグループ名を設定します。
- (4) 名称  
表示する名称を設定します。(最大35文字)
- (5) タイプ  
タイプ情報、チャンネルを表示します。
- (6) ポート  
センサー本体と通信するためのポート番号を設定します。  
※メモ 同じユニット(同一IPアドレス)のセンサーにおけるポートも自動で更新されます。  
※メモ カメラ端子のポートはカメラ側の設定が反映されるため、センサー設定画面では変更できません。
- (7) ユーザーグループの表示権限  
選択されているユーザーグループのみ、このセンサーを表示できます。
- (8) このセンサーを使用する  
このセンサーを使用する際は選択してください。  
選択を外すと、このセンサーは使用できなくなります。

#### —入力端子設定—

- (9) 端子制御機能設定  
端子制御機能を使用する場合は選択してください。  
選択するとマップ上のセンサーオブジェクトを右クリックすることによって端子制御機能が使用できます。
- (10) 端子制御【ON】(名称変更可能、初期設定値はロック)  
端子制御【ON】に使用する出力端子センサー、コマンドを設定します。
- (11) 端子制御【OFF】(名称変更可能、初期設定値はロック解除)  
端子制御【ON】側の設定を行うと、端子制御【OFF】についても出力端子センサー、コマンドが自動的に設定されます。

#### —出力端子設定—

- (12) ボタン表示設定  
ボタンの表示をカスタマイズする場合は選択してください。  
選択を外すと従来通りの表示となります。
- (13) ボタン横の表示名  
ボタン横に表示される文字列を設定します。(最大8文字)
- (14) メイクボタンの表示設定  
メイクボタンを表示させる場合は選択してください。
- (15) メイクボタンの表記  
ボタンに表示される文字列を設定します。(最大5文字)
- (16) ブレイクボタンの表示設定  
ブレイクボタンを表示させる場合は選択してください。
- (17) ブレイクボタンの表記  
ボタンに表示される文字列を設定します。(最大5文字)
- (18) 出力保持時間の設定(初期設定値は「無制限」)  
「無制限」を選択すると、設定した端子状態を継続します。  
「時間指定」を選択すると、指定した時間端子状態を継続します。(100~5000ミリ秒)

#### —AIPHONE IX-BA/IX-DA(子機)設定—

- (19) ID  
アイホン子機のIDを設定してください。

—AIPHONE IX-MV (親機)設定—

(20) ID

アイホン親機のIDを設定してください。

(21) ユーザー名

ユーザー名を設定してください。

(22) パスワード

パスワードを設定してください。

(23) この親機(IX-MV)との通話開始・終了時にイベント連動動作するユーザーグループ  
選択されているユーザーグループのみ、通話開始・終了時にイベント連動動作します。

(24) マップからの通話開始時にこの親機(IX-MV)を使用するユーザーグループ  
選択されているユーザーグループのみ、この親機を使用して通話開始が行えます。  
※メモ 他の親機と重複したユーザーグループを指定することはできません。

—ZD-LS100 設定—

(25) ロック/ロック解除機能設定

ロック/ロック解除機能を使用する場合は選択してください。

選択するとマップ上のセンサーオブジェクトを右クリックすることによってロック/ロック解除機能が使用できます。

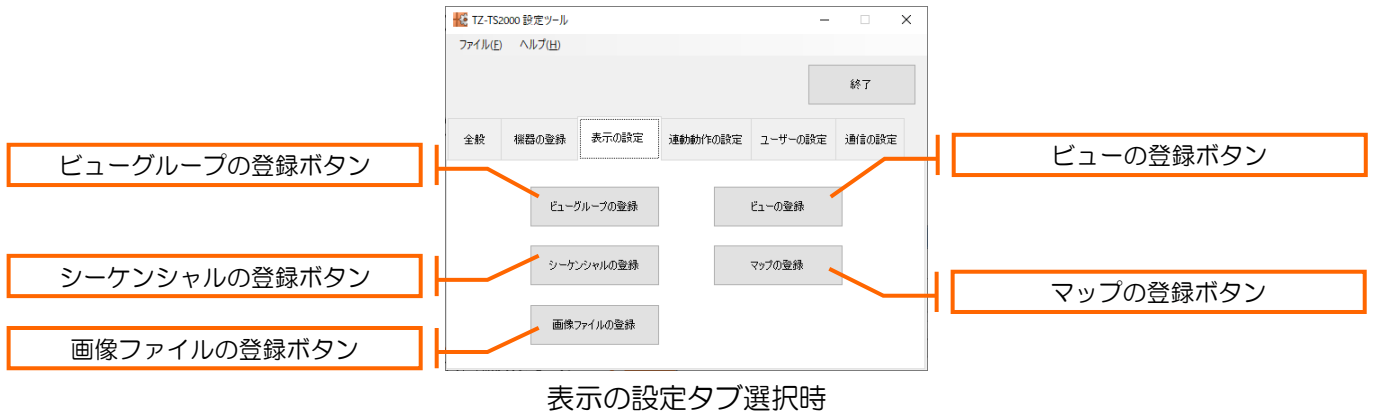
### 3.5.4.2. センサーの削除

- 登録したセンサーを削除する場合には、削除したいセンサーをセンサーリストから選択して [削除] ボタンをクリックしてください。

### 3.6. 表示の設定

ビューワで表示する「ビューグループ」「ビュー」「シーケンシャル」「マップ」「画像ファイル」を設定します。

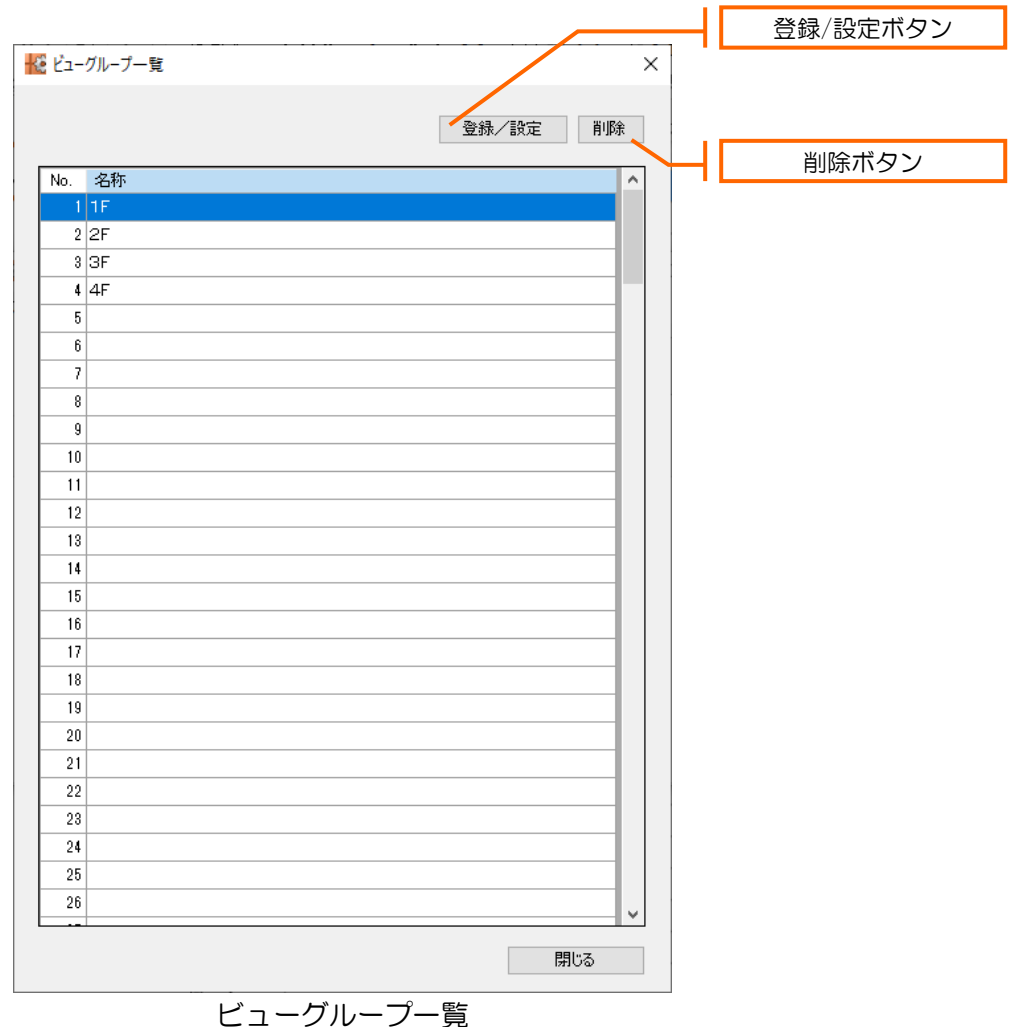
- [表示の設定] タブを選択します。



#### 3.6.1. ビューグループの登録

ビューグループを登録します。

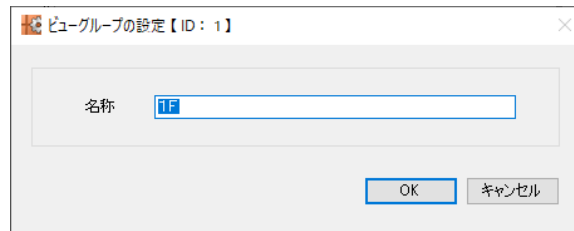
- [ビューグループの登録] ボタンをクリックすると、ビューグループ一覧画面が表示されます。
- ビューグループは200まで登録できます。



### 3.6.1.1. 登録/設定ボタン

ビューグループを登録/設定します。

- 名称が表示されていない行を選択し、[登録/設定] ボタンをクリックするか、ダブルクリックすると、デフォルトのグループ名を表示して、ビューグループの登録画面を表示します。
- 名称が表示されている行を選択し、[登録/設定] ボタンをクリックするか、ダブルクリックすると、設定済みのグループ名を表示して、ビューグループ設定画面を表示します。
- 必要に応じて修正し、[OK] ボタンをクリックすると、設定したビューグループ名(最大35文字)に変更します。



ビューグループの設定

### 3.6.1.2. 削除ボタン

ビューグループを削除します。

- 名称が表示されている行を選択し、[削除] ボタンをクリックすると、選択したビューグループを削除します。

### 3.6.2. ビューの登録

ビューを登録します。

- [ビューの登録] ボタンをクリックすると、ビューグループ一覧画面が表示されます。
- ビューは10000個まで登録できます。

No.	ビュー名	グループ名	分割パターン	映像	1	2	3	4	音声	表示権限
1	View(1)	1F	16(4x4)	16/16					3/3	1,2,3,4,5,6,7,8,9,10
2	view(2)	1F	16(4x4)	15/16					3/3	1,2,3,4,5,6,7,8,9,10
3	view(3)	2F	16(4x4)	16/16					3/3	1,2,3,4,5,6,7,8,9,10
4	view(4)	2F	16(4x4)	16/16					3/3	1,2,3,4,5,6,7,8,9,10
5	view(5)	3F	16(4x4)	16/16					3/3	1,2,3,4,5,6,7,8,9,10
6	view(6)	3F	16(4x4)	16/16					3/3	1,2,3,4,5,6,7,8,9,10
7	view(7)	4F	16(4x4)	16/16					3/3	1,2,3,4,5,6,7,8,9,10
8	view(8)	4F	16(4x4)	16/16					3/3	1,2,3,4,5,6,7,8,9,10
9										
10										
11										
12										
13										
14										
15										
16										
17										
18										
19										
20										
21										
22										
23										
24										
25										
26										

ビュー一覧画面

※メモ 映像カメラ 1~4の項目においてカメラのタイプ、プリセットポジション情報の有/無などの状態を画像表示します。マウスカーソルを合わせることでカメラ名、型番、IPなどの情報も確認可能です。

: 固定カメラ

: PTZカメラ (プリセットポジションなし)

: PTZカメラ (プリセットポジションあり)

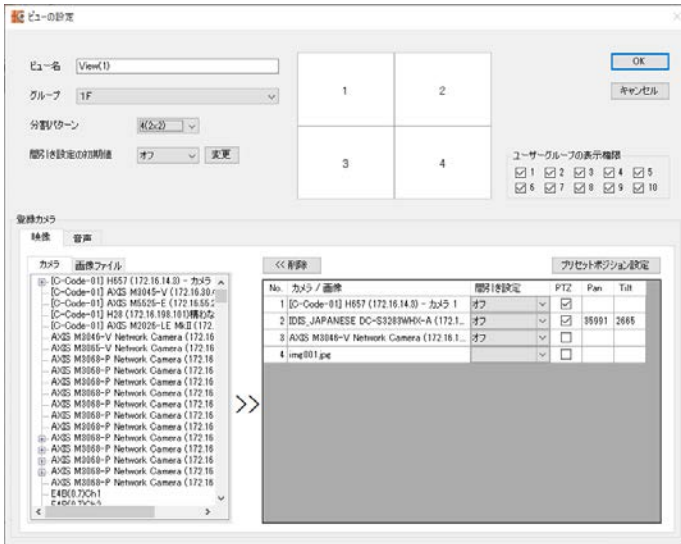
: 画像ファイル

: 登録なし

#### 3.6.2.1. ビューの登録/設定

- 新しくビューを登録するときは [登録/設定] ボタンをクリックします。
- 登録したビューの設定を変更する場合には、変更したいビューをビューリストから選択して [登録/設定] ボタンをクリックします。
- ビューの登録/設定画面が表示されます。

※メモ ビューリスト上で変更したいビューをダブルクリックしても設定画面が表示されます。



映像 (カメラ登録)

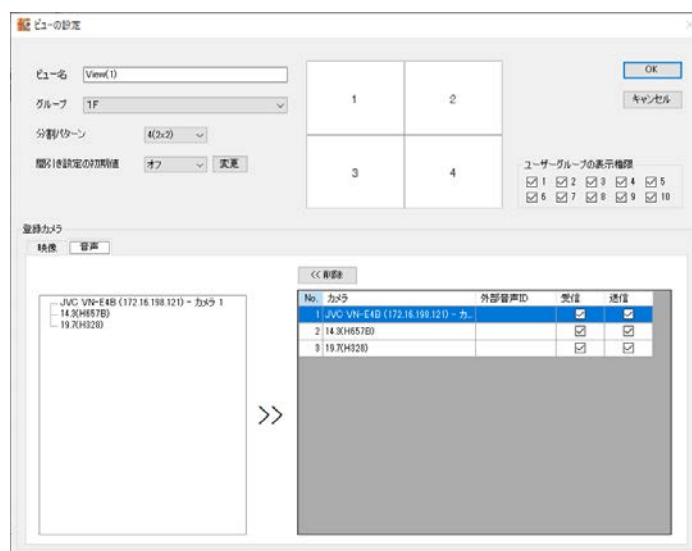


映像 (画像ファイル登録)

### ビューの登録/設定画面 (映像)

- (1) ビュー名  
表示する名称を設定します。(最大35文字)
- (2) 分割パターン  
映像ウィンドウの分割パターンを選択します。  
選択すると、右側に指定分割パターンのレイアウトイメージが表示されます。
- (3) 間引き設定の初期値 (オン/オフ 初期設定: オフ)  
ビューの各映像ウィンドウにカメラを登録する際に、反映される間引き設定の初期値を設定します。  
右側のリストで項目を選択し、[変更]ボタンをクリックすると、選択されているカメラの間引き設定を変更します。(複数選択可能です)
- (4) 登録カメラ/画像  
ビューに登録するカメラ/画像ファイルを、左側のリストから右側のリストに、ドラッグアンドドロップによって登録します。  
※メモ 左側のリストでカメラ/画像ファイルをダブルクリックしても、右側のリストに登録できません。  
※メモ カメラの場合、コンボボックスで間引き設定のオン/オフを変更することが可能です。  
右側のリストで項目を選択し、[[<< 削除]ボタンをクリックすると、右側のリストから削除できます。
- (5) プリセットポジション設定  
ビューを表示する際に、呼び出すポジションを設定します。  
プリセットポジションの設定は「3.5.2.2」のプリセットポジション設定画面を参照してください。  
※メモ ビューのプリセットポジションは1つのカメラにつき1つのみ登録できます。  
※メモ ビューのプリセットポジションには、プリセットポジション名は設定できません。
- (6) ユーザーグループの表示権限  
選択されているユーザーグループのみ、このビューを表示できます。

## (7) 音声送受信



ビューの登録/設定画面（音声）

ビューを表示したときに、音声を受信または送信するカメラを設定します。  
音声のリストからカメラリストにドラッグアンドドロップによって登録します。  
最大3台まで登録できます。  
※メモ 音声のリストでカメラをダブルクリックしても、カメラのリストに登録できます。

右側のリストで項目を選択し、[<< 削除]ボタンをクリックすると、右側のリストから削除できます。

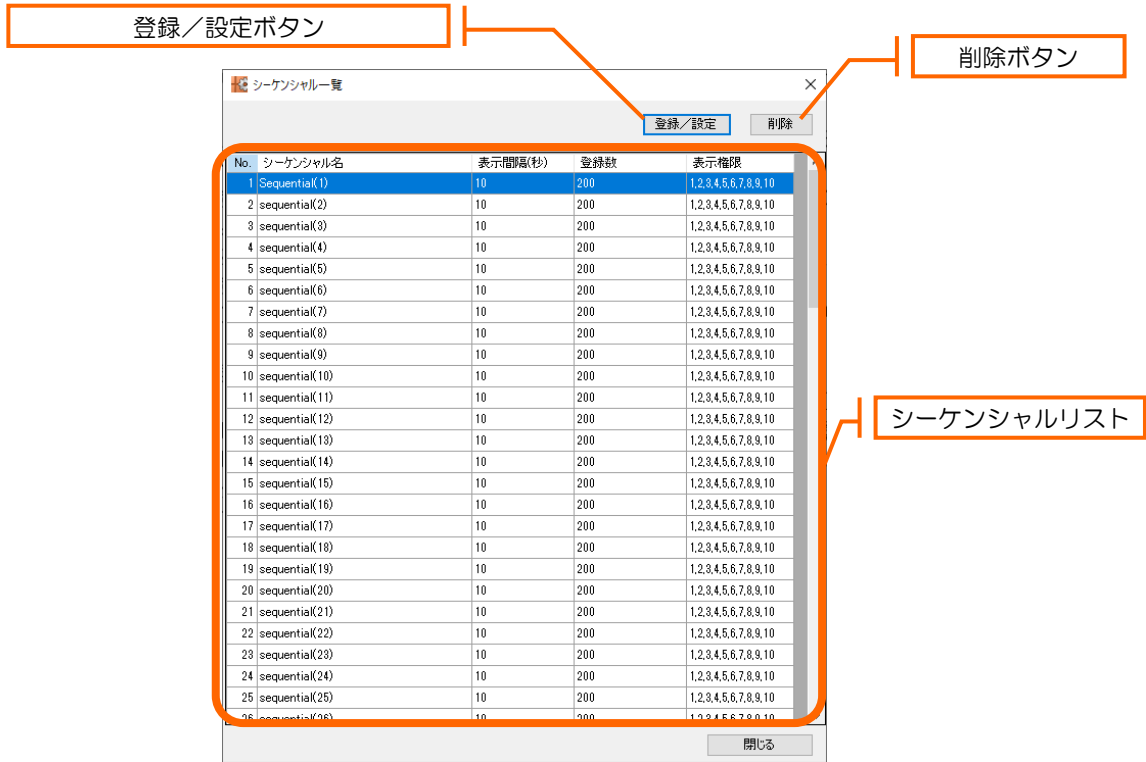
### 3.6.2.2. ビューの削除

- 登録したビューを削除する場合には、削除したいビューをビューリストから選択して [削除] ボタンをクリックしてください。

### 3.6.3. シーケンシャルの登録

シーケンシャルを登録します。

- [シーケンシャルの登録] ボタンをクリックすると、シーケンシャル一覧画面が表示されます。
- シーケンシャルは100まで登録できます。

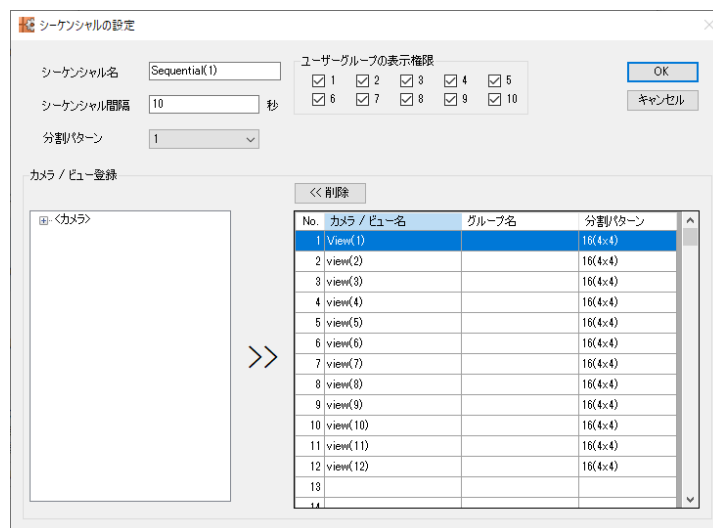


シーケンシャル一覧画面

#### 3.6.3.1. シーケンシャルの登録/設定

- 新しくシーケンシャルを登録するときは [登録/設定] ボタンをクリックします。
- 登録したシーケンシャルの設定を変更する場合には、変更したいシーケンシャルをシーケンシャルリストから選択して [登録/設定] ボタンをクリックします。
- シーケンシャルの登録/設定画面が表示されます。

※メモ シーケンシャルリスト上で変更したいシーケンシャルをダブルクリックしても設定画面が表示されます。



シーケンシャルの登録/設定画面



- (1) シーケンシャル名  
表示する名称を設定します。(最大35文字)
- (2) シーケンシャル間隔  
画面を切り替える間隔を設定します。(5~300秒 初期設定：10秒)
- (3) 分割パターン  
映像ウィンドウの分割パターンを選択すると、「ビュー登録」左側のリストに、指定した分割パターンのビューが表示されます。
- (4) カメラ/ビュー登録  
シーケンシャルに登録するカメラ/ビューを、左側のリストから右側のリストに、ドラッグアンドドロップによって登録します。  
シーケンシャルにカメラ/ビューは200まで登録できます。

※メモ 左側のリストでカメラ/ビューをダブルクリックしても、右側のリストに登録できます。

右側のリストで項目を選択し、[<< 削除]ボタンをクリックすると、右側のリストから削除できます。

- (5) ユーザーグループの表示権限  
選択されているユーザーグループのみ、このシーケンシャルを表示できます。

### 3.6.3.2. シーケンシャルの削除

- 登録したシーケンシャルを削除する場合には、削除したいシーケンシャルをシーケンシャルリストから選択して [削除] ボタンをクリックしてください。

### 3.6.4. マップの登録（TZ-TS2000のみ）

マップを登録します。

- [マップの登録] ボタンをクリックすると、マップ一覧画面が表示されます。
- マップは200まで登録できます。



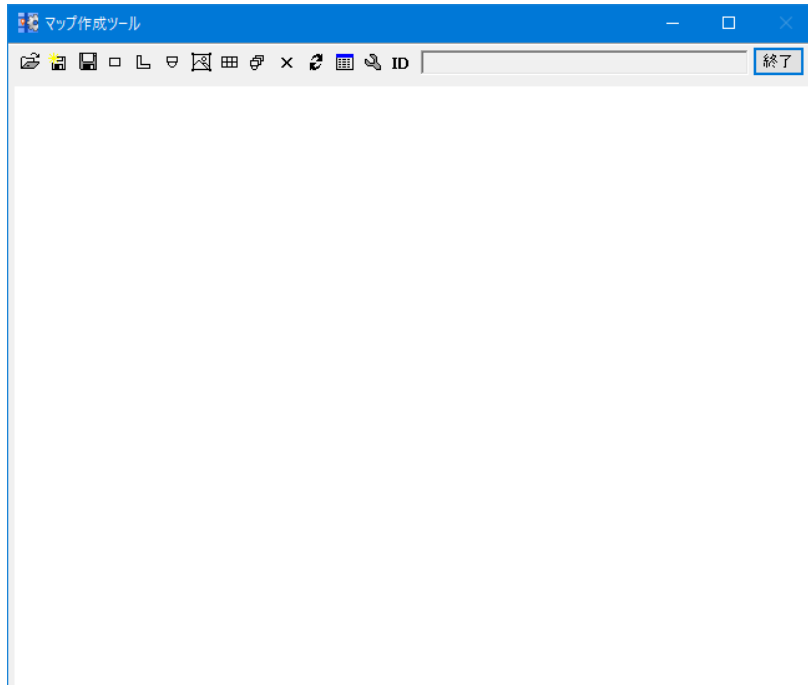
マップ一覧画面

- マップリストには、登録済みのマップが表示されます。

### 3.6.4.1. マップの新規作成／編集

- 新規のマップデータを作成する場合は、[新規作成] ボタンをクリックします。
- 登録したマップデータを編集する場合は、[編集] ボタンをクリックします。
- 「マップ作成ツール」が表示されます。

※メモ 「マップ作成ツール」は、設定ツールを使用せず単独でも起動できます。その場合は、[スタート] – [すべてのプログラム] – [TZ-TS2000] – [TZ-TS2X MapEditor] をクリックします。



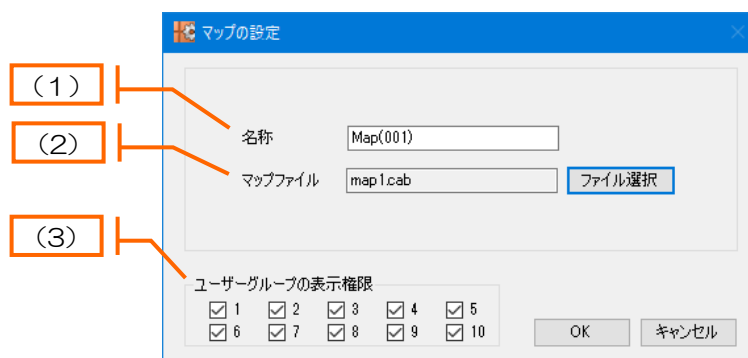
マップ作成ツール

※メモ 「マップ作成ツールについては、「3.10 マップ作成ツール」を参照ください。

### 3.6.4.2. マップの登録／設定

- 新しくマップを登録するときは [登録／設定] ボタンをクリックします。
- 登録したマップの設定を変更する場合には、変更したいマップをマップリストから選択して [登録／設定] ボタンをクリックします。
- マップの登録／設定画面が表示されます。

※メモ マップリスト上で変更したいマップをダブルクリックしてもマップの登録／設定画面が表示されます。



マップの設定画面

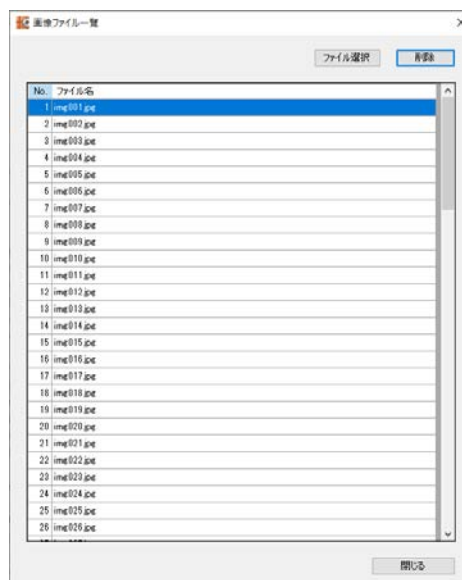
項目	説明
(1) 名称	表示するマップの名称を設定します。(最大 35 文字)
(2) マップファイル	表示するマップファイル (cabファイル) を設定します。マップファイルは「マップ作成ツール」で作成します。
(3) ユーザーグループの表示権限	選択されているユーザーグループでのみ、このマップを表示できます。

### 3.6.4.3. マップの削除

- 登録したマップを削除する場合には、削除したいマップをマップリストから選択して [削除] ボタンをクリックしてください。

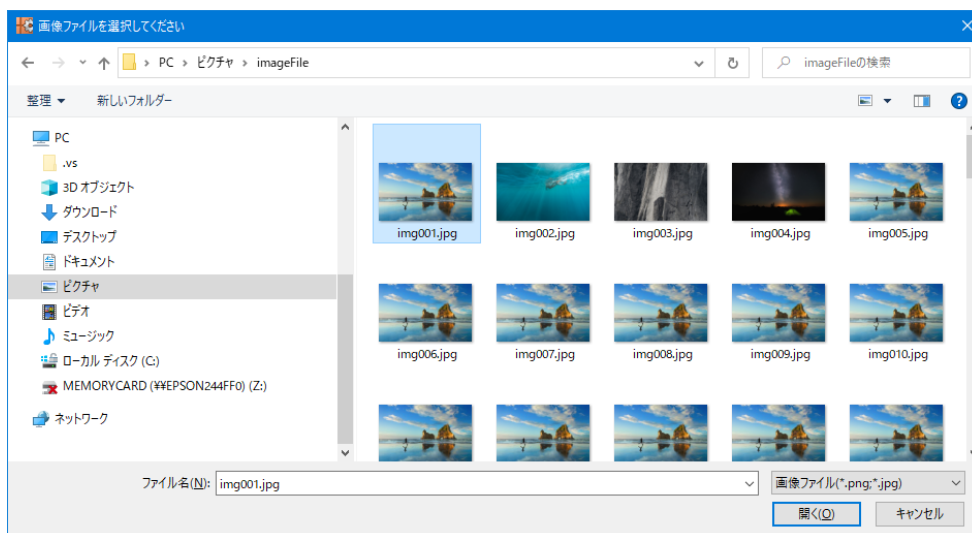
### 3.6.5. 画像ファイルの登録

- [画像ファイルの登録] ボタンをクリックすると、画像ファイル一覧画面が表示されます。
- 画像ファイルは 100 個まで登録できます。



画像ファイル一覧画面

- [ファイル選択] ボタンをクリックすると、画像ファイルを選択するダイアログが表示されます。



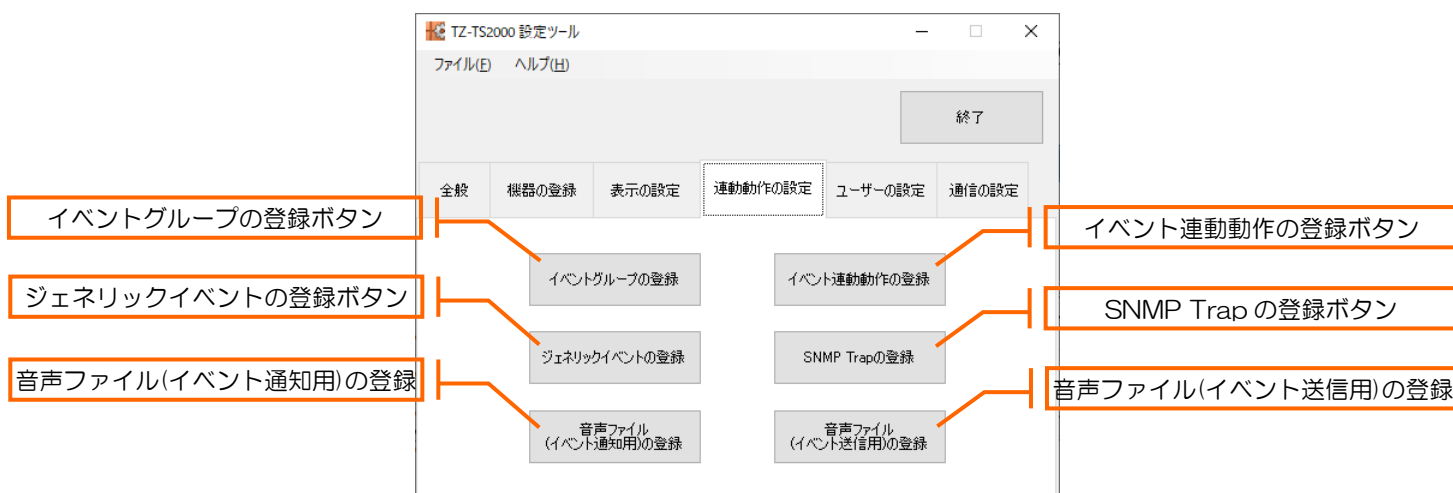
画像ファイルの選択ダイアログ画面

- 拡張子が”png”または”jpg”の画像ファイルを選択して、[開く] ボタンをクリックするとファイルが登録されます。
- 登録した画像ファイルを削除する場合には、削除したい画像ファイルをリストから選択して [削除] ボタンをクリックしてください。

### 3.7. 連動動作の設定 (TZ-TS2000 のみ)

本ソフトウェアのイベント検出時の動作を設定します。

- [連動動作の設定] タブを選択します。

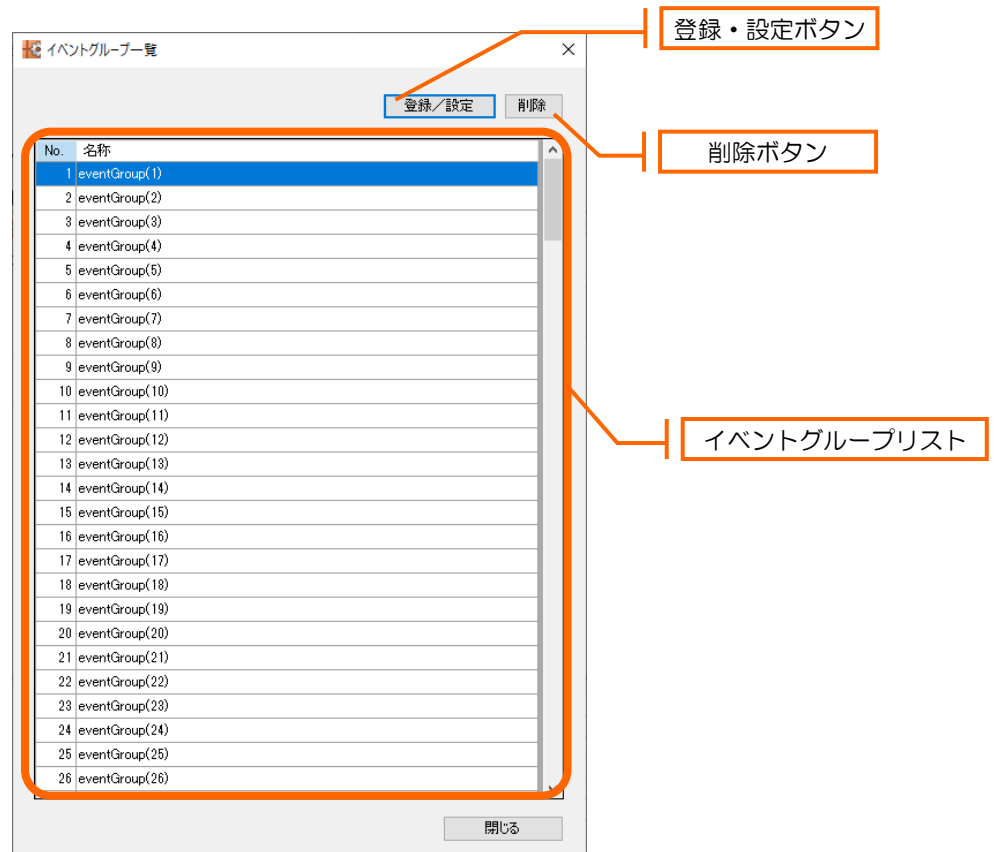


連動動作の設定タブ選択時

### 3.7.1. イベントグループの登録

イベントグループを登録します。

- [イベントグループの登録] ボタンをクリックすると、イベントグループ一覧画面が表示されます。
- イベント検索時に設定したイベントグループ名で関連イベントを検索することができます。
- イベントグループは200まで登録できます。

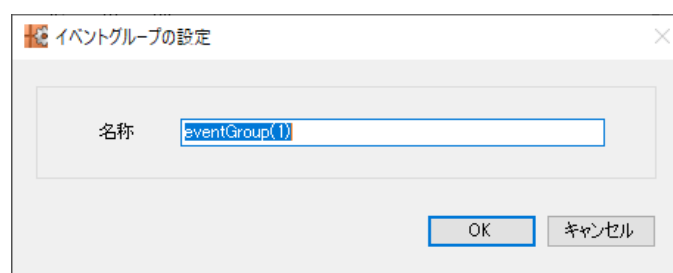


イベントグループの登録画面

#### 3.7.1.1. イベントグループの登録/設定

- 名称が表示されていない行を選択し、[登録/設定] ボタンをクリックするか、ダブルクリックすると、デフォルトの名称をセットして、登録画面を表示します。
- 名称が表示されている行を選択し、[登録/設定] ボタンをクリックするか、ダブルクリックすると、設定済みの名称をセットして、設定画面を表示します。
- 必要に応じて修正し、[OK] ボタンをクリックすると、設定したイベントグループ名(最大35文字)に変更します。

※メモ イベントグループリスト上で変更したいイベントグループをダブルクリックしてもイベントグループの登録/設定画面が表示されます。



イベントグループの設定画面

### (1) 名称

- 登録するイベントグループの名称を設定します。
- 新規登録時はeventGroup(\*)と表示されていますが、変更することができます。

### 3.7.1.2. イベントグループの削除

- イベントグループリストで選択したイベントグループを削除します。

### 3.7.2. イベント連動動作の登録

- イベント検出時の連動動作を登録します。
- [イベント連動動作の登録] ボタンをクリックすると、イベント一覧画面が表示されます。
- イベントは2000まで登録できます。

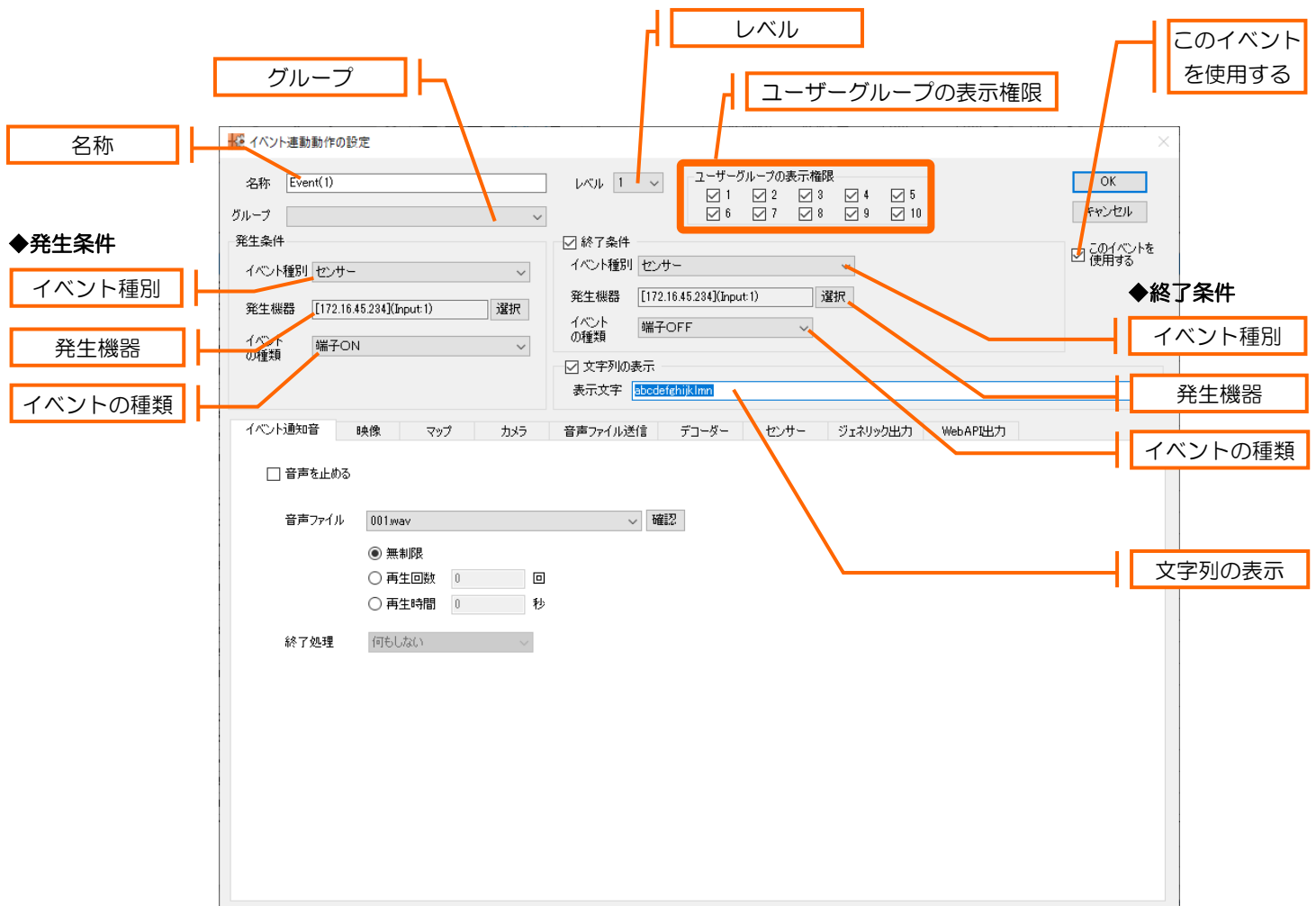


### 3.7.2.1. イベントの登録/設定

- 新しくイベントを登録するときは [登録/設定] ボタンをクリックします。
- 登録したイベントを変更する場合には、変更したいイベントをイベントリストから選択して [登録/設定] ボタンをクリックします。
- イベントの登録/設定画面が表示されます。

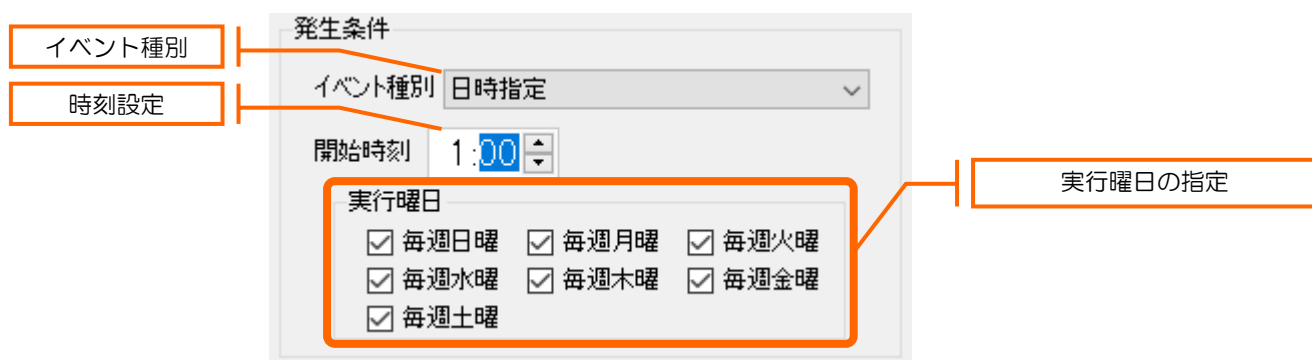
※メモ イベントリスト上で変更したいイベントをダブルクリックしてもイベントの登録/設定画面が表示されます。

※メモ イベント発生元の機器の設定画面において、ユーザーグループの表示権限のチェックを OFF にしても、イベント発生元として動作します。イベントの発生を無視したい場合はイベント連動動作の設定画面でユーザーグループの表示権限のチェックを OFF にしてください。



イベント連動動作の登録/設定画面

発生・終了条件において、イベント種別に「日時指定」を指定すると、イベントの種類の下に、時刻、実行曜日の選択項目が表示されます。



日時指定の連動動作の発生条件表示

- (1) 名称  
表示する名称を設定します。(最大35文字)
- (2) グループ名  
登録したイベントグループを選択します。  
イベント検索時にこのイベントグループを検索条件として指定すると、このイベントグループを



設定したイベントを検索することができます。

- (3) レベル  
イベントの優先度3段階(1~3)から選択します。  
レベル1が一番高い優先度です。  
高レベルのイベント連動中の機器(カメラ、レコーダー、デコーダー、センサー)は、よりレベルの低いイベントの連動動作は行われません。  
ビューワーにおいて高レベルのイベント連動中は、より低いレベルのイベント連動動作は行われません。  
レベル毎のイベント連動処理継続時間、表示メッセージの「背景色」「文字色」「文字サイズ」は 3.4.1 システム設定を参照してください。

#### —発生条件—

- (4) イベント種別  
イベントを発生する機器(カメラ、レコーダー、デコーダー、センサー)、ジェネリック、SNMP  
トラップ、日時指定を選択します。
- (5) 発生機器  
[選択]ボタンをクリックし、イベントを発生する機器をリストから選択します。
- (6) イベントの種類  
発生するイベントを選択します。  
※ AIPHONE IX-BA/IX-DA(子機)を選択する場合は、「イベント種別」に「センサー」を選択してください。  
※ カメラの端子を選択する場合は、「イベント種別」に「センサー」を選択してください。  
※ JVCカメラからイベントを発生させるには 3.11 カメラのイベント設定 を参照してください。
- (7) 開始時刻  
日時指定の場合に表示されます。イベントを開始する時刻を指定します。
- (8) 実行曜日  
日時指定の場合に表示されます。イベントを実行する曜日を指定します。

#### —終了条件—

- (9) 終了条件を使用する(ON/OFF)  
※メモ ONの場合、指定された終了イベントによってイベント連動動作を終了します。  
OFFの場合、システム設定で指定された連動時間後にイベント連動動作を終了します。
- (10) イベント種別  
終了イベントを発生する機器(カメラ、レコーダー、デコーダー、センサー)、ジェネリック、SNMP  
トラップ、日時指定を選択します。
- (11) 発生機器  
[選択]ボタンをクリックし、終了イベントを発生する機器をリストから選択します。
- (12) イベントの種類  
終了イベントを選択します。  
※メモ AIPHONE IX-BA/IX-DA(子機)を選択する場合は、「イベント種別」に「センサー」を選択してください。  
※メモ カメラの端子を選択する場合は、「イベント種別」に「センサー」を選択してください。  
※メモ JVCカメラからイベントを発生させるには 3.11 カメラのイベント設定 を参照してください。
- (13) 終了時刻  
日時指定の場合に表示されます。イベントを終了する時刻を指定します。
- (14) 実行曜日  
日時指定の場合に表示されます。イベントの終了を実行する曜日を指定します。
- (15) ユーザーグループの表示権限  
選択されているユーザーグループのみ、このイベント連動動作を実施できます。

(16) このイベントを使用する

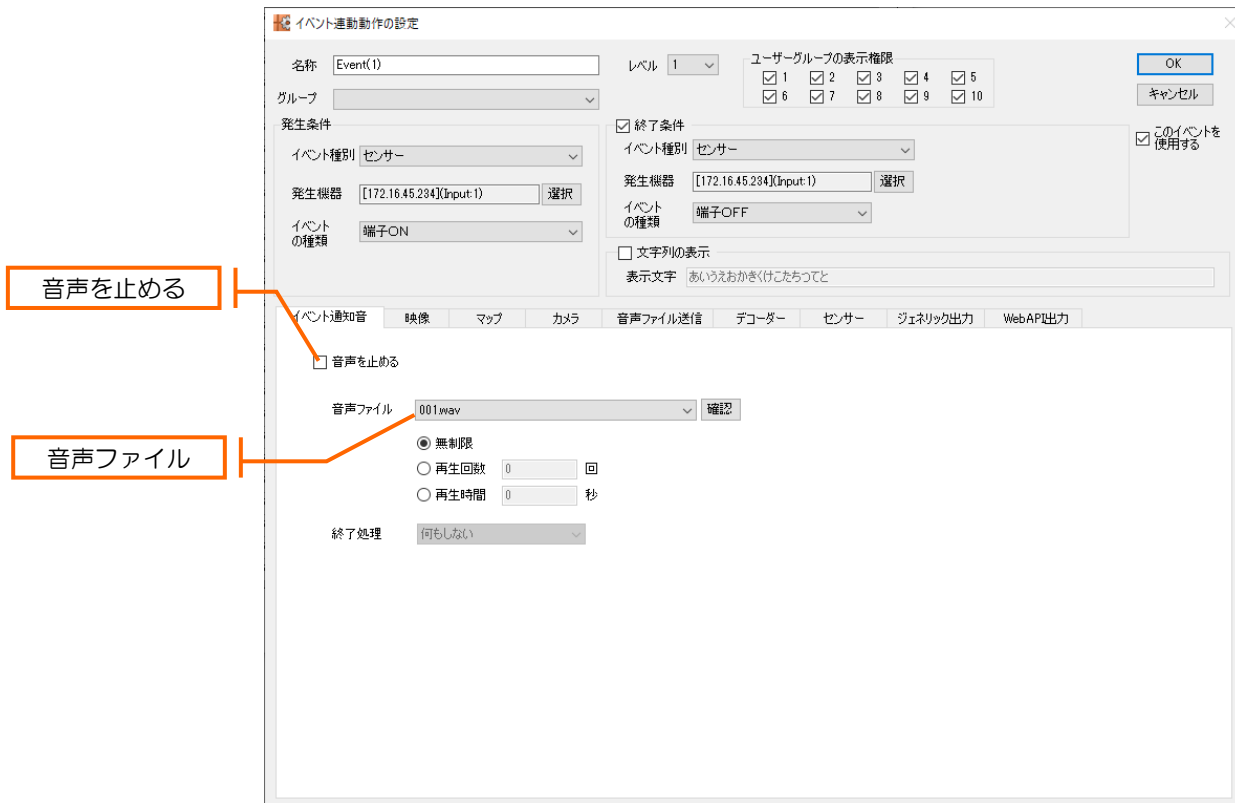
このイベントの連動動作を実施させる場合は選択してください。

選択を外すと、このイベント連動動作を実施しなくなります。

(17) 文字列の表示

イベント発生時に、文字列の表示チェックボックスをチェックすると、文字列に設定したメッセージをビューワーのイベントインジケータ表示することができます。(最大35文字)

### 3.7.2.2. イベント連動動作（イベント通知音）の設定



イベント通知音の設定画面

• イベント通知音のタブを選択します。

(1) 音声を止める

イベント検出時に、他のイベントによって再生している音声を停止します。

(2) 音声ファイル

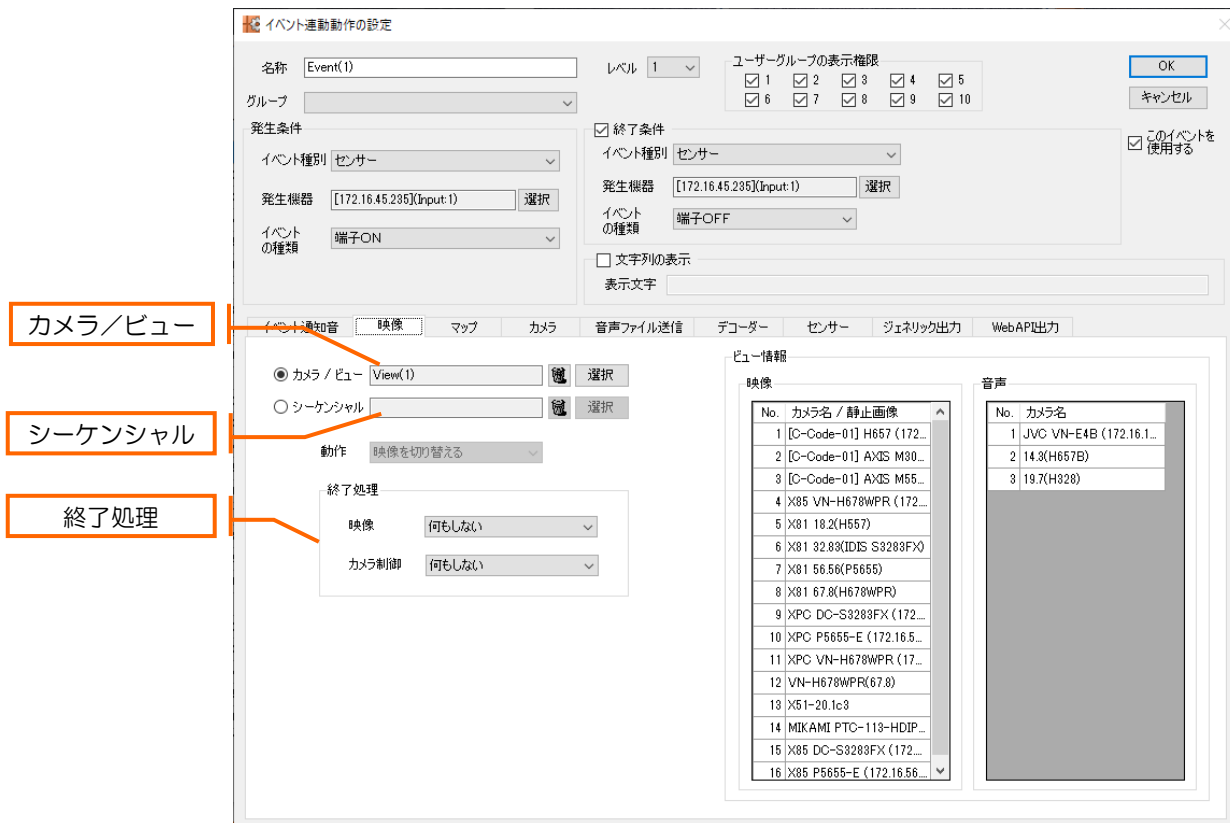
イベント検出時に再生する音声ファイル（wavファイル）を選択します。

※メモ Broadcast Wave Format(BWF)ファイルは再生できません。

- 「無制限」選択するとユーザーがビューワーアプリケーションの[ブザー停止]ボタンをクリックするまで再生します。(初期設定値)
- 「再生回数」を選択すると、指定した回数だけ再生します。(1～10回 選択時の初期設定：1回)
- 「再生時間」を選択すると、指定した時間内で繰り返し再生します。(1～3600秒 選択時の初期設定：60秒)

### 3.7.2.3. イベント連動動作（映像）の設定

- 3.4.2 詳細設定「イベント連動映像を別ウィンドウで表示する」がOFFの場合、設定可能となります。

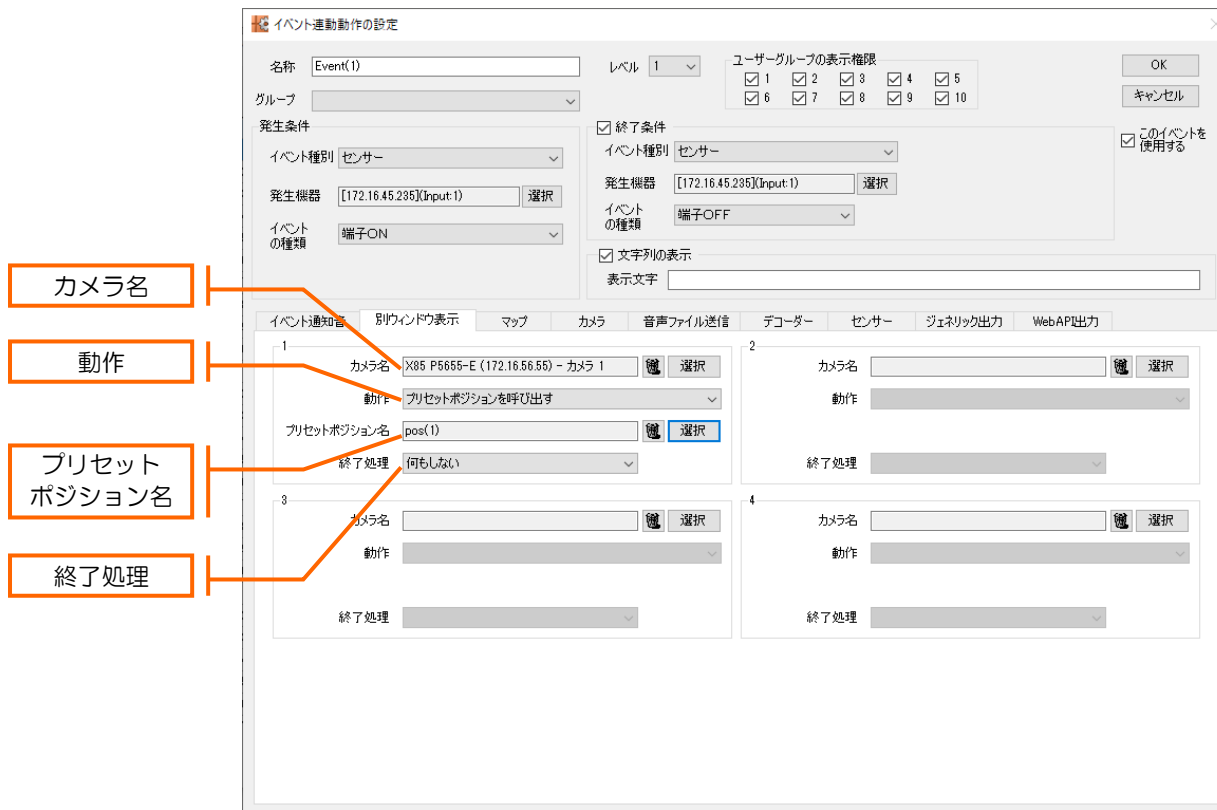


映像の設定画面

- 映像のタブを選択します。
- (1) カメラ/ビュー  
カメラ/ビューのラジオボタンをチェックし、[選択]ボタンをクリックして、イベント検出時に表示を切り替えるカメラ/ビューを選択します。  
ビューの場合、参考情報としてビュー情報に表示するカメラ、再生する音声カメラを一覧表示します。
- (2) シーケンシャル  
シーケンシャルのラジオボタンをチェックし、[選択]ボタンをクリックして、イベント検出時に表示を切り替えるシーケンシャルを選択します。
- (3) 終了処理（ビュー）  
イベント連動時間経過後のビューの動作（何もしない/元の表示状態に戻す/初期状態に戻す）を設定します。
- (4) 終了処理（カメラ制御）  
イベント連動時間経過後の、ビューに設定されているカメラの動作（何もしない/ホームポジションへ移動/オートパンにする/オートトレースにする/オートパトロール(0~2)にする）を設定します。

### 3.7.2.4. イベント連動動作（別ウィンドウ表示）の設定

- 3.4.2 詳細設定「イベント連動映像を別ウィンドウで表示する」がONの場合、設定可能となります。



別ウィンドウ表示の設定画面

- 別ウィンドウ表示のタブを選択します。
- 4台のカメラまで設定することができます。

#### (1) カメラ名

[選択]ボタンをクリックして、イベント検出時に別ウィンドウに追加で表示して制御するカメラを登録済みのカメラの中から選択します。

#### (2) 動作

設定できません。

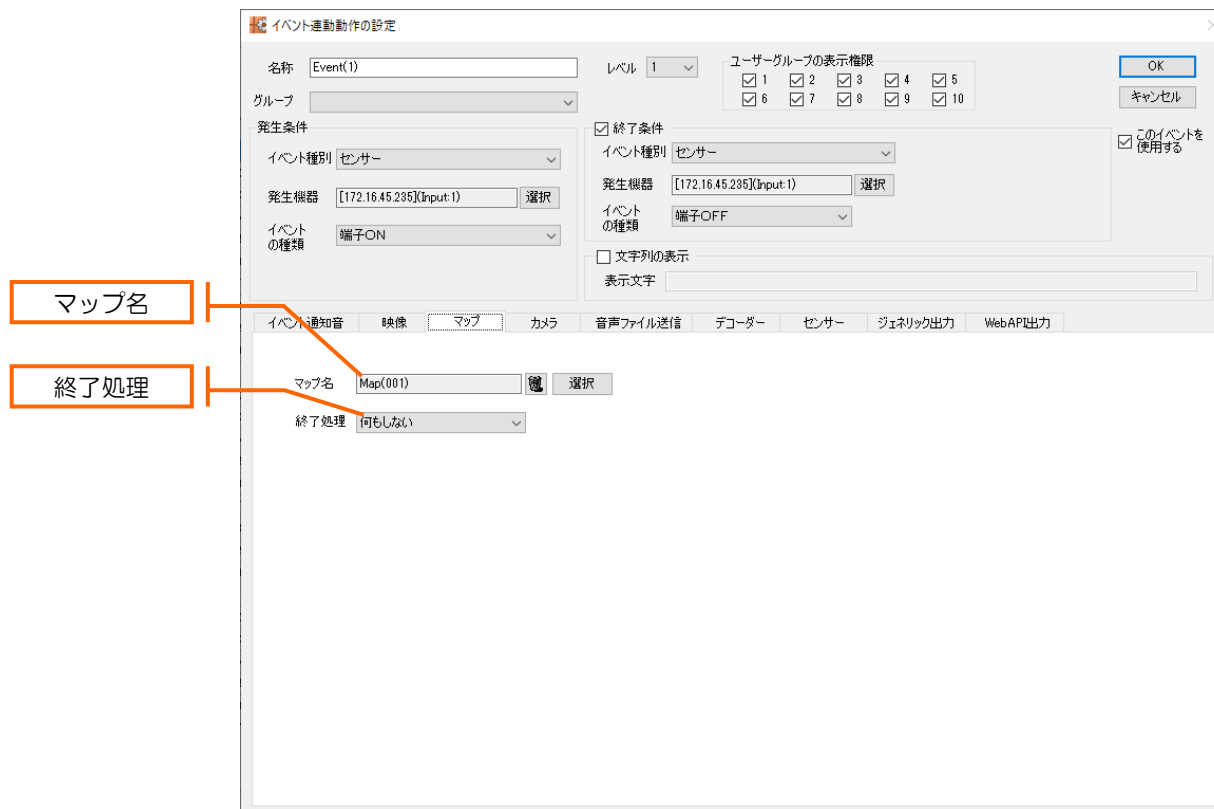
#### (3) プリセットポジション名

イベント検出時に呼び出すプリセットポジションを、選択したカメラに登録済みのプリセットポジションの中から選択します。

#### (4) 終了処理

イベント連動時間経過後の、選択したカメラの動作（何もしない／ホームポジションへ移動／オートパンにする／オートトレースにする／オートパトロール(0～2)にする）を設定します。

### 3.7.2.5. イベント連動動作（マップ）の設定



マップの設定画面

• マップのタブを選択します。

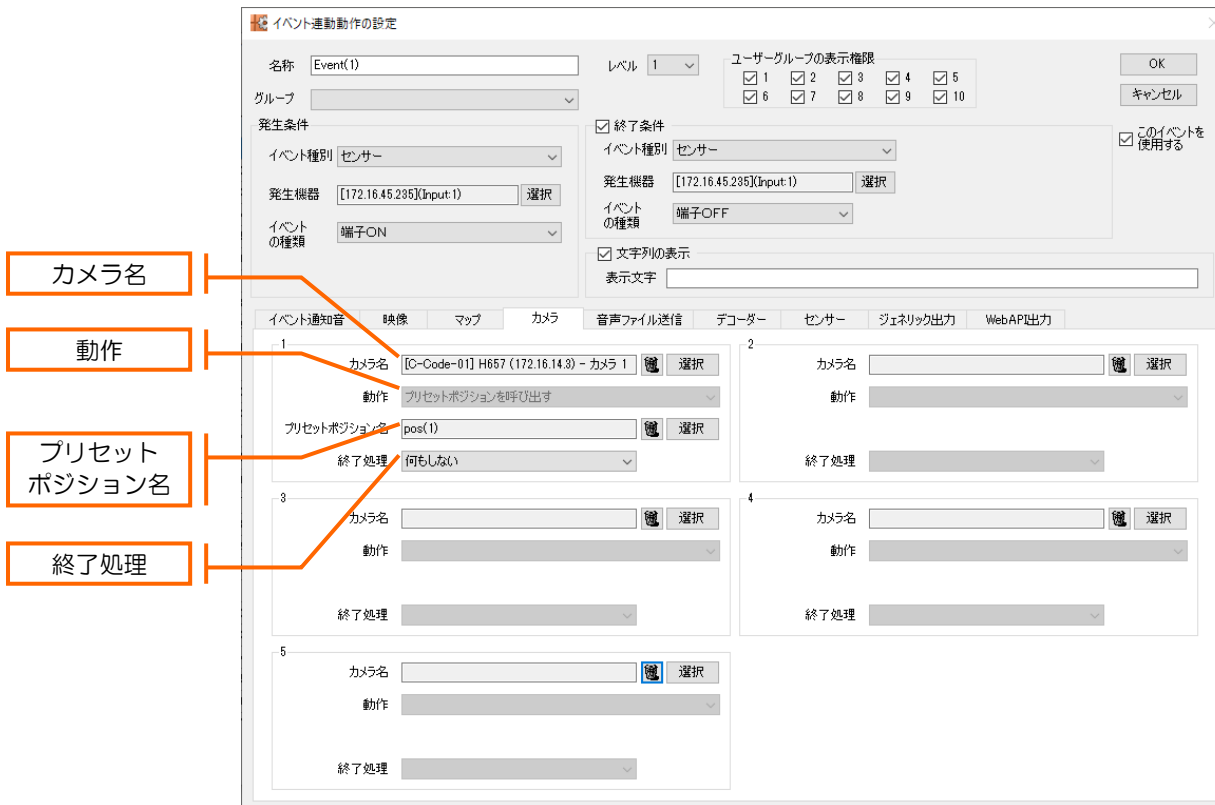
(1) マップ名

[選択] ボタンをクリックして、イベント検出時に表示を切り替えるマップを登録済みのマップの中から選択します。

(2) 終了処理

イベント連動時間経過後のマップの動作（何もしない／元のマップに戻る）を設定します。

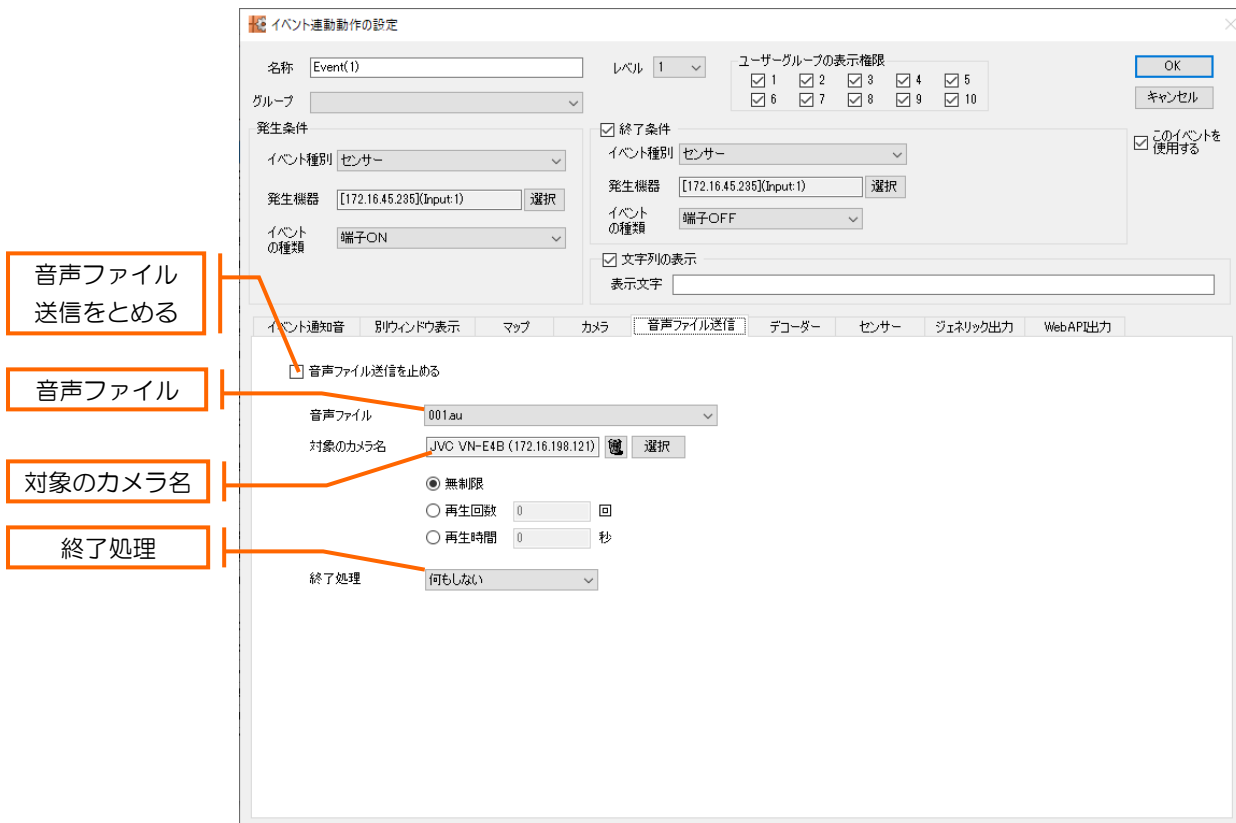
### 3.7.2.6. イベント連動動作（カメラ）の設定



カメラの設定画面

- カメラのタブを選択します。
  - 5台のカメラまで設定することができます。
- (5) カメラ名  
[選択]ボタンをクリックして、イベント検出時に制御するカメラを登録済みのPTZカメラの中から選択します。
  - (6) 動作  
設定できません。
  - (7) プリセットポジション名  
イベント検出時に呼び出すプリセットポジションを、選択したカメラに登録済みのプリセットポジションの中から選択します。
  - (8) 終了処理  
イベント連動時間経過後の、選択したカメラの動作（何もしない／ホームポジションへ移動／オートパンにする／オートトレースにする／オートパトロール(0~2)にする)を設定します。

### 3.7.2.7. イベント連動動作（音声ファイル送信）の設定



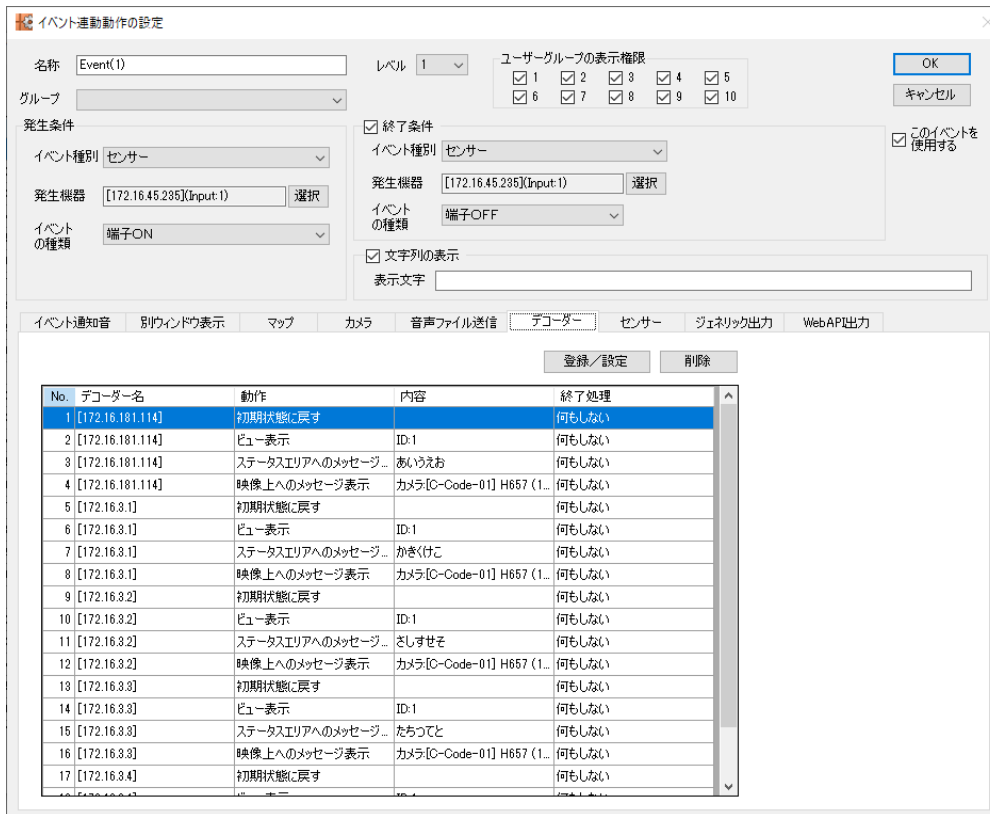
音声ファイル送信の設定画面

• 音声ファイル送信のタブを選択します。

- (1) 音声ファイル送信を止める  
イベントを検出すると、音声ファイル送信を停止します。
- (2) 音声ファイル  
イベント検出時に「対象カメラ」に送信する音声ファイルを選択します。  
対応しているフォーマットはG.711ulawです。
- (3) 対象のカメラ名  
音声ファイルを送信するカメラを登録済みの音声送信対応カメラの中から選択します。
  - 「無制限」選択するとユーザーがビューワーアプリケーションの[イベントクリア]ボタンをクリックするまで送信をします。(初期設定値)
  - 「再生回数」を選択すると、指定した回数だけ送信します。(1～10回 選択時の初期設定：1回)
  - 「再生時間」を選択すると、指定した時間内で繰り返し送信します。  
(1～3600秒 選択時の初期設定：60秒)
- (4) 終了処理  
設定できません

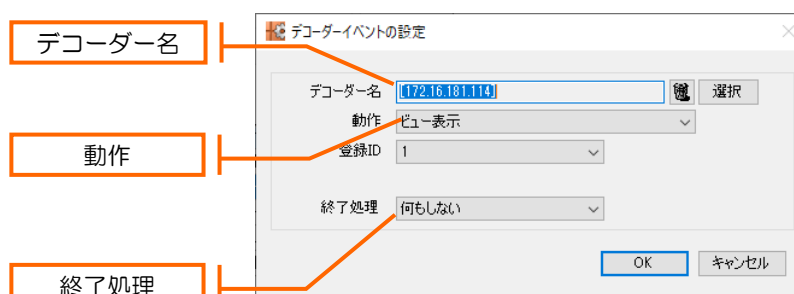


### 3.7.2.8. イベント連動動作（デコーダー）の設定



デコーダーの設定画面

- デコーダーのタブを選択します。デコーダーイベントリストが表示されます。
- デコーダーと動作内容を組み合わせることで20パターン設定することができます。
- [登録/設定]ボタンをクリックするとデコーダーイベントの設定画面を表示します。
- デコーダーイベントを選択して[削除]ボタンをクリックすると、選択したデコーダーイベントを削除できます。



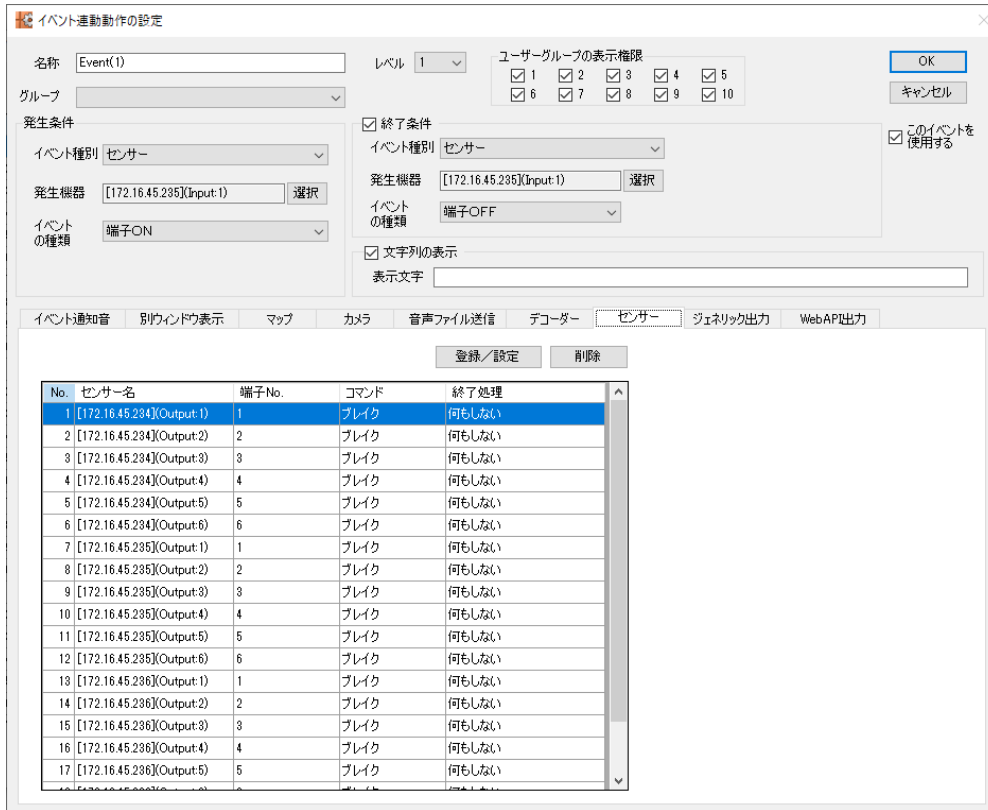
デコーダーイベントの設定画面

- (1) デコーダー名  
[選択]ボタンをクリックして、イベント検出時に制御するデコーダーを登録済みのデコーダーの中から選択します。
- (2) 動作
  - ビュー表示
    - ✧ 「登録ID」を選択し、選択したデコーダーに表示するビュー番号を設定します。
  - デフォルトビュー表示
    - ✧ 「分割パターン」「登録ID」を選択し、選択したデコーダーに表示するデフォルトビューを設

定します。

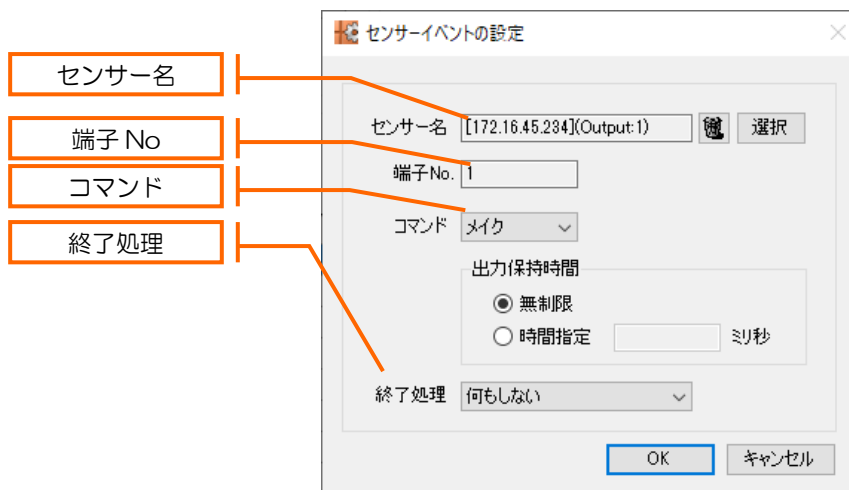
- シーケンシャル表示
    - ✧ 「登録ID」を選択し、選択したデコーダーに表示するシーケンシャル番号を設定します。
  - デフォルトシーケンシャル表示
    - ✧ 「分割パターン」を選択し、選択したデコーダーに表示するデフォルトシーケンシャルを設定します。
  - ステータスエリアへのメッセージ表示
    - ✧ 選択したデコーダーのステータスエリアに表示するメッセージを「表示文字」(最大35文字)に設定します。
  - 映像上へのメッセージ表示
    - ✧ 選択したデコーダーのカメラ映像上に表示するメッセージを「表示文字」(最大35文字)に設定します。
    - ✧ 表示するカメラを「カメラ名」で設定します。
  - 初期状態に戻す
- (3) 終了処理
- イベント連動時間経過後の、選択したデコーダーの動作(何もしない/初期状態にする)を設定します。

### 3.7.2.9. イベント連動動作（センサー）の設定



センサーの設定画面

- センサーのタブを選択します。
- センサーイベントリストが表示されます。
- センサーイベントは20個まで設定することができます。
- 登録済みのセンサーイベントがセンサーイベントリストに表示されます。
- [登録/設定]ボタンをクリックするとセンサーイベントの設定画面を表示します。
- センサーイベントを選択して[削除]ボタンをクリックすると、選択したセンサーイベントを削除できます。



センサーイベントの設定画面

#### (1) センサー名

[選択]ボタンをクリックして、イベント検出時に制御するセンサーを登録済みのセンサーの中から選択します。

- (2) 端子No  
参考情報として、センサーを選択すると端子Noを表示します。
- (3) コマンド  
イベント検出時に制御する端子状態（メイク／ブレイク）を設定します。
  - 「無制限」を選択すると、設定した端子状態を継続します。(初期設定値)
  - 「時間指定」を選択すると、指定した時間端子状態を継続します。(100～5000ミリ秒)
- (4) 終了処理  
イベント連動時間経過後の、選択したセンサーの動作（何もしない／ブレイクにする／メイクにする）を設定します。

### 3.7.2.10. イベント連動動作（ジェネリック出力）の設定

※メモ 事前にジェネリック出力(文字列送信)の登録が必要です。3.8.1節 ジェネリック出力の登録を参照してください。

ジェネリック出力の設定画面

- ジェネリック出力のタブを選択します。
- 5つまで設定することができます。

- (1) 開始  
イベント開始時に送信されるジェネリック出力を選択します。
- (2) 終了  
イベント終了時に送信されるジェネリック出力を選択します。

### 3.7.2.11. イベント連動動作（WebAPI出力）の設定

※メモ 事前にWebAPI出力(HTTPコマンド送信)の登録が必要です。3.8.2節 WebAPI出力の登録を参照してください。

イベント連動動作の設定

名称: Event(1) レベル: 1 ユーザーグループの表示権限:  1  2  3  4  5  6  7  8  9  10

グループ: [ ]

発生条件: イベント種別: センサー 発生機器: [172.16.45.235](Input:1) 選択

イベントの種類: 端子ON

終了条件: イベント種別: センサー 発生機器: [172.16.45.235](Input:1) 選択 イベントの種類: 端子OFF

文字列の表示: 表示文字: [ ]

このイベントを使用する

イベント通知音 映像 マップ カメラ 音声ファイル送信 デコーダー センサー ジェネリック出力 **WebAPI出力**

1 開始: SendWebAp(1) 終了: SendWebAp(2)

2 開始: [ ] 終了: [ ]

3 開始: [ ] 終了: [ ]

4 開始: [ ] 終了: [ ]

5 開始: [ ] 終了: [ ]

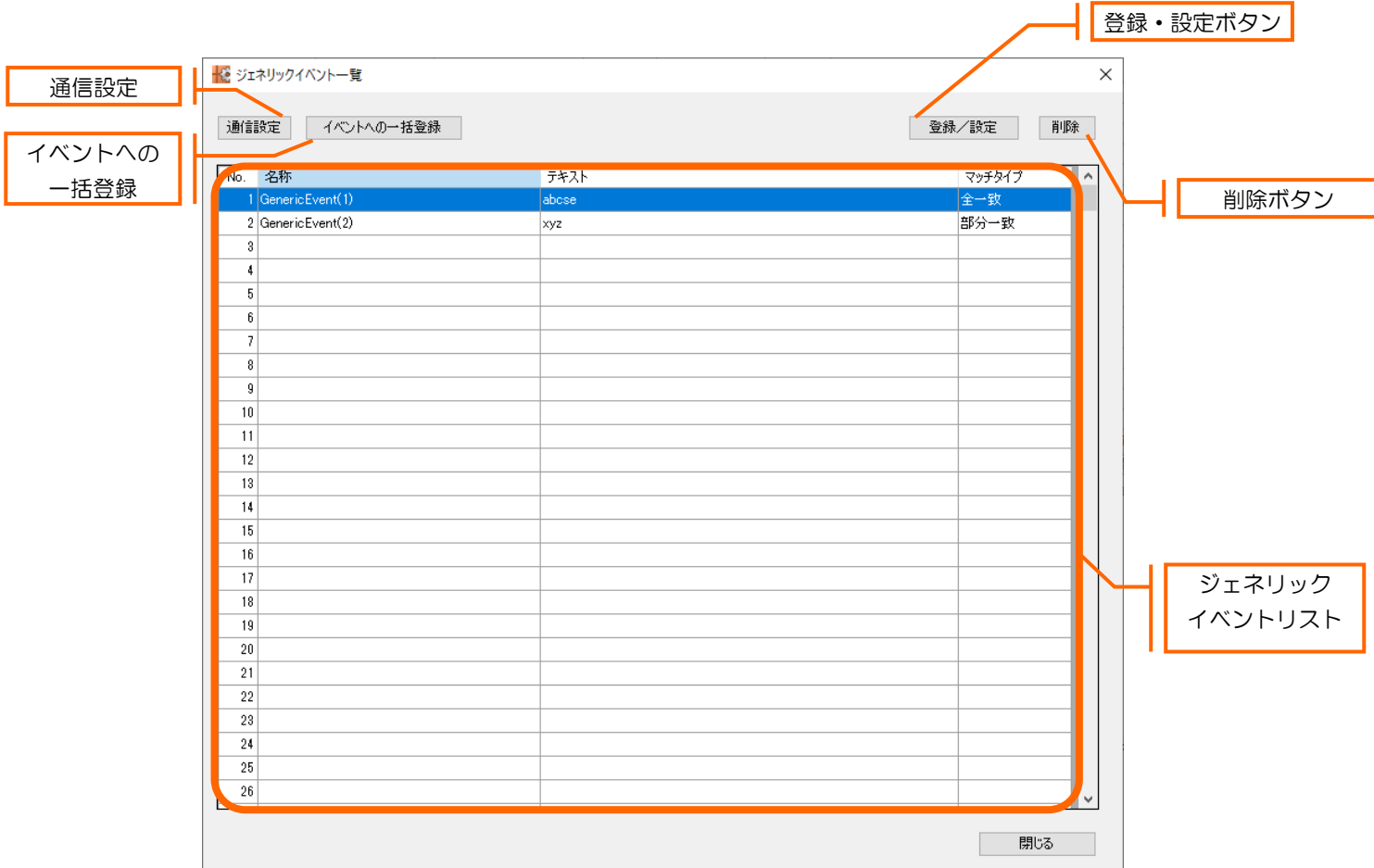
WebAPI出力の設定画面

- WebAPI出力のタブを選択します。
- 5つまで設定することができます。

- (1) 開始  
イベント開始時に送信されるWebAPI出力を選択します。
- (2) 終了  
イベント終了時に送信されるWebAPI出力を選択します。

### 3.7.3. ジェネリックイベントの登録

- ジェネリックイベントを登録します。
- [ジェネリックイベントの登録] ボタンをクリックすると、ジェネリックイベント一覧画面が表示されます。
- ジェネリックイベントは600個まで登録できます。
- イベント登録時に設定したジェネリックイベントを指定することができます。

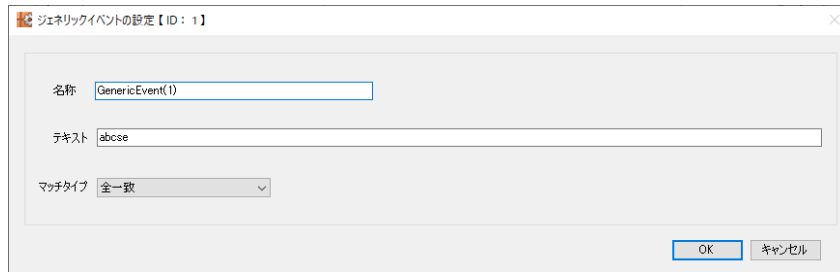


ジェネリックイベントの登録画面

#### 3.7.3.1. 登録/設定ボタン

ジェネリックイベントを登録/設定します。

- 名称が表示されていない行を選択し、[登録/設定] ボタンをクリックするか、その行をダブルクリックすると、デフォルトの名称をセットして、登録画面を表示します。
- 名称が表示されている行を選択し、[登録/設定] ボタンをクリックするか、その行をダブルクリックすると、設定済みの名称をセットして、設定画面を表示します。
- 必要に応じて修正し、[OK] ボタンをクリックすると、設定したジェネリックイベント名、テキスト、マッチタイプに変更します。



ジェネリックイベントの設定

(1) 名称

ジェネリックイベント名を設定します。(最大35文字)

(2) テキスト

ジェネリックイベントとして受信する文字列を設定します。(半角英数字記号で最大129文字)

(3) マッチタイプ

ジェネリックイベントのマッチタイプ(全一致/部分一致)を指定します。

### 3.7.3.2. 削除ボタン

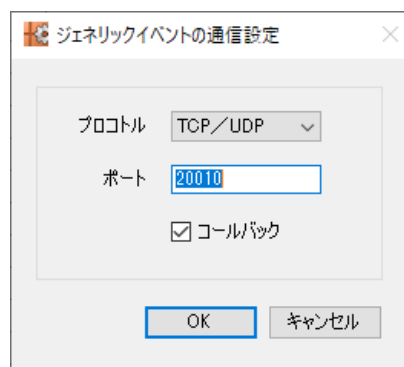
ジェネリックイベントを削除します。

- 名称が表示されている行を選択し、[削除] ボタンをクリックすると、選択したジェネリックイベントを削除します。

### 3.7.3.3. ジェネリックイベントの通信設定

ジェネリックイベントの通信設定を登録します。

- [通信設定] ボタンをクリックすると、設定画面を表示します。
- プロトコル、ポート番号、コールバックの有効/無効設定を必要に応じて修正し、[OK] ボタンをクリックすると、設定した内容に変更します。



ジェネリックイベントの通信設定

(1) プロトコル

ジェネリックイベントを受信するプロトコル(TCP/UDP、TCP、UDP)を設定します。

(2) ポート

ジェネリックイベントを受信するポートを設定します。(初期設定: 20010)

(3) コールバック (ON/OFF 初期設定: ON)

ONの場合、ジェネリックイベントの受信時にコールバックします。(TCPのみ)

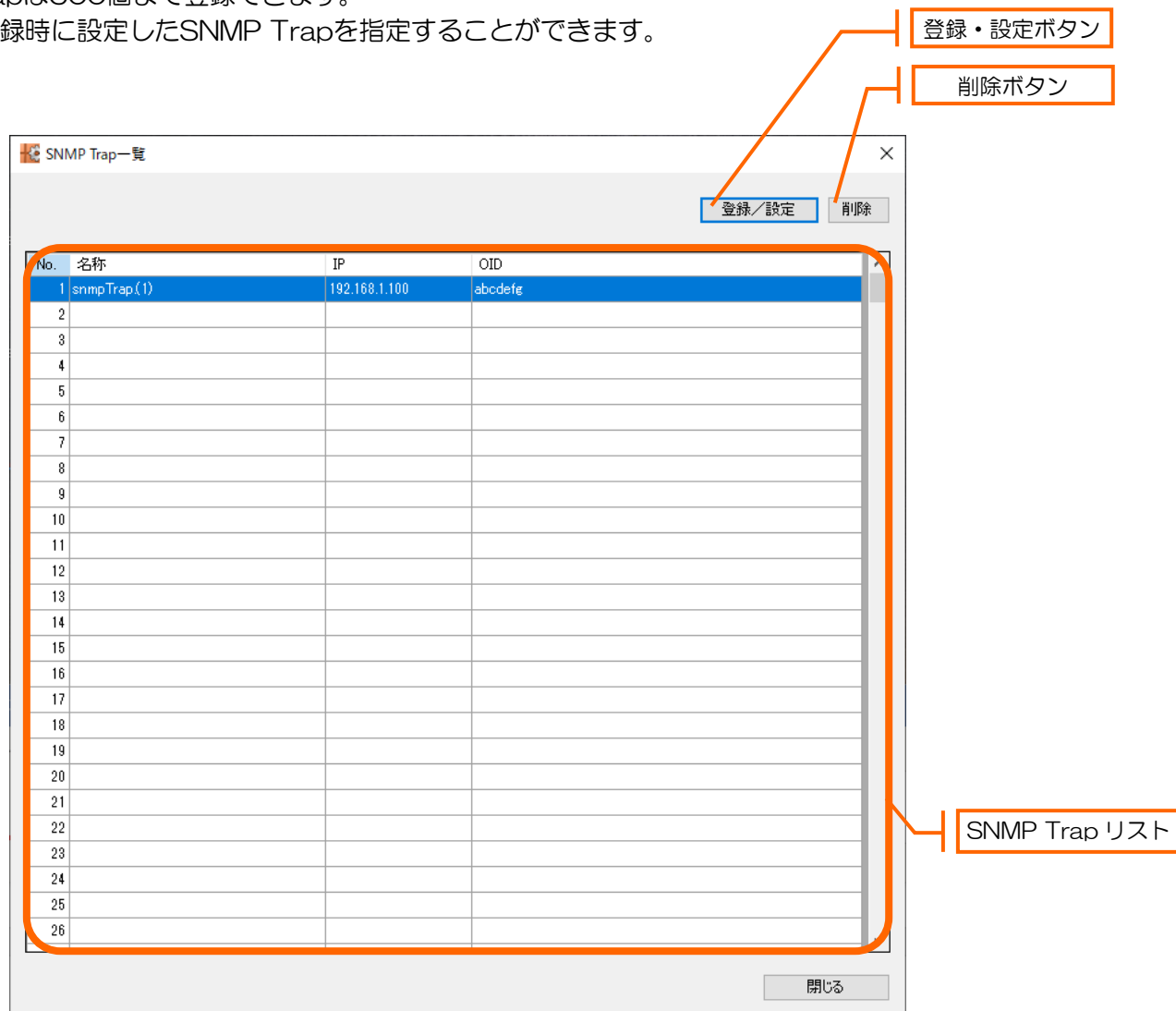
### 3.7.3.4. イベント連動動作への一括登録

ジェネリックイベントをイベント連動動作に登録します。

[イベントへの一括登録] ボタンをクリックすると、未登録のジェネリックイベントをイベント連動動作に一括登録します。

### 3.7.4. SNMP Trapの登録

- SNMP Trapを登録します。
- [SNMP Trapの登録] ボタンをクリックすると、SNMP Trap一覧画面が表示されます。
- SNMP Trapは600個まで登録できます。
- イベント登録時に設定したSNMP Trapを指定することができます。



SNMP Trapの登録画面

#### 3.7.4.1. 登録/設定ボタン

SNMP Trapを登録/設定します。

- 名称が表示されていない行を選択し、[登録/設定] ボタンをクリックするか、その行をダブルクリックすると、登録画面を表示します。
  - 名称が表示されている行を選択し、[登録/設定] ボタンをクリックするか、その行をダブルクリックすると、設定済みの情報をセットして、設定画面を表示します。
- 必要に応じて修正し、[OK] ボタンをクリックすると、設定したSNMP Trap名、IPアドレス、OID、Generic、specific、Variable-Bindings（最大5）に変更します。



SNMP Trapの設定

(1) 名称

SNMP Trap名を設定します。(最大35文字)

(2) IPアドレス

発信元のIPアドレスを設定します。

(3) OID

OID(Object Identifier)を設定します。(半角英数字記号で最大256文字)

(※メモ 先頭にドット"."を付けてください)

例：.1.3.6.1.2.1.6)

(4) generic

generic-trap(0~6)を設定することができます。

(5) specific

specific-trapを設定します。(半角数字で最大10文字) (genericが[6]の場合のみ)

(6) variable-bindings

下記の追加情報を設定します。

5つ設定することができます。

- OID(Object Identifier) (半角英数字記号で最大256文字)
- Type(Integer32/OCTET STRING)
- 値

Typeが[Integer32]の場合は半角数字で最大10文字

Typeが[OCTET STRING]の場合は半角英数字記号で最大32文字

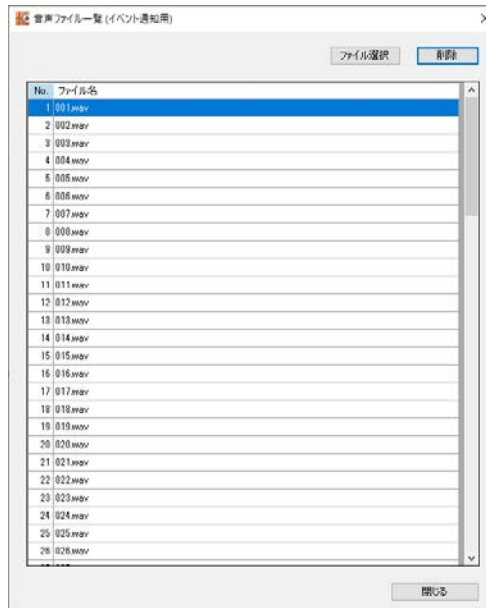
### 3.7.4.2. 削除ボタン

SNMP Trapを削除します。

- 名称が表示されている行を選択し、[削除] ボタンをクリックすると、選択したSNMP Trapを削除します。

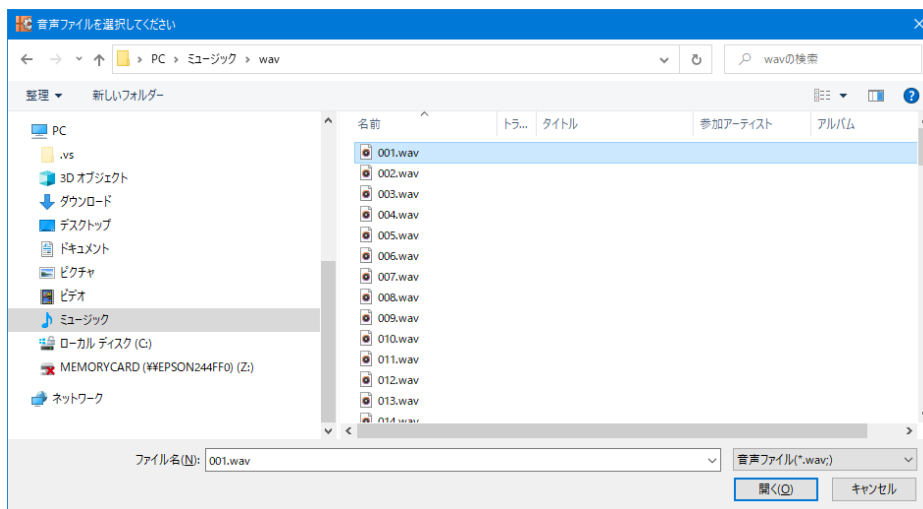
### 3.7.5. 音声ファイル(イベント通知)の登録

- [音声ファイル(イベント通知)の登録] ボタンをクリックすると、音声ファイル(イベント通知)一覧画面が表示されます。
- 音声ファイル(イベント通知)は 100 個まで登録できます。



音声ファイル(イベント通知)一覧画面

- [ファイル選択] ボタンをクリックすると、音声ファイルを選択するダイアログが表示されます。

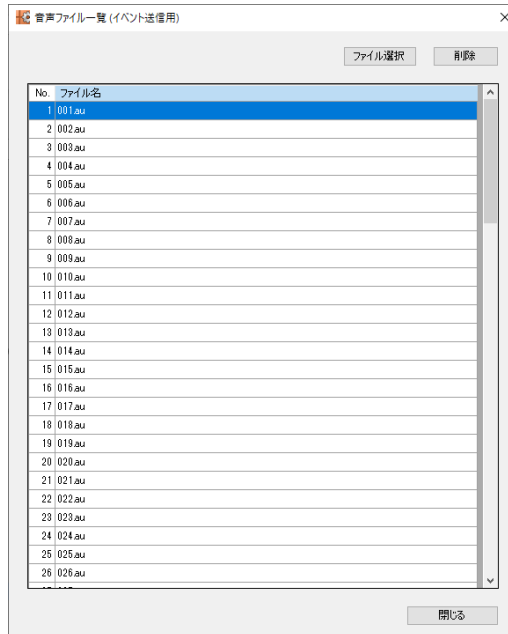


音声ファイルの選択ダイアログ画面

- 拡張子が”wav”の音声ファイルを選択して、[開く]ボタンをクリックするとファイルが登録されます。
- 登録した音声ファイルを削除する場合には、削除したい音声ファイルをリストから選択して [削除] ボタンをクリックしてください。

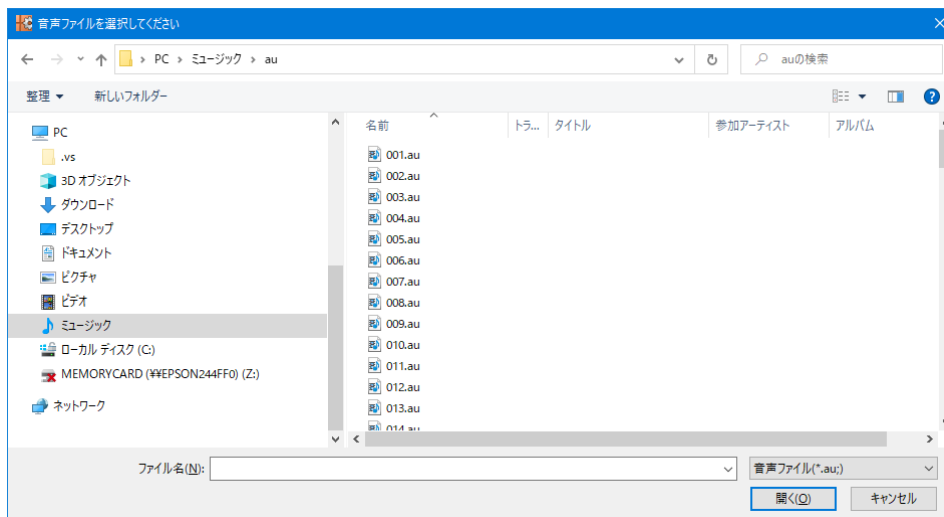
### 3.7.6. 音声ファイル(イベント送信用)の登録

- [音声ファイル(イベント送信用)の登録] ボタンをクリックすると、音声ファイル(イベント送信用)一覧画面が表示されます。
- 音声ファイルは 100 個まで登録できます。



音声ファイル(イベント送信用)一覧画面

- [ファイル選択] ボタンをクリックすると、音声ファイルを選択するダイアログが表示されます。



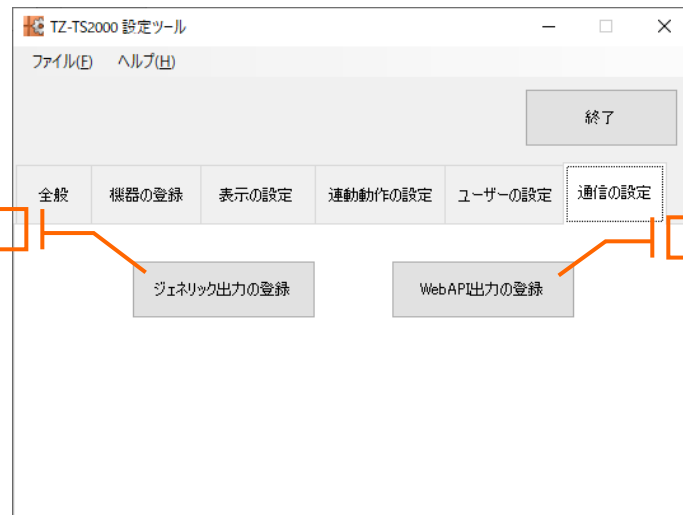
音声ファイルの選択ダイアログ画面

- 拡張子が“.au”の音声ファイルを選択して、[開く]ボタンをクリックするとファイルが登録されます。
- 登録した音声ファイルを削除する場合には、削除したい音声ファイルをリストから選択して [削除] ボタンをクリックしてください。

### 3.8. 通信の設定（TZ-TS2000 のみ）

本ソフトウェアの通信の動作を設定します。

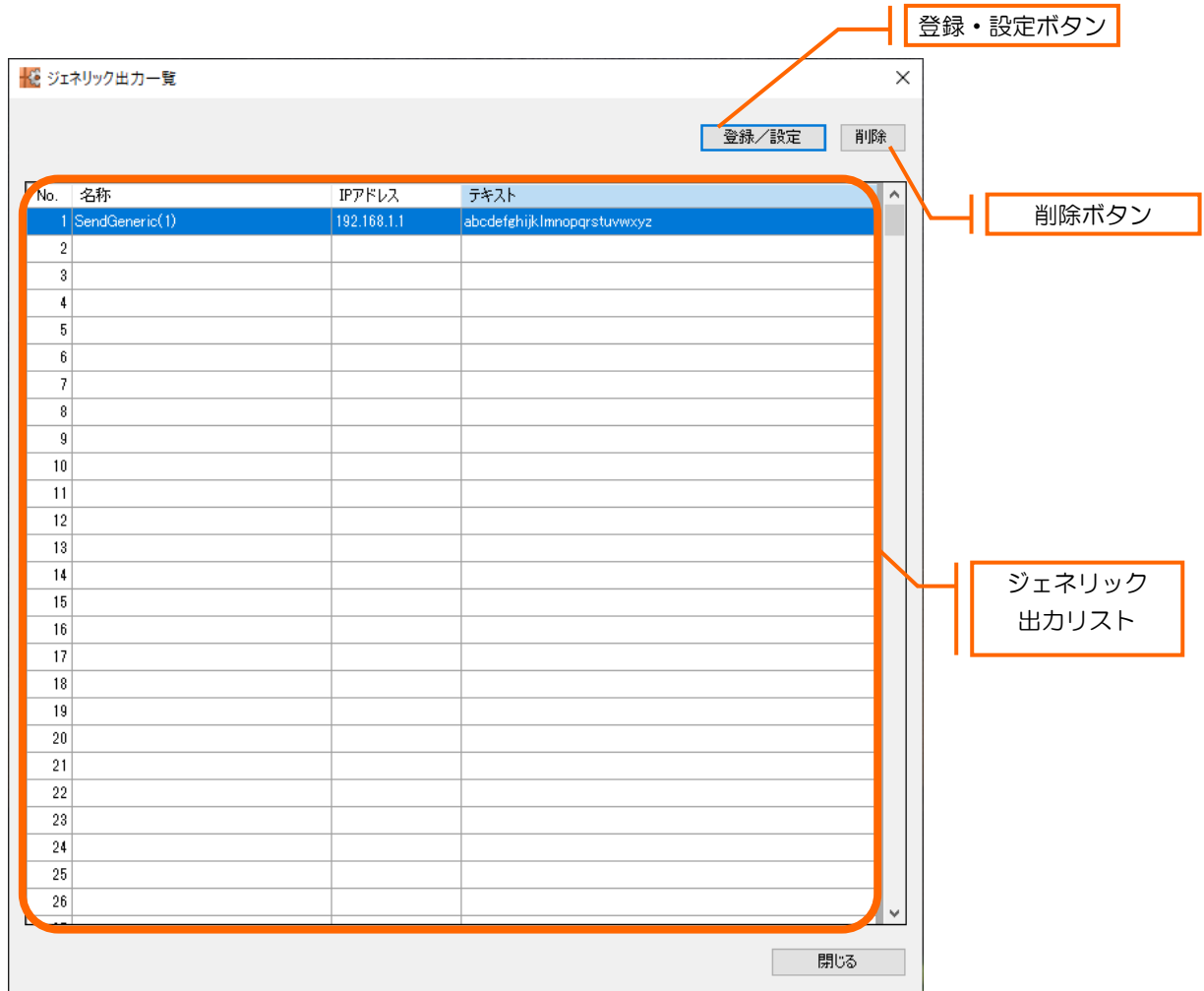
- [通信の設定] タブを選択します。



通信の設定タブ選択時

### 3.8.1. ジェネリック出力の登録

- ジェネリック出力を登録します。
- [ジェネリック出力の登録] ボタンをクリックすると、ジェネリック出力一覧画面が表示されます。
- ジェネリック出力は600個まで登録できます。
- イベント連動動作やマップ登録時に設定したジェネリック出力を指定することができます。

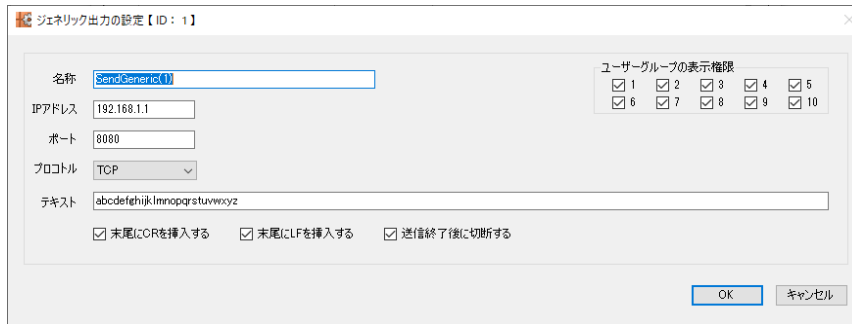


ジェネリック出力の登録画面

#### 3.8.1.1. 登録/設定ボタン

ジェネリック出力を登録/設定します。

- 名称が表示されていない行を選択し、[登録/設定] ボタンをクリックするか、その行をダブルクリックすると、デフォルトの名称をセットして、登録画面を表示します。
- 名称が表示されている行を選択し、[登録/設定] ボタンをクリックするか、その行をダブルクリックすると、設定済みの名称をセットして、設定画面を表示します。



### ジェネリック出力の設定

- (1) 名称  
ジェネリック出力名を設定します。(最大35文字)
- (2) IPアドレス  
送信先のIPアドレスを設定します。
- (3) ポート  
送信先のポートを設定します。
- (4) プロトコル  
送信プロトコル(TCP/UDP)を設定します。
- (5) テキスト  
送信する文字列を設定します。(半角英数字記号で最大 129 文字)
- (6) 末尾にCRを挿入する (ON/OFF)
- (7) 末尾にLFを挿入する (ON/OFF)
- (8) 送信終了後に切断する (ON/OFF)
- (9) ユーザーグループの表示権限  
選択されているユーザーグループのみ、このジェネリック出力を表示できます。

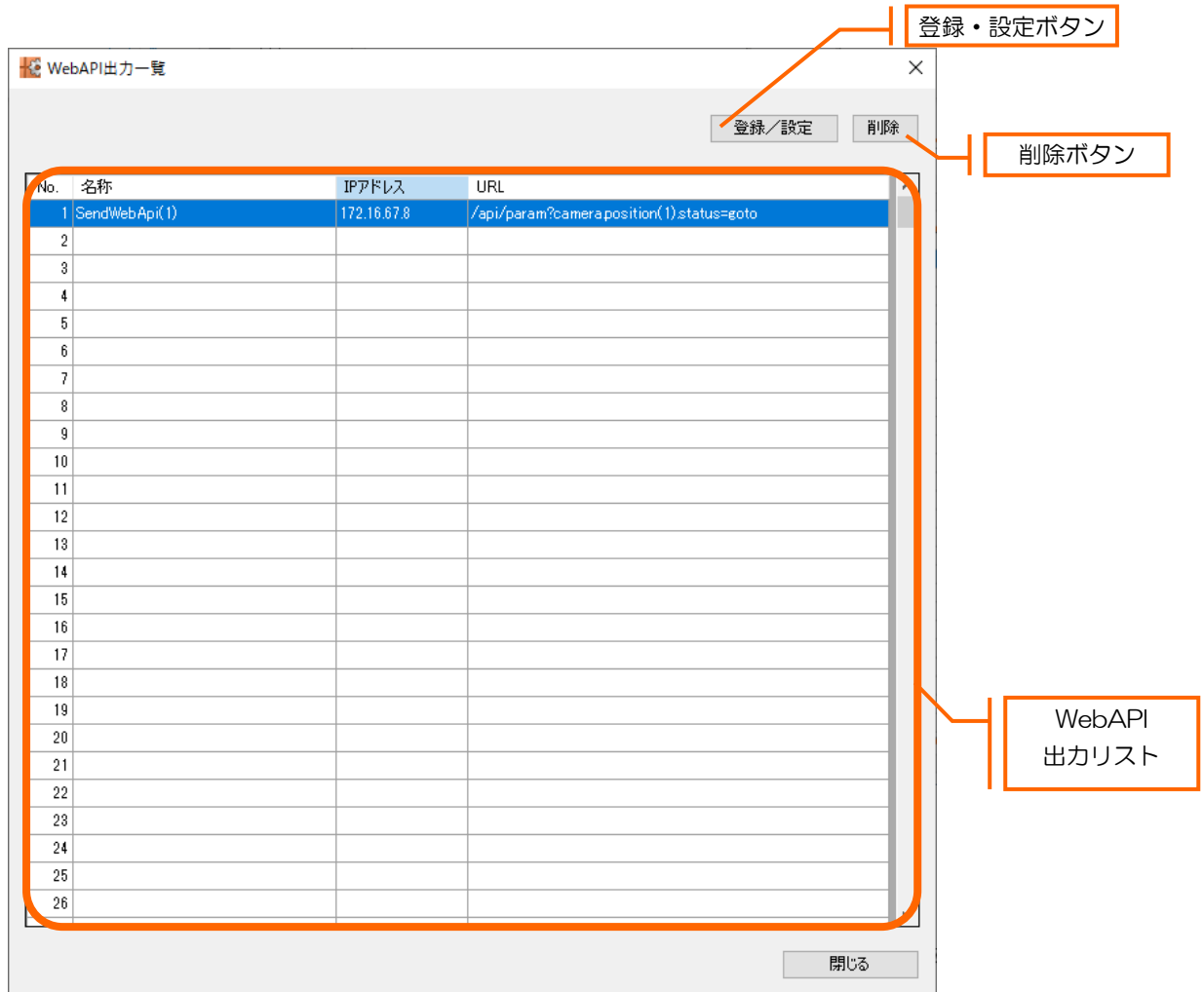
#### 3.8.1.2. 削除ボタン

ジェネリック出力を削除します。

- 名称が表示されている行を選択し、[削除] ボタンをクリックすると、選択したジェネリック出力を削除します。

### 3.8.2. WebAPI出力の登録

- WebAPI出力を登録します。
- [WebAPI出力の登録] ボタンをクリックすると、WebAPI出力一覧画面が表示されます。
- WebAPI出力は600個まで登録できます。
- イベント連動動作やマップ登録時に、設定したWebAPI出力を指定することができます。



WebAPI 出力の登録画面

#### 3.8.2.1. 登録/設定ボタン

WebAPI出力を登録/設定します。

- 名称が表示されていない行を選択し、[登録/設定] ボタンをクリックするか、その行をダブルクリックすると、デフォルトの名称をセットして、登録画面を表示します。
- 名称が表示されている行を選択し、[登録/設定] ボタンをクリックするか、その行をダブルクリックすると、設定済みの名称をセットして、設定画面を表示します。

### WebAPIの設定

- (1) 名称  
WebAPI名を設定します。(最大35文字)
- (2) IPアドレス  
送信先のIPアドレスを設定します。
- (3) ポート  
送信先のポートを設定します。
- (4) ユーザー  
ユーザー名を設定します。
- (5) パスワード  
パスワードを設定します。
- (6) 認証  
認証(Basic/Digest)を設定します。
- (7) メソッド  
メソッド(GET/POST)を設定します。
- (8) URL  
送信する文字列を設定します。(半角英数字記号で最大 129 文字)
- (9) メッセージ  
メソッドでPOSTを選択時に送信する文字列(Message Body)を設定します。  
(半角英数字記号で最大129文字)
- (10) ユーザーグループの表示権限  
選択されているユーザーグループのみ、このWebAPI出力を表示できます。

#### ※メモ 入力例

“http://172.16.67.8/api/param?camera.position(1).status=goto” を送る場合、  
下記のように設定してください。

IPアドレス：172.16.67.8  
 ポート     : 80  
 メソッド    : GET  
 URL         : /api/param?camera.position(1).status=goto

#### 3.8.2.2. 削除ボタン

WebAPI出力を削除します。

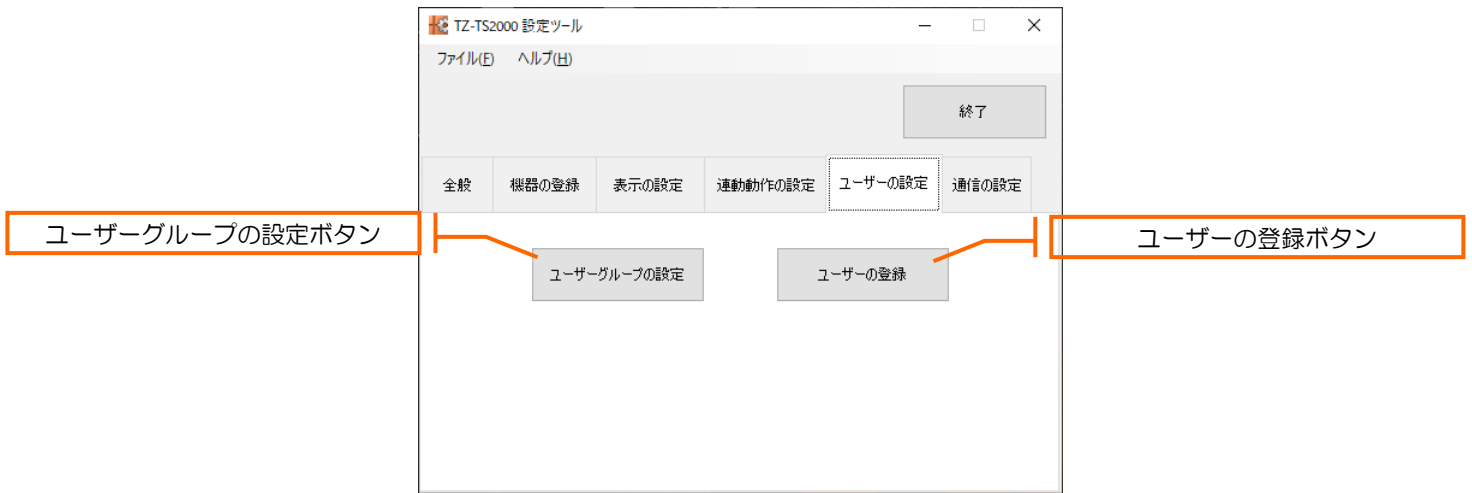
- 名称が表示されている行を選択し、[削除] ボタンをクリックすると、選択したWebAPI出力を削除します。



### 3.9. ユーザーの設定

本ソフトウェアを使用する「ユーザーグループ」と「ユーザー」を設定します。

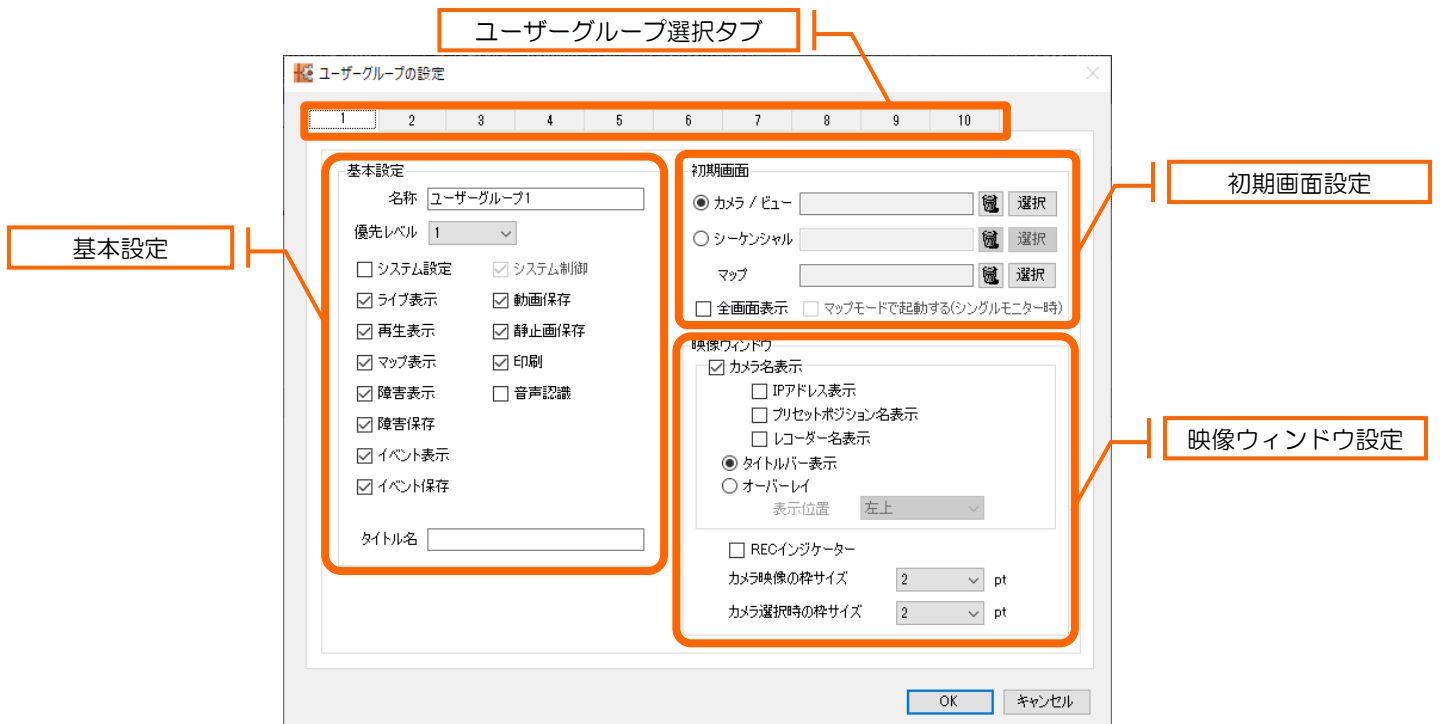
- ・ [ユーザーの設定] タブを選択します。



ユーザーの設定タブ選択時

#### 3.9.1. ユーザーグループの設定

- ・ ユーザーグループを設定します。
- ・ [ユーザーグループの設定] ボタンをクリックします。
- ・ ユーザーグループの設定画面が表示されます。
- ・ ユーザーグループは10あります。
- ・ 各ユーザーグループに対して、基本設定、初期画面設定、映像ウィンドウ設定を行います。
- ・



ユーザーグループの設定画面

• 基本設定の項目

- (1) 名称  
ユーザーグループの名称を設定します。
- (2) 優先レベル  
機器制御における優先レベルを設定します。
- (3) システム設定  
設定ツールによる設定権限を設定します。設定権限のあるユーザーにて設定ツールにログインできます。  
※メモ adminユーザーは常に設定ツールにログイン可能です。
- (4) ライブ表示  
ライブ表示の権限を設定します。
- (5) 再生表示  
再生表示の権限を設定します。
- (6) マップ表示  
マップ表示の権限を設定します。
- (7) 障害表示  
障害表示の権限を設定します。
- (8) 障害保存  
障害情報の検索結果を保存する権限を設定します。
- (9) イベント表示 (TZ-TS2000のみ)  
イベント表示の権限を設定します。
- (10) イベント保存 (TZ-TS2000のみ)  
イベント情報の検索結果を保存する権限を設定します。
- (11) システム制御  
イベント制御の権限を設定します。(設定変更不可)
- (12) 動画保存  
動画保存の権限を設定します。
- (13) 静止画保存  
静止画保存の権限を設定します。
- (14) 印刷  
静止画印刷の権限を設定します。
- (15) 音声認識  
音声認識機能の権限を設定します。
  
- (16) タイトル名  
「タイトル名」を設定します。  
※メモ 「タイトル名」はビューワーのタイトルバーに表示されます。

• 初期画面設定の項目

- (17) カメラ/ビュー、シーケンシャル  
ビューワー起動時に表示する「カメラ/ビュー」「シーケンシャル」を選択します。
- (18) マップ (TZ-TS2000のみ)  
ビューワー起動時に指定したマップを表示します。
- (19) 全画面表示  
選択すると、ビューワー起動時に全画面表示になります。
- (20) マップモードで起動する (シングルモニター時) (TZ-TS2000のみ)  
ONにしてビューワーをシングルモニターで起動するとマップモードで起動します。

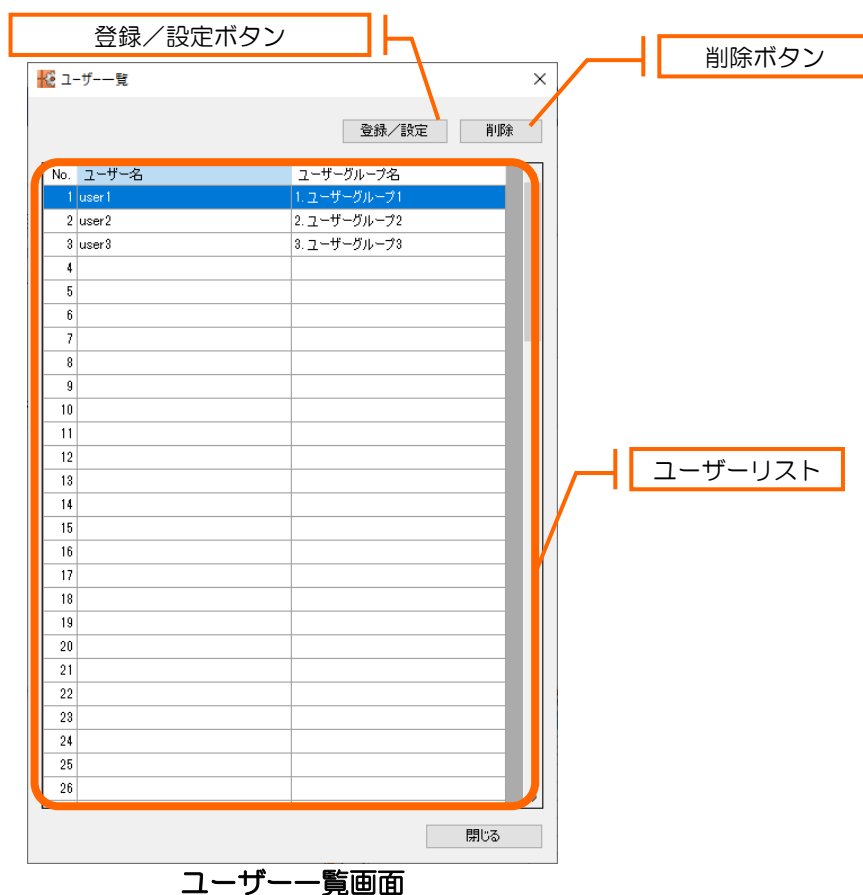
• 映像ウィンドウ設定の項目

- (21) カメラ名表示  
選択すると、映像ウィンドウにカメラ名を表示します。

- (22) IPアドレス表示  
選択すると、カメラ名の後にIPアドレスを表示します。
- (23) プリセットポジション名表示  
選択すると、カメラ名の後にプリセットポジション名を表示します。(ライブ時のみ)
- (24) レコーダー名表示  
選択すると、カメラ名の後にレコーダー名を表示します。(再生時のみ)
- (25) タイトルバー表示/オーバーレイ  
カメラ名などを表示する位置を指定します。オーバーレイ表示の場合は、映像ウィンドウ内の表示位置を選択します。
- (26) カメラ映像の枠サイズ  
映像ウィンドウの外側の枠サイズを選択します。  
障害発生時には、この枠の色が変化します。障害発生時に枠の色を変化させたい場合は、この枠サイズを「0以外」にしてください。
- (27) カメラ選択時の枠サイズ  
映像ウィンドウの内側の枠サイズを選択します。  
映像ウィンドウ選択時には、この枠の色が変化します。映像ウィンドウ選択時に枠の色を変化させたい場合は、この枠サイズを「0以外」にしてください。
- (28) RECインジケータ  
選択すると、映像ウィンドウの上にRECインジケータを表示します。

### 3.9.2. ユーザーの登録

- ユーザーを登録します。
- [ユーザーの登録] ボタンをクリックすると、ユーザー一覧画面が表示されます。
- ユーザーは100まで登録できます。



### 3.9.2.1. ユーザーの登録/設定

- 新しくユーザーを登録するときは [登録/設定] ボタンをクリックします。
- 登録したユーザーの設定を変更する場合には、変更したいユーザーをユーザーリストから選択して [登録/設定] ボタンをクリックします。
- ユーザーの登録/設定画面が表示されます。

※メモ ユーザーリスト上で変更したいユーザーをダブルクリックしてもユーザーの登録/設定画面が表示されます。

ユーザーの設定

ユーザー名

パスワード

ユーザーグループ

ショートカットに使用するパスワードを暗号化してコピー

ユーザーの登録/設定画面

- (1) ユーザー名
  - 表示する名称を設定します。(最大35文字)
- (2) パスワード
  - パスワードを設定します。  
変更する際は [変更] ボタンをクリックして、半角英字・数字の混在した8文字以上の新しいパスワードを入力してください。
- (3) ユーザーグループ
  - ユーザーグループを設定します。

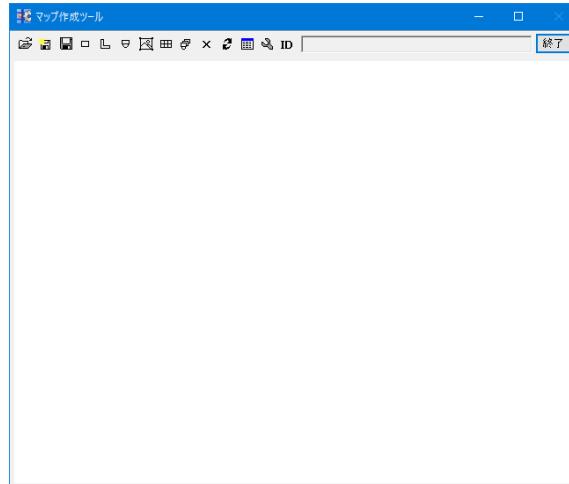
- [ショートカットに使用するパスワードを暗号化してコピー]ボタンをクリックするとビューワーのショートカット起動のパスワード情報用に暗号化した文字情報がクリップボードにコピーされます。

### 3.9.2.2. ユーザーの削除

- 登録したユーザーを削除する場合には、削除したいユーザーをユーザーリストから選択して [削除] ボタンをクリックしてください。

### 3.10. マップ作成ツール（TZ-TS2000のみ）

「マップ作成ツール」の起動については、「3.6.4.1. マップの新規作成／編集」を参照ください。



マップ作成ツール画面

「マップ作成ツール」には、以下の3つのモードがあり、起動時は「オブジェクト編集モード」になります。

マップ作成ツールのモード		説明
1	オブジェクト配置モード	四角形または多角形、アイコンのオブジェクトを配置するモードです。
2	複数オブジェクト配置モード	複数のアイコンまたは四角形を配置するモードです。複数の多角形を配置するモードはありません。
3	オブジェクト編集モード	各オブジェクトの選択、移動、拡大／縮小をおこなうモードです。多角形の場合は、更に詳細設定が行えます（「3.10.18. 多角形オブジェクトの頂点設定」を参照ください）。

各オブジェクトの移動や設定変更は、[Ctrl] + [Z] キーの押下でやり直し（Undo）を、[Ctrl] + [Y] キーの押下でRedo（元に戻す）、各々で最大5回まで実行できます。

#### 3.10.1. ツールバー

マップ作成ツールの「ツールバー」を押下してモードの切り替えや設定の読み込み、保存などを行います。



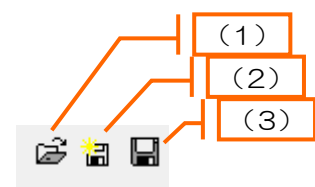
ツールバー

##### (1) マップデータ読み込み

既存のマップデータ（cabファイル）を指定して読み込みます。このボタンを押下するとフォルダダイアログが開いて、ファイルが選択できます。

##### (2) 上書き保存

作成したマップデータを上書き保存します。

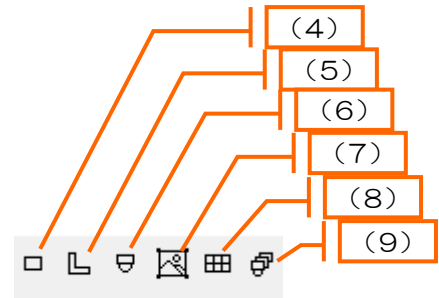


### (3) 別名保存

作成したマップデータを指定したファイル名（cabファイル）で保存します。

### (4) 四角形を生成

マップ上に四角形のオブジェクトを配置します。  
このボタンを押すと「オブジェクト配置モード」になります。  
マップ上でマウスをクリックすると、その位置に四角形オブジェクトを作成します。  
続いてマウスをクリックすると、別の四角形オブジェクトを作成できます。  
このボタンをもう一度押すと「オブジェクト編集モード」に戻ります。



### (5) 多角形を生成

マップ上に多角形のオブジェクトを配置します。  
このボタンを押すと「オブジェクト配置モード」になります。マップ上でマウスをクリックすると、その位置に多角形の頂点が配置でき線を引くことができます。マップ上でマウスをダブルクリックすると、その位置を最後の頂点とした多角形オブジェクトを作成します。  
続いてマウスをクリックすると、別の多角形オブジェクトを作成できます。  
このボタンをもう一度押すと「オブジェクト編集モード」に戻ります。  
多角形を作成している途中でこのボタンを押すと、作成中の多角形を破棄して「オブジェクト編集モード」に戻ります。

### (6) アイコンを生成

マップ上にアイコンのオブジェクトを配置します。  
このボタンを押すと「オブジェクト配置モード」になります。マップ上でマウスをクリックすると、その位置にアイコンオブジェクトを作成します。  
続いてマウスをクリックすると、別のアイコンオブジェクトを作成できます。  
このボタンをもう一度押すと「オブジェクト編集モード」に戻ります。

### (7) 背景画像の読み込み

このボタンを押下するとフォルダダイアログが開いてファイルが選択できます。ファイルを選ぶと「背景の設定」画面が表示され、マップの背景画像を配置します。詳細は、「3.10.2. 背景の設定」を参照ください。

### (8) 複数の四角形を生成

マップ上に四角形オブジェクトを複数配置します。  
このボタンを押すと「複数一括生成」設定画面が表示され、[OK] ボタンを押すと「複数オブジェクト配置モード」になります。  
マップ上でマウスをクリックすると、その位置に四角形オブジェクトを複数配置できます。  
このボタンをもう一度押すと「オブジェクト編集モード」に戻ります。

### (9) 複数のアイコンを生成

マップ上にアイコンオブジェクトを複数配置します。  
このボタンを押すと「複数一括生成」設定画面が表示され、[OK] ボタンを押すと「複数オブジェクト配置モード」になります。  
マップ上でマウスをクリックすると、その位置にアイコンオブジェクトを、上記設定に従って複数配置できます。  
このボタンをもう一度押すと「オブジェクト編集モード」に戻ります。

### (10) 選択オブジェクトの削除

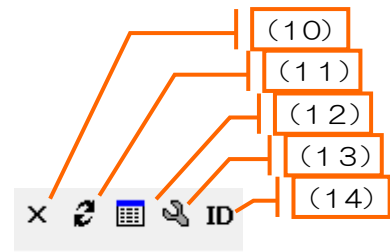
マップ上で選択したオブジェクトを削除します。  
複数のオブジェクトを選択して、一括で削除することもできます。オブジェクトの選択についての詳細は、

「3.10.10. オブジェクトの編集（選択）」を参照ください。

（1 1）機器名、ビュー名、マップ名の更新

マップ上のオブジェクトの名称を「マップ作成ツール」で設定した名称から、「設定ツール」の各登録画面で設定した名称に更新します。

マップ上のオブジェクトの名称についての詳細は、「3.10.4. プロパティ画面」を参照ください。



（1 2）設定内容の一覧表示

各オブジェクトの設定の内容（ID、大きさ、位置、名称などの情報）が確認できる、「オブジェクト一覧表示」画面を表示します。詳細は、「3.10.17. オブジェクト一覧表示」を参照ください。

（1 3）複数オブジェクトの設定内容の一括変更

選択した複数のオブジェクトの設定の内容（ID、大きさ、位置、名称など）を一括で変更する「複数オブジェクト設定変更」画面を表示します。詳細は「3.10.15. 複数オブジェクトの一括設定」を参照ください。

（1 4）複数オブジェクトのID自動設定

マップ上で選択している複数のオブジェクトに、自動でIDとTYPEを設定する「ID設定」画面を表示します。詳細は、「3.10.16. 複数オブジェクトのID一括設定」を参照ください。



ツールバー

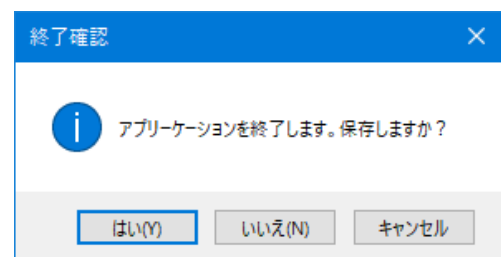
（15）メッセージ表示エリア

マップ作成ツールの状態に応じて、「マップ作成ツール」のモードや処理の成功・失敗、パラメーターなどの情報をメッセージ表示します。

（16）終了

終了確認画面（編集した内容を保存するか否かと終了の確認メッセージ画面）を表示して、「マップ作成ツール」を終了します。

「マップ作成ツール」が、「設定ツール」から呼び出されている場合は、「設定ツール」に戻ります。

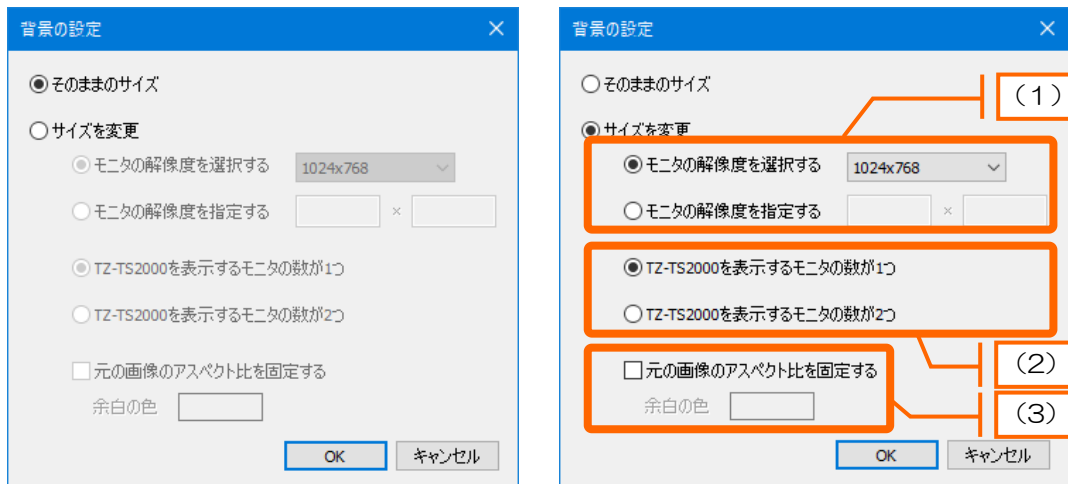


終了確認画面

### 3.10.2. 背景の設定

マップの背景に設定する画像を、表示するサイズを指定して読み込みます。画像ファイルは、そのままのサイズか、変更して背景にできます。

背景として、JPEG、PNG、BMPファイルが利用できます。







背景の設定画面

「そのままのサイズ」を選んだ場合は、ファイルのもともとのサイズの背景になります。  
 「サイズを変更」を選んだ場合は、設定に従って、もともとの画像を縮小・拡大してから背景として使用します。(1)と(2)の2つの項目はお互いに排他的関係です。

項目	説明	
(1)	モニタの解像度を選択する	マップを表示するモニターの解像度を設定します。選択できる解像度は、右記の5つです。
	モニタの解像度を指定する	解像度を任意の値に設定します。 左側に「幅」を、右側に「高さ」を指定します 「幅」は800以上、2000以下の範囲で、「高さ」は600以上、2000以下の範囲で値を設定する必要があります。
(2)	TZ-TS2000を表示するモニタの数が1つ	マップが表示されるエリアのサイズは、表示モニターが1つの場合の仕様になります。
	TZ-TS2000を表示するモニタの数が2つ	マップが表示されるエリアのサイズは、表示モニターが2つの場合の仕様になります。
(3)	元の画像のアスペクト比を固定する (および余白の色)	チェックを付けると、もともとの画像ファイルの縦横の比率を保持して背景にします。画像が無い余白の部分は「余白の色」で指定した色になります。

### 3.10.3. 各タイプのオブジェクトをマップ上に配置する手順

ツールバーのオブジェクト配置ボタン (  ) をクリックすると、そのボタンが押下された状態となり、「オブジェクト配置モード」となります。「オブジェクト配置モード」でマップ上をクリックすると各々のタイプのオブジェクトが配置できます。

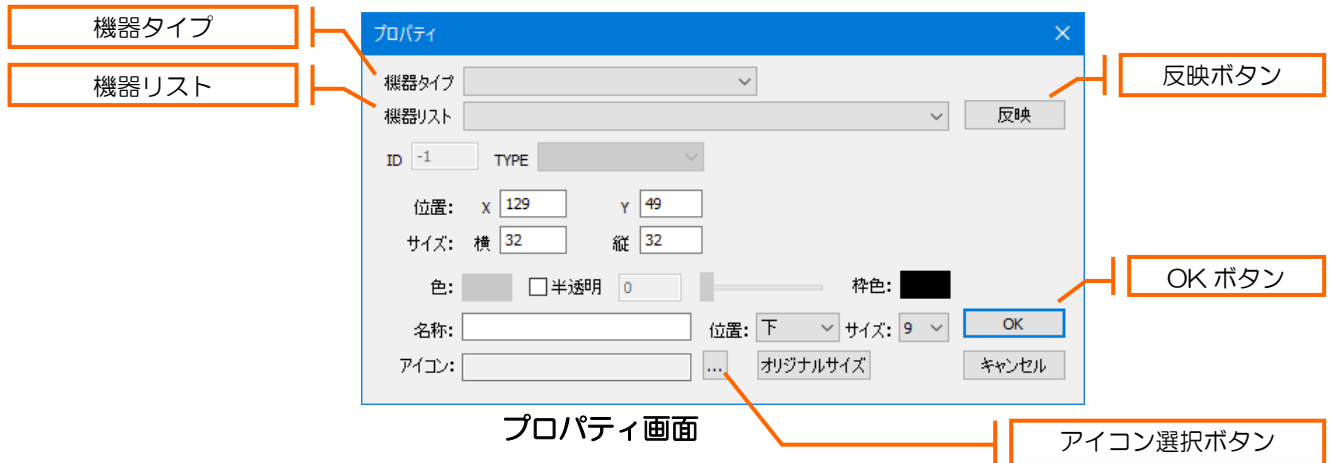
オブジェクト配置ボタン	説明
	マップ上にアイコンオブジェクト (透明な四角形) を配置します
	マップ上に四角形オブジェクトを配置します
	マップ上をクリックして、複数の頂点を指定することで、多角形オブジェクトが配置できます



同じボタンをもう一度クリックすると、「オブジェクト配置モード」から「オブジェクト編集モード」に戻ります。

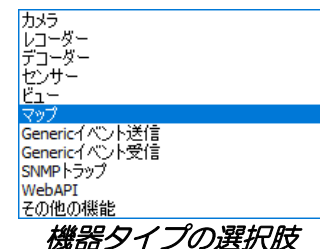
「オブジェクト編集モード」では、オブジェクトの選択、移動、拡大／縮小ができます。多角形オブジェクトの場合は詳細設定もできます。詳細は「3.10.10. オブジェクト編集（選択）」以降の章を参照ください。マップ上に生成されたオブジェクトをダブルクリックすると、「プロパティ」画面が表示され、オブジェクトの情報を設定します。詳細は「3.10.4. プロパティ画面」を参照ください。

### 3.10.4. プロパティ画面



「機器タイプ」一覧と「機器リスト」一覧で、選択したオブジェクトに対応させる、機器もしくは機能を選びます。「機器タイプ」には、ビューやマップなどの機能も含まれます。

「機器タイプ」と「機器リスト」を選択して「反映」ボタンをクリックすると、その機器または機能の情報がオブジェクトに反映されます。「反映」ボタンをクリックしないと、「OK」ボタンをクリックして「プロパティ」画面を閉じたときに、設定した機器・機能がオブジェクトに設定されません。



「機器リスト」で「センサー」の入出力端子や「その他の機能」を選ぶと、設定項目が追加される場合があります。詳細は「3.10.7. センサー端子の追加設定」または「3.10.8. その他の機能の設定」を参照ください。

「アイコン選択ボタン」をクリックすると、アイコン設定画面が開き、オブジェクトに表示するアイコンの画像を選択して設定できます。アイコン設定の詳細は、「3.10.5. アイコン設定画面」を参照ください。

「アイコン選択ボタン」の右側の「オリジナルサイズ」ボタンをクリックすると、アイコンオブジェクトのサイズがアイコン画像のもともとのサイズに調整されます。

「ID」と「TYPE」はシステムが使用する値です。「機器リスト」を選択して「反映」ボタンをクリックすると自動的に設定されます。

必要に応じて、以下の設定を変更できます。

項目	説明
位置	現在のオブジェクトの表示位置を表示します。 変更した値の場所にオブジェクトが移動します
サイズ	現在のオブジェクトのサイズを表示します 変更した値にオブジェクトのサイズが変わります
名称	マップ上に表示されるオブジェクトの名前です。 [反映]ボタンをクリックしたときは「設定ツール」の各登録画面で設定した名称になり、任意の名称に変更できます。 「設定ツール」の「全般」-「詳細設定」で「マップ上のオブジェクトの表示名称に“マップ作成ツール”で指定した内容を反映させる」にチェックがある場合は、ここで変更した名前でマップに表示されます。
位置	オブジェクトの名称をオブジェクトのどの位置に表示するかを、中、左上、上、右上、右、右下、下、左下、左、非表示から選びます。 (初期設定は下です)
サイズ	オブジェクトの名称の表示サイズを、フォントサイズで8、9、10、11、12、14、16、18、20、22、24、26、28、36、48、72から選びます。 (初期設定は9です)



プロパティ画面の色設定

- (1) [色] のカラーボックスをクリックしてオブジェクトの色を設定します。
- (2) 半透明にチェックを付けると、半透明（透過率50%）になり、右側のスライダーバーが操作できるようになります。
- (3) 半透明にチェックがある状態で、スライダーバーで色の透明度がパーセント値で調整できます。
- (4) [枠色]のカラーボックスをクリックしてオブジェクトの枠の色を設定します。

※メモ アイコンオブジェクトの場合でも、色の設定が可能ですが表示には使用されません。

### 3.10.5. アイコン設定画面

「プロパティ画面」の[アイコン選択ボタン]をクリックすると、「アイコン設定画面」が開き、TZ-TS2000がもっているアイコンの中で、関連アイコンでないものが表示されます。（関連アイコンについては、以下の説明を参照ください）



アイコン設定画面

表示された画像を選択して、[設定] ボタンをクリックしてアイコンを設定します。  
 アイコンを設定すると、関連アイコンも一緒に設定されます。  
 画像をダブルクリックしても設定されません。また、[閉じる] ボタンをクリックすると、アイコンを設定せずに画面を閉じて「プロパティ画面」に戻ります。

※メモ 関連アイコン

アイコンには「通常アイコン」を基本として、状態を表示するための関連アイコンがあります。  
 例えば、通常アイコンのファイル名を ” ICON.png” とした場合、以下のようなサフィックスを付けた名称のファイルが関連アイコンの画像ファイルとして認識されます。

種別	サフィックス文字	ファイル名の例
選択アイコン	_sl	ICON_sl.png
イベントアイコン	_ev	ICON_ev.png
ロックアイコン	_lk	ICON_lk.png
不定アイコン	_id	ICON_id.png

※メモ 新しいアイコンファイルを追加する場合

TZ-TS2000は、アイコンフォルダに置いた新たなPNGファイルを、通常アイコンおよび関連アイコンとして利用できます。

アイコンフォルダは、[パブリックのドキュメント]-[TZ-TS2X]-[UserData]-[MapIcon]です。

追加するファイルは、関連アイコンのファイル名の命名規則にご注意ください。

※メモ アイコンフォルダには、TZ-TS2000のインストール時に、いくつかのアイコンのサンプルがプリインストールされますが、それらのファイルは絶対に削除はしないでください。

※メモ アイコン画像は、ファイルを [アイコン] のテキストボックスにドラッグ&ドロップして設定することもできます。アイコンフォルダに追加したPNGファイルが何らかの要因で「アイコン設定画面」に表示されなかった場合でも、画像をドラッグ&ドロップして設定できます。

### 3.10.6. オブジェクトを重複して配置した場合のご注意

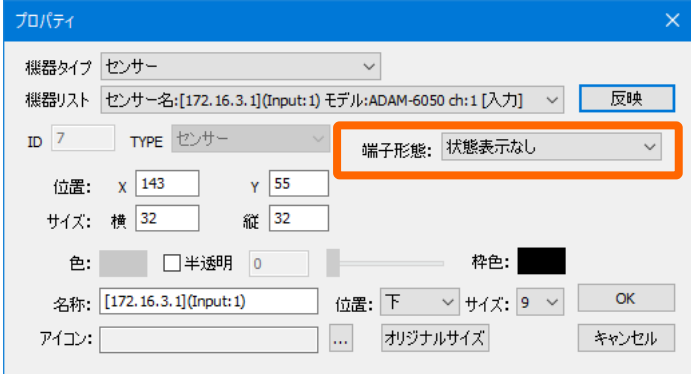
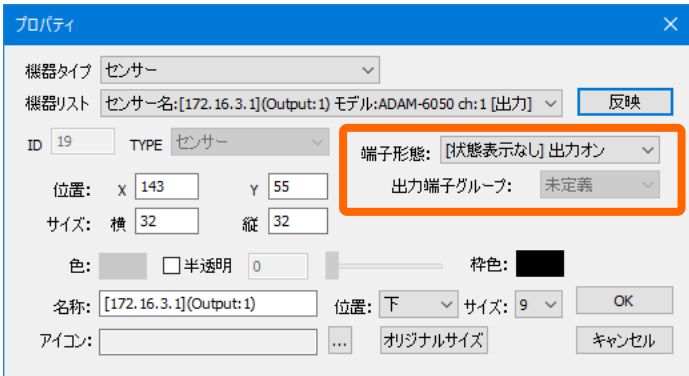
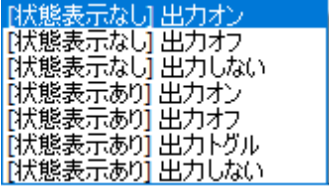
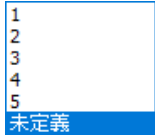
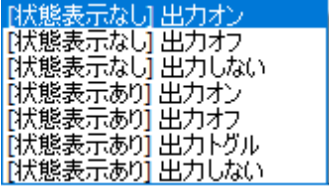
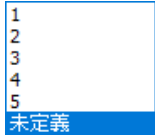
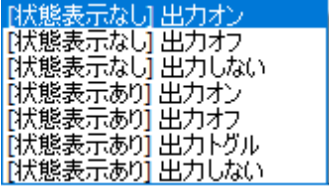
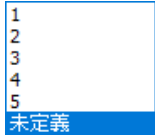
一つのマップに同じIDとTYPEのオブジェクトを重複して配置した場合、状態表示が保証できない場合があります。

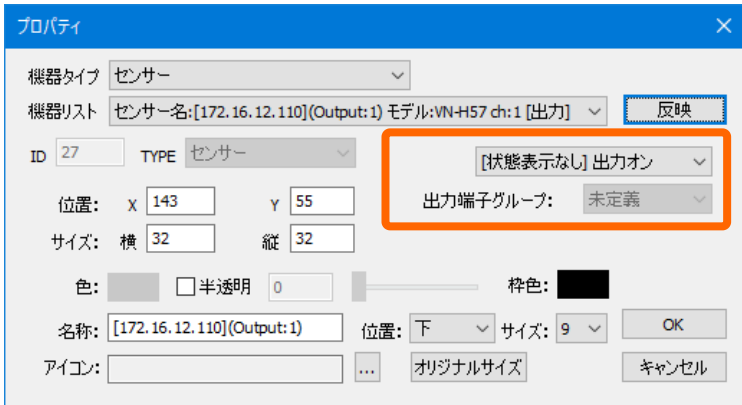
例えば、同じIDとタイプのカメラのオブジェクトを、アイコンと四角形で配置した場合、そのカメラを選択した時に、そのオブジェクトはアイコンか四角形のどちらか一方の表現でしか取り扱えないため、例えば、アイコンと認識した場合は、アイコンは選択アイコンに切り替わりますが、四角形オブジェクトの色は選択色に変化しません。

ADAM入出力端子オブジェクト（センサー）の場合に限り、同じ端子を「状態表示をする」と「状態表示をしない」に設定して、それぞれをひとつずつ、一つのマップに同時に置くことができます。

### 3.10.7. センサー端子の追加設定

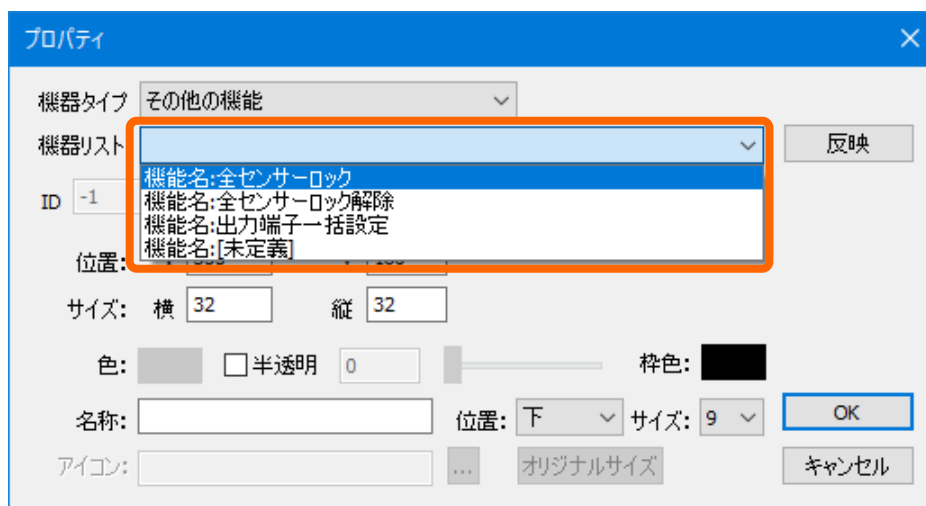
「プロパティ画面」において、[機器リスト] で「センサー」の入出力端子を選ぶと、カメラ入力端子の場合を除いて、追加の設定項目が表示されます。

入出力端子の種類	説明						
ADAM 入力端子	<p>「端子形態」が、「状態表示なし」か「状態表示あり」のどちらかで選べます。</p>  <p style="text-align: center;"><b>ADAM入力端子のプロパティ画面</b></p> <p>「状態表示なし」に設定したオブジェクトは、イベント受信を表示して、「状態表示あり」に設定したオブジェクトは、端子のオン/オフの状態を表示します。          ※メモ「状態表示あり」に設定したオブジェクトはイベント受信で点滅表示しません。</p>						
ADAM 出力端子	<p>「端子形態」と「出力端子グループ」が設定できます。</p>  <p style="text-align: center;"><b>ADAM出力端子のプロパティ画面</b></p> <table border="1" data-bbox="359 1541 1439 2083"> <tr> <td data-bbox="359 1541 523 1870">端子形態</td> <td data-bbox="523 1541 1093 1870"> <p>選択できる設定は7つです。                      状態表示のあり・なしと、端子出力の制御内容を設定します。                      「状態表示あり」に設定した場合は、現状の出力端子のオン/オフの状態を表示します。                      端子出力の制御内容の設定は、オブジェクトをクリックしたときの端子出力の制御仕様を設定します。                      トグルの場合は、現在のオン/オフの状態を反転して出力します。</p> </td> <td data-bbox="1093 1541 1439 1870">  </td> </tr> <tr> <td data-bbox="359 1870 523 2083">出力端子グループ</td> <td data-bbox="523 1870 1093 2083"> <p>選択できる設定は「未定義」と1~5の値です。                      出力端子一括設定ボタンをクリックしたときに一括で出力する対象に属するかを決定するグループを設定します。                      出力端子一括設定については、「3.10.8. その他の機能の設定」を参照ください。</p> </td> <td data-bbox="1093 1870 1439 2083">  </td> </tr> </table>	端子形態	<p>選択できる設定は7つです。                      状態表示のあり・なしと、端子出力の制御内容を設定します。                      「状態表示あり」に設定した場合は、現状の出力端子のオン/オフの状態を表示します。                      端子出力の制御内容の設定は、オブジェクトをクリックしたときの端子出力の制御仕様を設定します。                      トグルの場合は、現在のオン/オフの状態を反転して出力します。</p>		出力端子グループ	<p>選択できる設定は「未定義」と1~5の値です。                      出力端子一括設定ボタンをクリックしたときに一括で出力する対象に属するかを決定するグループを設定します。                      出力端子一括設定については、「3.10.8. その他の機能の設定」を参照ください。</p>	
端子形態	<p>選択できる設定は7つです。                      状態表示のあり・なしと、端子出力の制御内容を設定します。                      「状態表示あり」に設定した場合は、現状の出力端子のオン/オフの状態を表示します。                      端子出力の制御内容の設定は、オブジェクトをクリックしたときの端子出力の制御仕様を設定します。                      トグルの場合は、現在のオン/オフの状態を反転して出力します。</p>						
出力端子グループ	<p>選択できる設定は「未定義」と1~5の値です。                      出力端子一括設定ボタンをクリックしたときに一括で出力する対象に属するかを決定するグループを設定します。                      出力端子一括設定については、「3.10.8. その他の機能の設定」を参照ください。</p>						

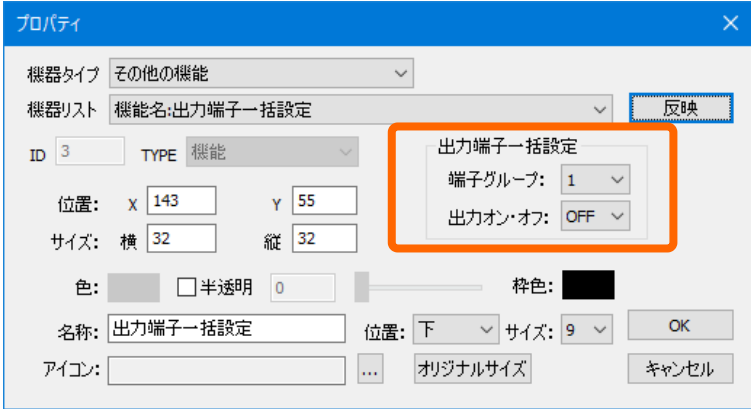
カメラ 入力端子	追加の設定はありません						
カメラ 出力端子	<p>「端子形態」と「出力端子グループ」が設定できます</p>  <p style="text-align: center;"><b>カメラ出力端子のプロパティ画面</b></p> <table border="1"> <tr> <td>端子形態</td> <td> <p>選択できる設定は2つです。 カメラ出力端子の場合、「状態表示あり」は設定できません。</p> <p>端子出力の制御内容の設定は、オブジェクトをクリックしたときの端子出力の制御仕様を設定します。 カメラ出力端子の場合、トグル出力はありません。</p> </td> <td> <p>[状態表示なし] 出力オン [状態表示なし] 出力オフ [状態表示なし] 出力しない</p> </td> </tr> <tr> <td>出力端子グループ</td> <td> <p>選択できる設定は「未定義」と1～5の値です。 出力端子一括設定ボタンをクリックしたときに一括で出力する対象に属するかを決定するグループを設定します。</p> <p>出力端子一括設定については、「3.10.8. その他の機能の設定」を参照ください。</p> </td> <td> <p>1 2 3 4 5 未定義</p> </td> </tr> </table>	端子形態	<p>選択できる設定は2つです。 カメラ出力端子の場合、「状態表示あり」は設定できません。</p> <p>端子出力の制御内容の設定は、オブジェクトをクリックしたときの端子出力の制御仕様を設定します。 カメラ出力端子の場合、トグル出力はありません。</p>	<p>[状態表示なし] 出力オン [状態表示なし] 出力オフ [状態表示なし] 出力しない</p>	出力端子グループ	<p>選択できる設定は「未定義」と1～5の値です。 出力端子一括設定ボタンをクリックしたときに一括で出力する対象に属するかを決定するグループを設定します。</p> <p>出力端子一括設定については、「3.10.8. その他の機能の設定」を参照ください。</p>	<p>1 2 3 4 5 未定義</p>
端子形態	<p>選択できる設定は2つです。 カメラ出力端子の場合、「状態表示あり」は設定できません。</p> <p>端子出力の制御内容の設定は、オブジェクトをクリックしたときの端子出力の制御仕様を設定します。 カメラ出力端子の場合、トグル出力はありません。</p>	<p>[状態表示なし] 出力オン [状態表示なし] 出力オフ [状態表示なし] 出力しない</p>					
出力端子グループ	<p>選択できる設定は「未定義」と1～5の値です。 出力端子一括設定ボタンをクリックしたときに一括で出力する対象に属するかを決定するグループを設定します。</p> <p>出力端子一括設定については、「3.10.8. その他の機能の設定」を参照ください。</p>	<p>1 2 3 4 5 未定義</p>					

### 3.10.8. その他の機能の設定



「プロパティ画面」において、[機器タイプ] で「その他の機能」を選んで [機器タイプ] を押下すると、[全センサーロック]、[全センサーロック解除]、[出力端子一括設定]、[[未定義]] を選べます。

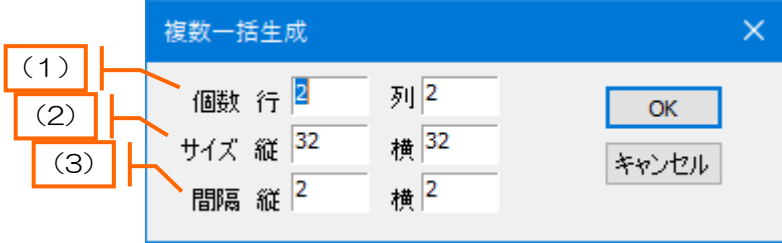


プロパティ画面（その他の機能）

機能名	説明						
全センサーロック	オブジェクトに、同一マップ上にある、ロック可能または出力端子制御が設定されている全ての入力端子を一括でロック状態にする機能を設定する						
全センサーロック解除	オブジェクトに、同一マップ上にある、ロック可能または出力端子制御が設定されている全ての入力端子のロック状態を一括で解除する機能を設定する						
出力端子一括設定	<p>オブジェクトに出力端子一括設定の機能を設定する。  「出力端子一括設定」は、同一のマップに置かれたADAMおよびカメラの出力端子において、グループ番号を指定して出力を制御する機能。  「機器リスト」で出力端子一括設定を選ぶと、以下が設定できます。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>選択できる設定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>端子グループ</td> <td>1、2、3、4、5</td> </tr> <tr> <td>出力オン・オフ</td> <td>ON、OFF</td> </tr> </tbody> </table>  <p style="text-align: center;"><b>出力端子一括設定のプロパティ画面</b></p>	項目	選択できる設定	端子グループ	1、2、3、4、5	出力オン・オフ	ON、OFF
項目	選択できる設定						
端子グループ	1、2、3、4、5						
出力オン・オフ	ON、OFF						
[未定義]	選択したオブジェクトを[未定義]状態にします						

### 3.10.9. 複数オブジェクトの一括配置

 ボタンまたは  ボタンをクリックすると、複数一括生成画面が表示されます。必要に応じて、個数、サイズ、間隔の設定を変更します。





複数一括生成画面

項目	説明	
(1)	個数 (行 × 列)	配置するオブジェクトの個数を指定します
(2)	サイズ (縦 × 横)	各オブジェクトの大きさを指定します
(3)	間隔 (縦 × 横)	配置するオブジェクト同士の間隔をドット数で指定します

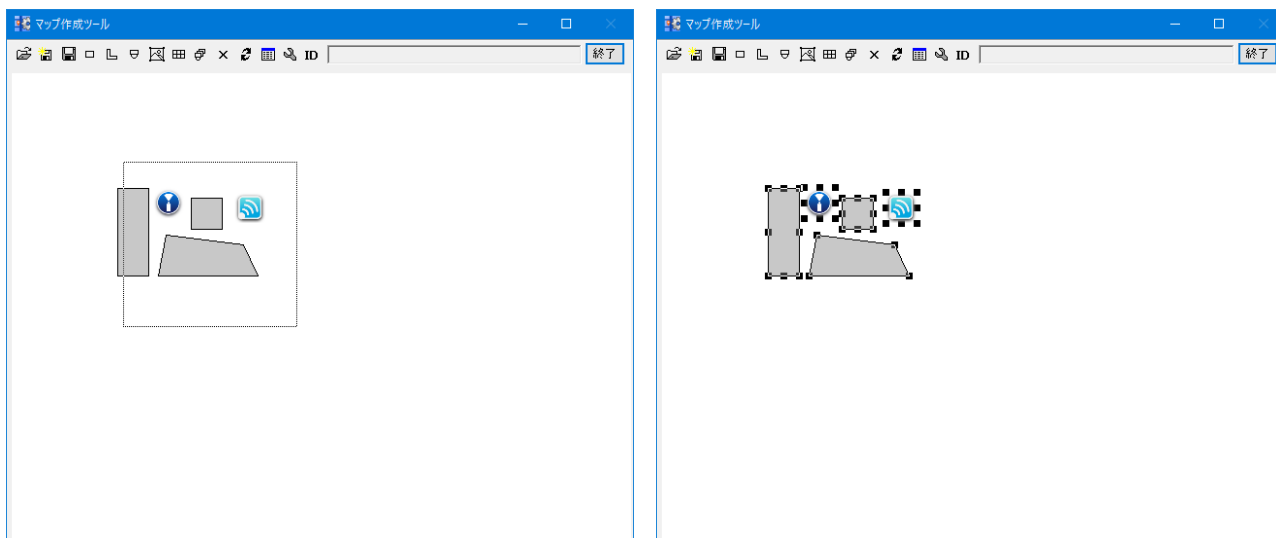
[OK] ボタンをクリックすると、「複数オブジェクト配置モード」になります。  
「複数オブジェクト配置モード」で、マップ上をクリックすると、その位置にアイコンまたは四角形のオブ

ジェクトを、設定した個数／サイズ／間隔に従って複数個配置します。  
マップの領域をはみ出すような位置でクリックした場合には、エラーを表示して配置できません。

同じ  ボタンまたは  ボタンをもう一度押すと「オブジェクト編集モード」に戻ります。

### 3.10.10. オブジェクトの編集（選択）

オブジェクトをマウスで左クリックすると選択状態にできます。  
マウスで右クリックしながらオブジェクトを囲むと、その範囲で複数のオブジェクトを同時に選択できます。



範囲を指定したオブジェクトの選択

キーボードで [ctrl] キーを押しながらマウスで左クリックすると、オブジェクトを個別に選択状態や非選択状態にすることができます。

### 3.10.11. オブジェクトの編集（移動）

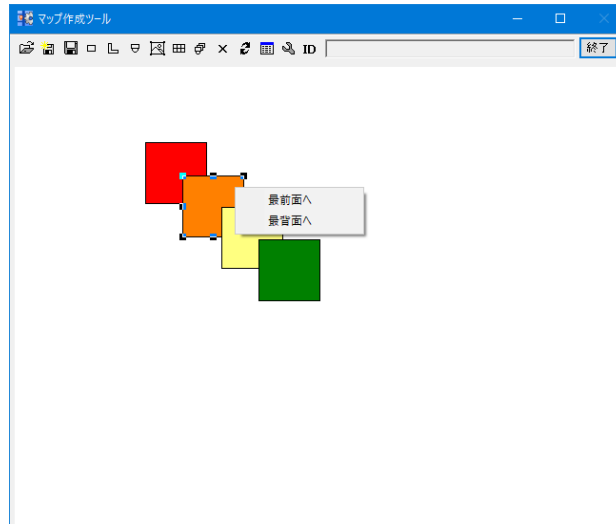
選択状態のオブジェクトをマウスでドラッグ、またはキーボードの [矢印] キーを押して、選択状態のオブジェクトの表示位置を移動させることができます。  
複数のオブジェクトを選択している場合は、選択されたすべてのオブジェクトを移動できます。

### 3.10.12. オブジェクトの編集（拡大・縮小）

オブジェクトを一つだけ選択した状態で、■点をマウスでドラッグして動かすことで、オブジェクトを拡大・縮小することができます。  
多角形オブジェクトを一つだけ選択した場合は、■点をマウスでドラッグして動かすことで、多角形オブジェクトの形状を変形することができます。

### 3.10.13. オブジェクトの編集（前面・背面へ移動／整列）

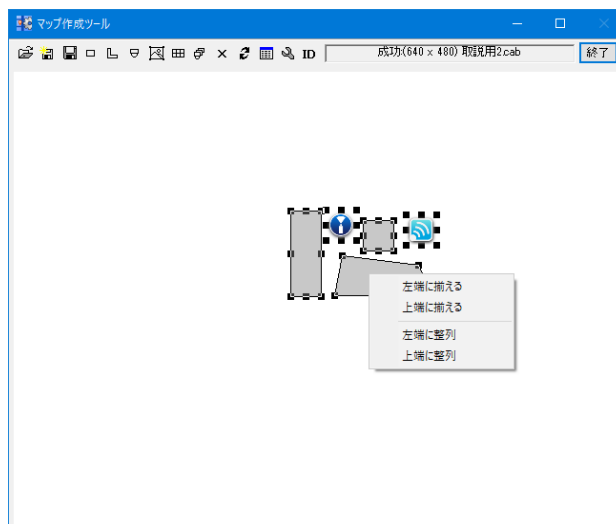
オブジェクトを選択している場合に、マウスを右クリックでメニューが表示されます。  
一つのオブジェクトを選択している場合、マウスを右クリックで以下のメニューが表示されます。



オブジェクトの全面・背面への移動

メニュー	説明
最前面へ	選択されているオブジェクトの表示位置を最も手前にします
最背面へ	選択されているオブジェクトの表示位置を最も下にします

複数のオブジェクトを選択している場合には、マウスを右クリックで以下のメニューが表示されます。



複数オブジェクトの整列

メニュー	説明
左端に揃える	選択されているオブジェクトで、一番左のオブジェクトの左端に、選択されたオブジェクトの表示位置を揃えます
上端に揃える	選択されているオブジェクトで、一番上のオブジェクトの上端に、選択されたオブジェクトの表示位置を揃えます
左端に整列	選択されているオブジェクトで、一番左のオブジェクトの左端に合わせて整列します。
上端に整列	選択されているオブジェクトで、一番上のオブジェクトの上端に合わせて整列します。

※メモ 整列する順番は、縦方向でみて、上からの配置順です。整列のときにマップの画面に収まらない場合は、次の列に配置します。



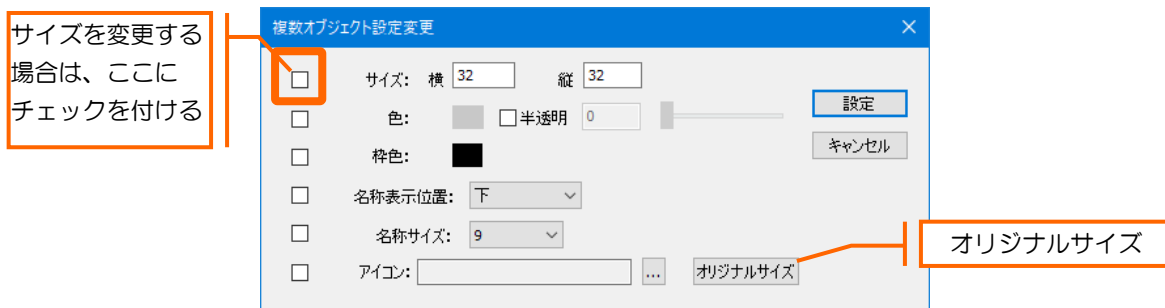
### 3.10.14. オブジェクトの削除

一つ以上のオブジェクトを選択した状態で、ツールバーの **X** ボタンを押して、選択したオブジェクトを削除します。



### 3.10.15. 複数オブジェクトの一括設定

複数のオブジェクトを選択した状態で、ツールバーの **ID** ボタンを押して、「複数オブジェクトの一括設定」画面を表示します。



複数オブジェクト設定変更

左側の各チェックボックスにチェックを付けた項目のみが、[設定] ボタンを押したときに、選択している全てのオブジェクトに反映されます。変更しない項目には、チェックを付けないで、いまの設定内容を保持できます。

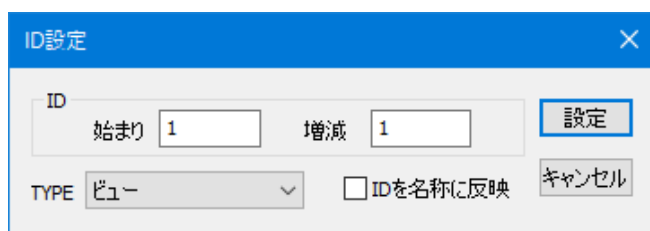
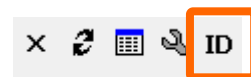
各項目の設定は「プロパティ画面」と同じです。「3.10.4. プロパティ画面」を参照ください。

「プロパティ画面」の場合と同様に、この画面の「色」および「枠色」の項目は、選択されているオブジェクトが四角形や多角形の場合にのみ有効です。また、この画面の「アイコン」の項目は、選択されているオブジェクトがアイコンの場合にのみ有効です。

[オリジナルサイズ]ボタンを押下すると、この画面の一番上の「サイズ」の項目の縦横の値が、選択した画像ファイルのサイズに変更されます。しかし、そのまま「サイズ」の左側のチェックボックスにチェックを付けないで [設定] ボタンを押しても、そのサイズはオブジェクトに反映されません。サイズを変更したい場合には、「サイズ」のチェックボックスにチェックを付ける必要があります。

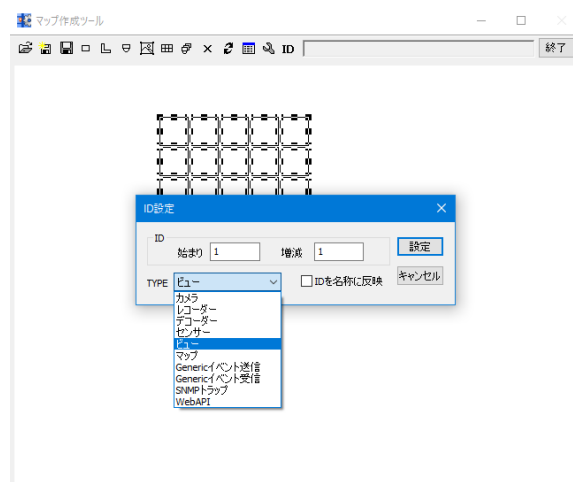
### 3.10.16. 複数オブジェクトのID一括設定

複数のオブジェクトを選択した状態で、ツールバーの **ID** ボタンを押して、「複数オブジェクトのID一括設定」画面を表示します。この画面では、一括してIDとTYPEを設定します。



- カメラ
- レコーダー
- デコーダー
- センサー
- ビュー
- マップ
- Genericイベント送信
- Genericイベント受信
- SNMPトラップ
- WebAPI

ID設定画面とTYPEの選択肢



画面の「TYPE」でオブジェクトの種類を指定します。

TYPEには初期状態ではビューが選択されていて、この画面では「その他の機能」は選べません。

画面のIDの「始まり」に指定した値から、「増減」に指定された値に従い増減したIDで、オブジェクトのIDを連続的に設定します。値を減らす場合は「増減」の場所に「-1」のように、マイナスの符号をつけて指定します。


「IDを名称に反映」にチェックを付けると、IDの値をオブジェクトの名称として設定されます。

[設定] ボタンを押すと指定した内容で、オブジェクトにIDとTYPEを設定します。

同じオブジェクトが重複していないかなどのチェックは一切行いません。

一つのマップ上に同じ設定のオブジェクトを重複して配置した場合、状態の表示が保証できない場合があります。「3.10.6. オブジェクトを重複して配置した場合のご注意」を参照ください。

### 3.10.17. オブジェクト一覧表示

ツールバーの  ボタンを押して、「オブジェクト一覧」画面を表示します。



「オブジェクト一覧」画面には、編集集中のマップに配置されたオブジェクトの情報を表示します。

(1) に示したTYPEの部分をクリックすると、TYPEとIDの値で一覧の表示順をソートします。

TYPEは、カメラ、レコーダー、デコーダー、センサー（ADAMを除く）、ビュー、マップ、ジェネリックイベント送信・受信、SNMPトラップ、WebAPI、センサー（ADAM入出力端子）、機能の順に並びます。

(1)

ID	TYPE	位置(X)	位置(Y)	横	縦	色	枠色	名称	名称表示位置	アイコン	関連アイコン
32	カメラ	41	36	32	32	ffc8c8c8	ff000000	21.2-1(VN-H16...	下	ptz000.png	sl,ev
89	カメラ	43	99	32	32	ffc8c8c8	ff000000	X71-58.1(VN-H58)	上	fix270.png	sl,ev
5	レコーダー	239	397	64	32	ff008000	ff000000	VR-X8500(2.9)	中	-	-
1	デコーダー	240	338	32	32	ffc8c8c8	ff000000	VN-D5(181.114)	右	-	-
2	センサー	495	208	32	32	ffc8c8c8	ff000000	インターホン[4.2]	左	interphone.png	ev
5	センサー	30	300	136	134	ff0041ff	ff000000	領域:レーザー...	下	-	-
1	ビュー	512	45	32	32	ffc8c8c8	ff000000	3x3ビュー	下	-	-
20	ビュー	442	37	32	32	ffc8c8c8	ff000000	4(2x2)	下	360cam.png	sl,ev
2	マップ	439	327	48	96	ffb4ebfa	ff000000	Map(002)	中	-	-
1	ジェネリックイ...	232	84	32	32	ffc8c8c8	ff000000	SendGeneric(1)	非表示	-	-
1	ジェネリックイ...	202	168	32	96	ffc8c8c8	ff000000	GenericEvent(1)	中	sensorTypeA2...	ev,lk
1	SNMPトラップ	341	47	32	32	ffc8c8c8	ff000000	Snmp(v1)	下	sensorTypeB.png	sl,id
1	WebAPI	103	328	32	32	ffc8c8c8	ff000000	SendWebApi(1)	下	-	-

OK

オブジェクト一覧

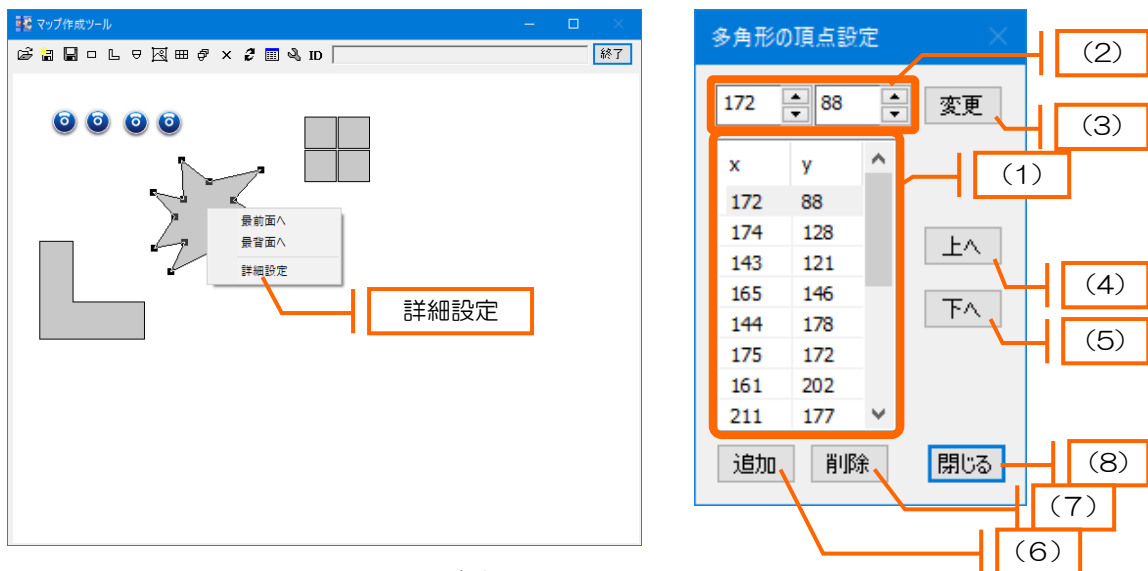
表示される情報を以下に示します。

タイトル	説明
ID、TYPE	オブジェクトを識別するためにシステムが使用している値です
位置(X)、位置(Y)	オブジェクトが配置されている位置です
横、縦	オブジェクトのサイズです。
色	オブジェクトに設定されている色で、値は16進で表示します。 2桁ずつ、透明度、R、G、Bの値を示します。 透明度は不透明で ff、半透明なら7fになります
名称	「マップ生成ツール」で設定されたオブジェクトの表示名です
名称表示位置	表示名の表示位置（オブジェクトのどの位置に表示するかを表す）です
アイコン	設定されているアイコンのファイル名です
関連アイコン	設定された関連アイコンです（表示される情報の意味は、「3.10.5. アイコン設定画面」を参照ください）

オブジェクト一覧の行（オブジェクト）をダブルクリックすると、「プロパティ」画面を表示します。

### 3.10.18. 多角形オブジェクトの頂点設定

多角形オブジェクトを選択して、マウスを右クリックしたメニューから、[詳細設定] をクリックすると、「多角形の頂点設定」画面が表示されます。



多角形オブジェクトの頂点設定

名称	説明
(1) 頂点リスト	オブジェクトの頂点の座標 (XとYの値) のリスト
(2) 頂点変更	(1) のリストにおいて、選択された頂点のXとYの値を表示して、各々の値が変更できます
(3) 変更	(1) のリストにおいて、選択された頂点の座標を変更します
(4) 上へ	(1) のリストにおいて、選択された頂点を上に移動して並べ替えます
(5) 下へ	(1) のリストにおいて、選択された頂点を下に移動して並べ替えます
(6) 追加	(1) のリストにおいて、選択された頂点の上に、隣の頂点との中点になる位置に、新たに頂点を追加します
(7) 削除	(1) のリストにおいて、選択された頂点を削除します
(8) 閉じる	「多角形の頂点設定」画面を閉じます。変更した内容が対象の多角形の形状に反映されています

「多角形の頂点設定」画面で操作した内容は画面ではキャンセルできません。  
設定内容を元に戻したい場合は、[ctrl] + [Z] キーのUNDO機能を利用します。

### 3.11. カメラのイベント設定 (TZ-TS2000 のみ)

- カメラからの動き検出、端子ON、端子OFFのイベントを設定します。
- 設定したいカメラをカメラリストから選択して [設定] ボタンをクリックします。
- カメラの設定画面が表示されるので、[本体設定]ボタンをクリックします。



カメラの設定画面

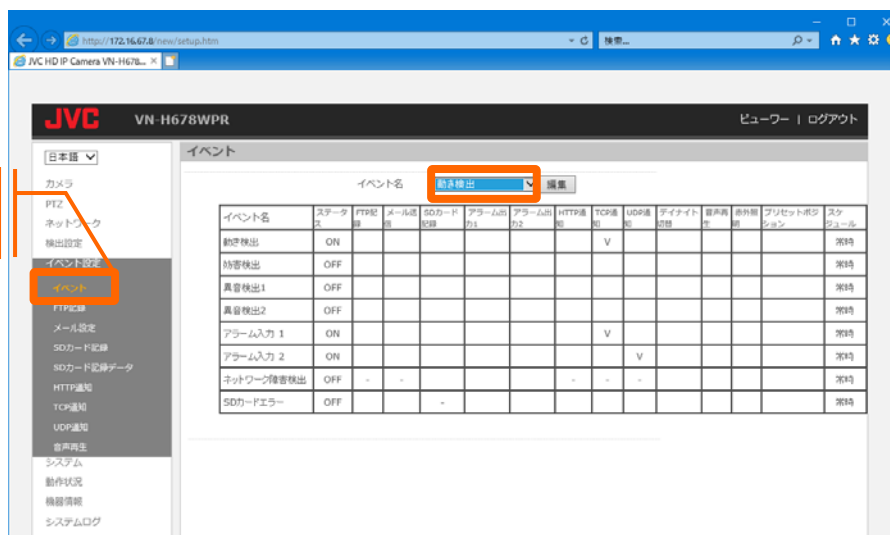
#### 3.11.1. イベント一覧

VN-H678WPRの設定画面を例に説明します。

※メモ カメラ機種により設定画面は異なりますので、各カメラの取扱説明書をご覧になり適切に設定してください。

「イベント設定」-「イベント」を選択すると一覧画面が表示されます。

「イベント名」で「動き検出」「アラーム入力1」「アラーム入力2」を選択して「編集」ボタンをクリックします。

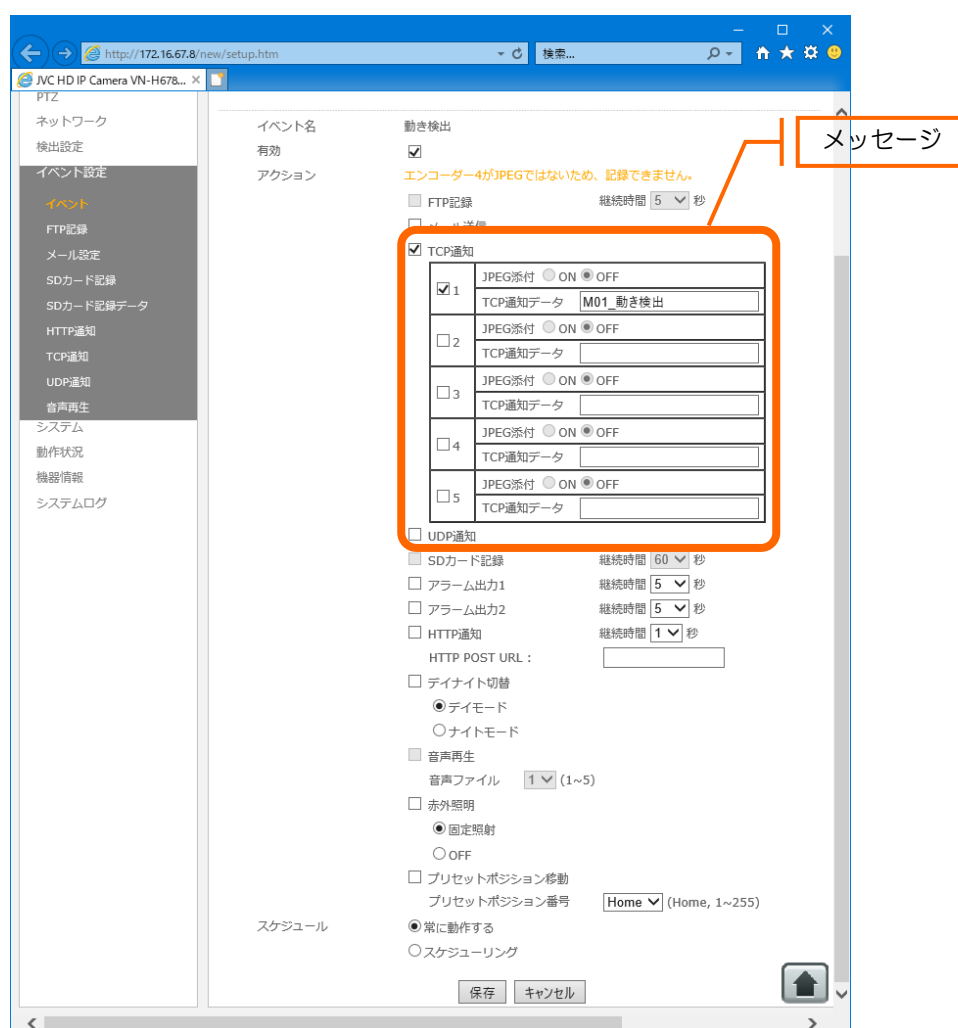


カメラのWeb設定画面 (イベント一覧)

### 3.11.2. イベント設定

「TCP通知」または「UDP通知」をONにして、通知データ（メッセージ）を入力します。

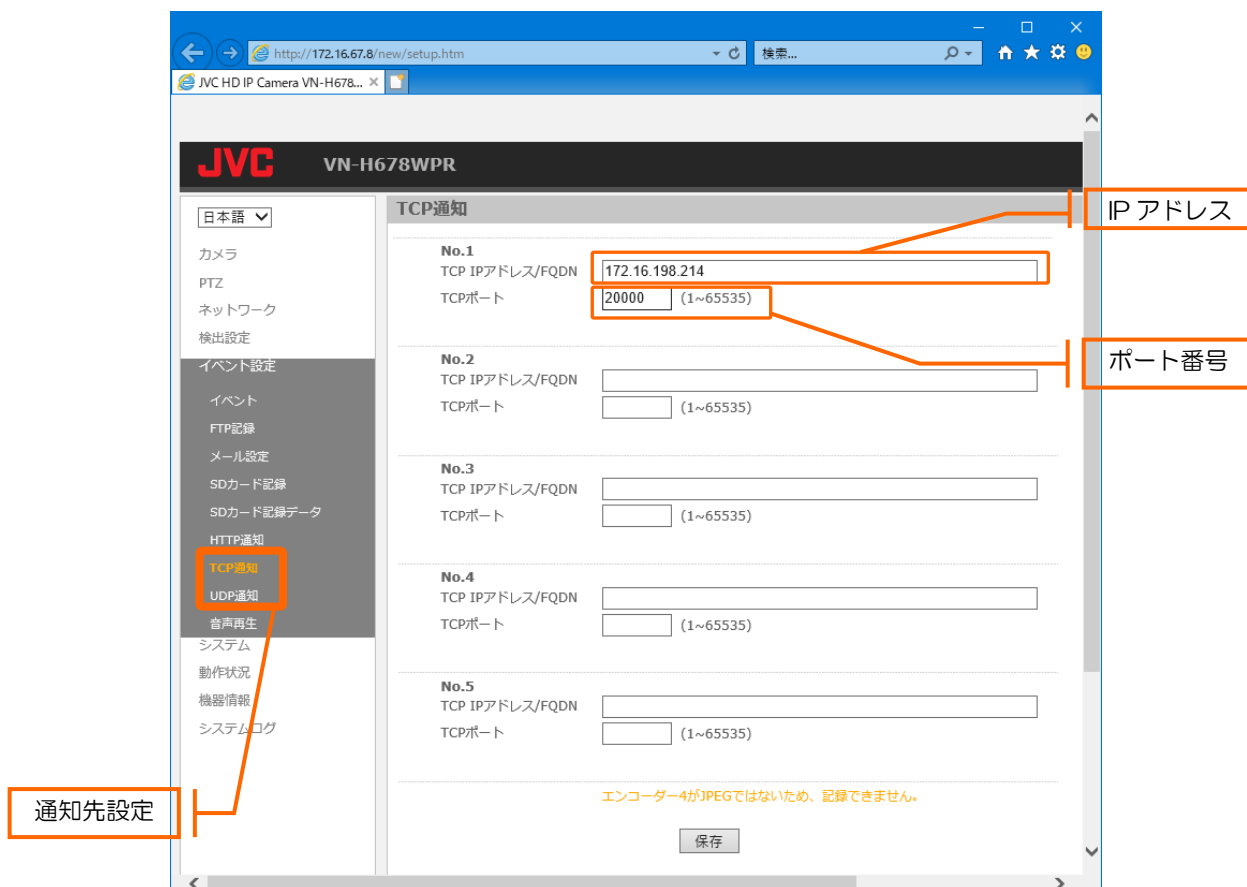
- 動き検出
  - ✧ MOx\_メッセージ
  - ✧ x：チャンネル番号
- 端子入力ON (アラーム入力)
  - ✧ TOx-ON\_メッセージ
  - ✧ x：チャンネル番号
- 端子入力OFF (アラーム入力)
  - ✧ TOx-OFF\_メッセージ
  - ✧ x：チャンネル番号
  
- 例：動き検出 ⇒ MO1\_動き検出
- 例：チャンネル1の端子ON入力 ⇒ TO1-ON\_端子がONになりました



カメラのWeb設定画面 (イベント設定)

### 3.11.3. 通知先設定

「イベント設定」 - 「TCP通知」または「UDP通知」を選択すると通知先設定画面が表示されます。



(1) IPアドレス

➤ TZ-TS2000(サーバー)のIPアドレスを設定します。

(2) ポート番号

➤ 20000を設定します。

### 3.12. アイホン製インターホンの設定（TZ-TS2000のみ）

※メモ 本ソフトウェアで連動させるための設定項目のみ説明しています。

その他、アイホン製インターホンの詳細な設定に関しては、アイホン製インターホンの説明書をご参照下さい。

#### 3.12.1. AIPHONE IX-MV【親機】の設定

- 設定したいアイホン製インターホン（機種名：AIPHONE IX-MV）のWeb設定画面を表示して、下記の項目を設定します。

URL: <https://<IPアドレス>/webset.cgi?login>（例 <https://192.168.0.1/webset.cgi?login>）

機能設定において

CGI機能の使用を「する」に設定

SIF機能の使用を「する」に設定

SIF通信設定(sif.ini)のアップロード

SIF通信設定(sif.ini)ファイルの内容 0100,<TZ-TS2000(サーバー)のIPアドレス>,20002,0  
(例: 0100,192.168.0.98,20002,0)

SIFパラメータ設定(sif\_conf.ini)のアップロード

SIFパラメータ設定(sif\_conf.ini)ファイルの内容 [Periodical send] = 1



Web設定画面（メニュー）

#### 3.12.2. AIPHONE IX-BX【子機】の設定

- 設定したいアイホン製インターホン（機種名：AIPHONE IX-BX）のWeb設定画面を表示して、下記の項目を設定します。

URL: <https://<IPアドレス>/webset.cgi?login>（例 <https://192.168.0.101/webset.cgi?login>）

機能設定において

CGI機能の使用を「しない」に設定

SIF機能の使用を「する」に設定

SIF通信設定(sif.ini)のアップロード

SIF通信設定(sif.ini)ファイルの内容 0100,<TZ-TS2000(サーバー)のIPアドレス>,20002,0  
(例：0100,192.168.0.98,20002,0)

SIFパラメータ設定(sif\_conf.ini)のアップロード

SIFパラメータ設定(sif\_conf.ini)ファイルの内容 [Periodical send] = 1



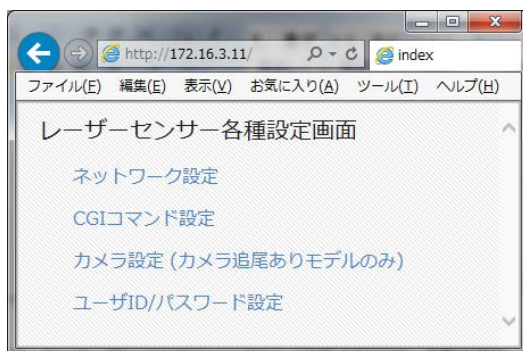
Web設定画面（メニュー）



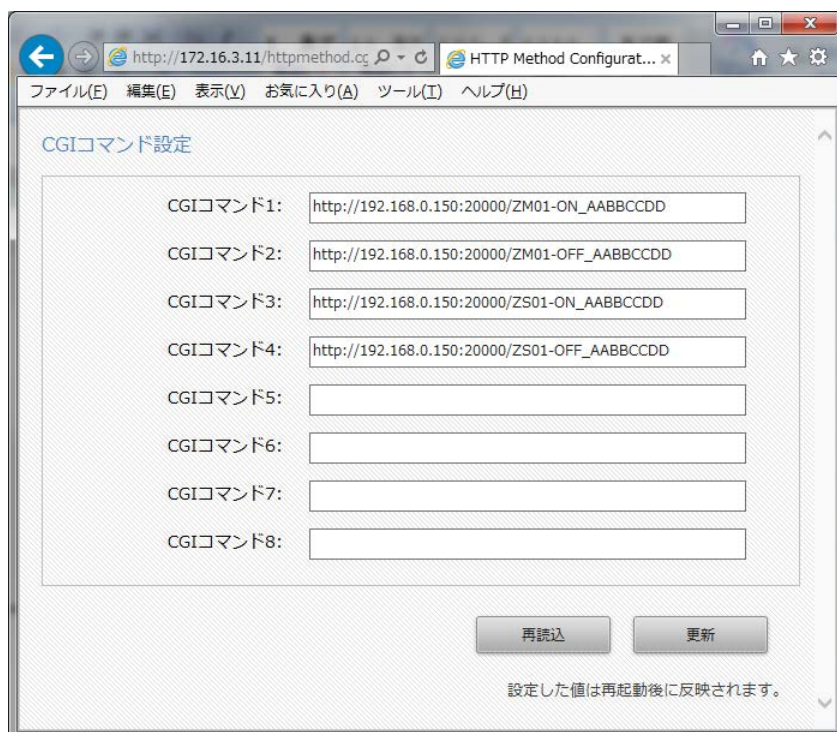
### 3.13. デンソー製レーザーセンサーZD-LS100シリーズのイベント発生（TZ-TS2000のみ）

※メモ 本ソフトウェアでイベント連動させるための設定項目のみ説明しています。  
その他、レーザーセンサーの詳細な設定に関しては、レーザーセンサーの説明書をご参照下さい。

- デンソー製レーザーセンサーZD-LS100シリーズからの移動体検知、自己診断検知イベントに対応しています。
- 設定したいZD-LS100のWeb設定画面を表示して、CGIコマンドを設定します。



Web設定画面（メニュー）



CGIコマンド設定画面

(1) CGIコマンド

http://(IPアドレス):(ポート番号)/(コマンド及びメッセージ)

① IPアドレス

- TZ-TS2000(サーバー)のIPアドレスを設定します。

② ポート番号

- 20000を設定します。

③ コマンド及びメッセージ

- 移動体検知ON
  - ◇ ZM01-ON\_メッセージ
- 移動体検知OFF
  - ◇ ZM01-OFF\_メッセージ
- 自己診断検知ON
  - ◇ ZS01-ON\_メッセージ
- 自己診断検知OFF
  - ◇ ZS01-OFF\_メッセージ

例1) 移動体検知ON (IPアドレス: 192.168.0.150、メッセージ: XXXXXXXXXXX)

http://192.168.0.150:20000/ZM01-ON\_XXXXXXXXXX

例2) 自己診断検知ON (IPアドレス: 192.168.0.150、メッセージ: XXXXXXXXXXX)

http://192.168.0.150:20000/ZS01-ON\_XXXXXXXXXX

※メモ 設定したCGIコマンドは、レーザーセンサーの再起動後に反映されます。

※メモ レーザーセンサー設定ツールのCGI出力設定で、検出内容に合わせて出力させるCGIコマンドを指定します。

#### 4. 本ソフトウェアにおける最大値（登録上限）一覧

項目	最大値
システム内のビューワーの数	20
データベースへのイベント記録数 (イベント連動情報、障害情報の記録数合計)	100000
カメラ登録数	1600
カメラグループ数	1600 (カメラ登録数と同じ)
カメラのプリセット登録数	256
カメラのオートパン数(固定)	1
カメラのオートトレース数(固定)	1
カメラのオートパトロール数(固定)	3
レコーダー登録数	100
デコーダー登録数	25
センサー機器登録数(ZD-LS100登録数)	1000
センサー機器登録数(ADAM登録数)	400
センサー機器登録数(インターホン親機登録数)	8
センサー機器登録数(インターホン子機登録数)	500
センサー端子登録数 (センサー機器、カメラ端子の登録数合計)	8200
センサーグループ数	8200 (センサー端子登録数と同じ)
ビューグループ登録数	200
ビュー登録数	10000
ビュー内のカメラ登録数	64 (8x8)
ビュー内の音声カメラ登録数(送受信同一)	3
ビュー登録した映像カメラのプリセット制御数	25
シーケンシャル登録数	100
シーケンシャル動作するビュー登録数	200
マップ登録数	200
マップ内のカメラアイコン配置数	400
マップ内の四角形オブジェクト配置数	2500
マップ内の多角形オブジェクト配置数	400
イベントグループ登録数	200
イベントレベル数(固定)	3
イベント連動動作登録数	2000
イベント連動動作時のイベント通知音制御数(固定)	1
イベント連動動作時のマップ切り替え制御数(固定)	1
イベント連動動作時の映像切り替え制御数(固定)	1
イベント連動動作時のカメラ制御数(固定)	5
イベント連動動作時の音声ファイル送信制御数(固定)	1
イベント連動動作時のデコーダー制御の登録パターン数 (固定) ※メモ デコーダーとしては5台を保証	20
イベント連動動作時のセンサー制御数(固定)	20
イベント連動動作時の別ウィンドウ表示制御数(固定)	4
イベント連動動作時のジェネリック(送信)制御数(固定)	5
イベント連動動作時のWebAPI(送信)制御数(固定)	5
ジェネリックイベント(受信)登録数	600

SNMP Trap(受信)登録数	600
ジェネリック出力(送信)登録数	600
WebAPI 出力(送信)登録数	600
ユーザーグループ数(固定)	10
ユーザー登録数	100
ユーザー音声ファイルの登録数	100
イベント通知用音声ファイルの登録数	100
イベント送信用音声ファイルの登録数	100
ビュー内表示静止画登録数	100

## 5. ビューワースタイルのカスタマイズ (TZ-TS2000 のみ)

ビューワースタイルの設定ファイル (TZ-TS2000-Viewer\_Setting.xml) を編集することで、デュアルモニターの表示位置を変更できます。

※メモ 設定項目が存在しない場合は新規に追加してください。

※メモ ビューワースタイルの設定ファイル (TZ-TS2000-Viewer\_Setting.xml) は、再インストール時にリセットされるため、編集内容も失われますのでご注意ください。

- デュアルモニターの表示位置

```
<settings>
  .
  .
  .
  <monitors>2</monitors>
  <monitor>
    <main>1</main>
    <sub>2</sub>
  </monitor>
</settings>
```

monitors:モニター数を指定します。

main:カメラの映像の表示するモニターを指定します。

sub :マップを表示するモニターを指定します。

モニター：1=プライマリー

2=セカンダリー

## JVCケンウッド カスタマーサポートセンター

固定電話  0120-2727-87

携帯電話・PHS  0570-010-114

一部のIP電話など 045-450-8950

FAX 045-450-2308

〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12

ご相談窓口におけるお客様の個人情報は、お問合せへの対応、修理およびその確認に使用し、適切に管理を行い、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。

### 株式会社 JVCケンウッド・公共産業システム

〒 221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町 3-12

ホームページ <https://jkpi.jvckenwood.com/>